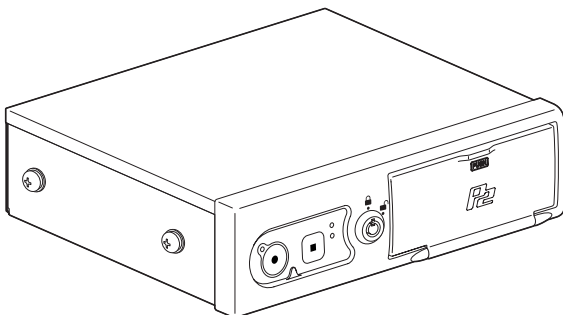


Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードレコーダー
品番 AG-CPD15



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ごぞいます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

S0906K5088-M
Printed in Japan

JAPANESE

VQT1A17-5

ご使用の前に

メモリーカードレ
コーダーでの操作

操作上の付帯事項

コントロールパネル
(別売)での操作

コントロールパネル(別
売)で管理者が行う操作

コントロールパネル(別
売)のメニュー画面

必要なときに

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	4	ご使用になる前に	11
特長	9	取り扱い上のお願い	12
付属品	10	各部の名称と機能	13
別売品	10	接続	17
本書について	10		

メモリーカードレコーダーでの操作

P2カードの挿入と取り出し	19	内蔵時計について	22
P2カードを挿入する	19	トリガー信号について	22
P2カードを取り出す	20	記録する／停止する	23
起動する／終了する	21	記録する	23
起動する	21	停止する	25
終了する	21		

操作上の付帯事項

記録について	26	プログラム記録	30
書き込み禁止スイッチ	26	間けつ記録やプログラム記録時の 状態変化	32
プリ記録とポスト記録	26	記録ファイルの保存先とファイル名	33
記録する映像の選択	27	記録エラー警告	34
記録する音声	28	ライセンスプレート認識 (LPR) モードについて	35
電源ON記録	28	セットアップ	36
循環記録	28	本機で使用するテキストファイル	45
間けつ記録	29		

コントロールパネル (別売) での操作

コントロールパネルの各部の名称と機能	49	記録中の [REC] ランプを消す	61
メニューの基本操作	52	Audio2の入力を選択する	61
使用者データを設定する／削除する	54	音声をチェックする	61
ボタンをロックする／ロックを解除する	56	本機の状態を表示する	62
ライブ映像を見る	57	PCアプリケーションとの接続を解除する	64
カメラを選択する	57	記録する	65
ズームする	57	記録の開始と停止	65
逆光の映像を見やすくする	57	試し撮りをする	66
暗い映像を見やすくする	57	再生する	67
Audio2の入力音声を記録しない	57	再生する	67
液晶パネルの表示を消す	57	再生方法を切り替える	67
映像のフォーカスを調整する	58	ブックマークを設定する	69
映像の明るさを調整する	58	ファイルを選択して再生する	70
LPRモードの設定	59	Audio1,2再生音のON/OFFを設定する	70
シャッタースピードを設定する (LPRモード時)	59	本機の状態を表示する	71
カメラズームの設定 (LPRモード時)	60	ファイルを修復する	73
シャッタースピードを設定する (PATROLモード時)	60	製品情報を表示する	74
カメラズームの設定 (PATROLモード時)	60	本機を再起動する	74

もくじ (つづき)

コントロールパネル (別売) で管理者が行う操作

管理者設定	75	カメラ (Camera)	83
記録と再生 (Rec/Play)	77	管理モード (Management Mode)	85
プログラム記録 (Programed Rec)	80	レーダーとGPS (Radar/GPS)	85
日付と時刻 (Date/Time)	81	ファイル管理 (File Management)	87
登録 (Registration)	81	自動メンテナンス (Auto Maintenance)	90
トリガー (Trigger)	82	サービス (Service)	92
画面表示 (OSD)	82		

コントロールパネル (別売) のメニュー画面

メニュー画面一覧	96
----------	----

必要なときに

コネクタの信号	106	GPL	127
車速パルス設定早見表 (60 km/h時)	109	LGPL	130
車速パルス設定早見表 (40 M/h時)	111	OpenSSL License	134
ランプ表示と本機の状態	113	Blowfish License	135
修理を依頼される前に	115	DES License	135
エラーメッセージ	118	XFree86 License	136
ステータス表示	125	保証とアフターサービス	138
ソフトウェアライセンスの規定	127	定格	139


本製品に関するソフトウェア情報


- 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。GPL/LGPLの内容については、本取扱説明書のGPL/LGPLの項を参照してください。また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。
- 本製品には、OpenSSL Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれていません。OpenSSL Licenseの内容については、本取扱説明書のOpenSSL Licenseの項を参照してください。
- 本製品には、BlowFish Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。BlowFish Licenseの内容については、本取扱説明書のBlowFish Licenseの項を参照してください。
- 本製品には、DES Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。DES Licenseの内容については、本取扱説明書のDES Licenseの項を参照してください。
- 本製品には、XFree86 Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。XFree86 Licenseの内容については、本取扱説明書のXFree86 Licenseの項を参照してください。
- 本製品が使用しているその他のライセンス条件が適用されるプログラムおよびそのライセンスについては、下記のホームページをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
- 本製品はMPEG-4ビジュアル特許プールライセンスに関し、以下の行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - 画像情報をMPEG-4ビジュアル規格に準拠して(「MPEG-4ビデオ」)エンコードすること。
 - 個人使用として記録されたMPEG-4ビデオ及び/又はMPEG LAからライセンスを受けているプロバイダーから入手したMPEG-4ビデオを再生すること。詳細については<http://www.mpegla.com/>をご参照ください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。


 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


車載でご利用の場合

警告


不安定な場所に置かない

 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

乗り物を運転しながら使わない

 事故の誘発につながります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

 ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

• 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。

(次ページへつづく)

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告 (つづき)

故障や異常な状態のまま使用しない



万一、故障（映像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や事故の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源ケーブルや接続ケーブルが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。

- ケーブルの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠注意

本機の放熱を妨げない

- 通風孔やファンを、ふさがないようにしてください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

P2カードスロットカバーに、指をはさまれないように注意する



指に注意

けがの原因になります。

動かないように、確実に固定する



確実に固定しないと、事故の原因になります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け／取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

安全上のご注意 (つづき)

車載以外でご使用の場合

警告

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源ケーブルや接続ケーブルが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。

- ケーブルの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障や異常な状態のまま使用しない



万一、故障（映像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や事故の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

安全上のご注意 (つづき)

水場で使用しない



水場
使用禁止

火災の原因になります。

- 雨や水滴などがかからない場所でご使用ください。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

注意

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

本機の放熱を妨げない

- 通風孔やファンを、ふさがないようにしてください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け／取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

P2カードスロットカバーに、指をはさまれないように注意する



指に注意

けがの原因になります。

特長

■メモリーカード使用のビデオレコーダー

「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売のAJ-P2C016RGなど、以後、P2カードと記載します）に、MPEG4、G.726の圧縮フォーマットで、映像・音声ファイルを記録することができます。

■多様な情報を記録

映像・音声ファイルに加えて、記録日時、記録トリガーなどの情報を含むメタ情報を記録することもできます。

■長時間の記録

最長1168時間（48.6日）（32 GBのP2カードを2枚使用し、記録ビットレート512 kbpsで間けつ記録した場合）の記録が可能です。

付属品

キー..... 1 取り付け金具（本機に搭載済）..... 2

別売品

- P2カード
 - 16 GB (AJ-P2C016RG)
 - 32 GB (AJ-P2C032RG)
- コントロールパネル (AG-RCP30)
- カラーカメラ (AG-CK10P)
- GPSモジュール (AG-GPS15P)
- ケーブルキット (AG-CR12P)

本書について

本書ではコントロールパネル（別売）の操作方法を以下の凡例に従って説明しています。

■用語の定義

- 使用者：コントロールパネルを操作するすべての人。
- 管理者：データの収集や管理など本機
の管理権限を持っている人。

■「コントロールパネル（別売）での操作」

使用者が操作できる項目を説明しています。

■「コントロールパネル（別売）で管理者が行う操作」

管理者のみが操作できる項目を説明しています。

主な内容

- 本機の工場出荷設定を使用環境に沿った設定に変更。
- 記録したデータの収集と管理。

■「コントロールパネル（別売）のメニュー画面」

コントロールパネルの液晶パネルに表示される操作メニューを一覧で説明しています。

■「コントロールパネル（別売）での操作」で記載しているタイトルについて

コントロールパネルのボタン操作とメニューを液晶パネルに表示してから行う操作を区別して記載しています。

例) コントロールパネルのボタン操作の場合：

◎カメラを選択する

メニューを表示してから行う操作の場合：

■映像の明るさを調整する

ご使用になる前に

■必ず試し撮りしてください

大切な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に記録されていることを確認してください。特に「逆光補正」や「IR機能による夜間撮影」をご使用の際は、設定を確認してください。

■初めてお使いになる場合や日本以外の場所でお使いの場合は、タイムゾーンの設定をしてください

工場出荷設定は「Asia Tokyo」です。日本以外でご使用の場合は、使用地域に応じて設定してください。（81ページの「タイムゾーン (Time Zone)」参照）

■ユーザーデータを本機に設定しておく、記録後にだれが記録したのかを調べることができます。（54、55ページの「ユーザーデータを設定する／削除する」参照）

■コントロールパネル、その他指定の別売品と組み合わせてお使いください

■本機は、コントロールパネルやパソコン上で動作するアプリケーションソフトウェア（以降PCアプリケーションと記載）により操作をすることができます。

- ・PCアプリケーションでの操作については、PCアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- ・本機にパソコン（以降PCと記載）を接続して、PC上で動作するPCアプリケーションを起動すると、コントロールパネルはライブ画面に固定され、以下の操作ができなくなります。
 - 使用者データを設定する／解除する
 - 試し撮りをする
 - 再生する
 - ファイルを修復する
 - 管理者設定

■使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、「P2」ロゴの付いたP2カードです。

■本機動作中は、電源OFFの操作をしないでください

電源をOFFにするときは、必ず、その前に動作を停止させてください。（24、25ページの「停止する」参照）

特にP2カードへのアクセス中（記録中など）、電源をOFFにすると、P2カードが故障したり、P2カードの管理情報や設定情報やその他のデータを破損することがあります。P2カードの管理情報が破損され、正しくファイル情報を読み取れなくなったときはP2カードをフォーマットしてください。フォーマットについては、88、89ページの「フォーマット (Format)」を参照するか、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の内容の補償、記録や設定されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。次の様な操作を行うと、不具合を生じる可能性があります。

- ・記録中などの電源起動中に、エンジン始動などにより、本機への電源供給を止める。
- ・P2カードへのアクセス中（記録中など）にP2カードを取り出す。

取り扱い上のお願い

■使用方法について

- P2カードにアクセス中は、P2カードを取り出さないでください。P2カードが故障したり、P2カードスロットが使用できなくなることがあります。P2カードスロットが使用できないことを検出すると、本機は自動的に再起動することがあります。
- 本機やP2カードの上に水の入った容器や小さな金属物を置かないでください。
- 本機の開口部から異物を挿入しないでください。
- 本機やP2カードを改造しないでください。
- 本機やP2カードが濡れたり、これらに水が入ったりする場所で使用しないでください。
- 本機はP2カードの動作のみ保証しています。P2カード以外のカードは、使用しないでください。本機の故障の原因になることがあります。
- P2カードの挿入に際し、表と裏を逆にしたり、変形や破損したP2カードを無理に押し込んだりしないでください。P2カードやP2カードスロットを破損することがあります。
- 本機が記録中などの動作時、本機の電源ケーブル（別売のケーブルキットに含まれる）を抜かないでください。必ず動作を停止させた後、本機の電源をOFFにして、電源ケーブルを抜いてください。P2カードが故障したり、本機の設定ファイルやP2カード上の管理データを破損することがあります。

P2カード(16 GB以上)の使用上の注意

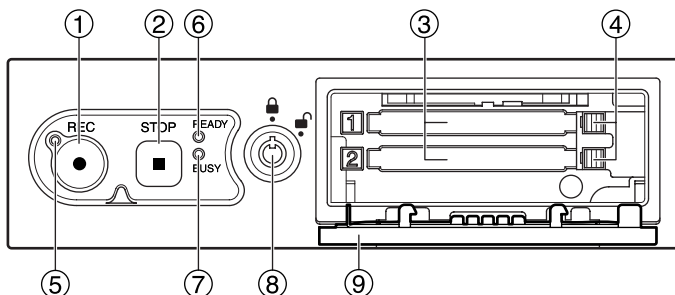
- ご購入直後のP2カードは、本機でフォーマットしてください。(88、89ページの「フォーマット(Format)」参照)
- 本機でフォーマットしたP2カードには、本機の動作に必要なフォルダーがあらかじめ作成されています。これらのフォルダーをPCなどで直接操作（削除、コピー、移動など）しないでください。
- PCなどで、P2カード上のフォルダーを直接操作した場合、本機で再フォーマットが必要となります。
- P2カード上に記録できる日数やファイル数には制限があるため、P2カード容量が残っていても、記録日数もしくはファイル数が最大を超えると、カード残容量なしと検出されます。

■お手入れについて

- お手入れの際は、本機の電源がOFFの状態で行ってください。(21ページの「終了する」参照)
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布でからぶきしてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

各部の名称と機能

フロントパネル



① RECボタン (●)

P2カードに映像、音声の記録を開始します。

② STOPボタン (■)

記録を停止します。

③ P2カードスロット1、2

P2カードの挿入口です。
合計2枚のP2カードが挿入可能です。

④ EJECTボタン

P2カードを取り出すためのボタンです。

⑤ RECランプ

記録中に点灯します。記録中、P2カードスロット1、2に挿入されているカードの残り記録時間が約30分以下になると点滅します。
(113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照)

⑥ READYランプ

P2カードスロットに挿入されたP2カードに記録が可能なとき、点灯します。(113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照)

⑦ BUSYランプ

記録中や再生中など、P2カードへのアクセス中に点灯または点滅します。(113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照)

⑧ ロック

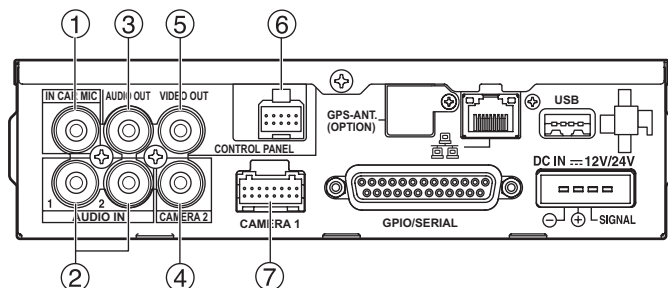
P2カードスロットカバーの施錠、および開錠を行います。

⑨ P2カードスロットカバー

P2カードを保護します。
開いた状態では記録できません。

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル (1)



① IN CAR MIC端子 (ピンジャック)

MIC信号レベルの入力端子です。

② AUDIO IN 1, 2端子 (ピンジャック)

ライン信号レベルの入力端子です。
オーディオ機器の出力を接続します。

③ AUDIO OUT端子 (ピンジャック)

ライン信号レベルの出力端子です。
別売のコントロールパネルに付属の
ケーブルを使用して接続します。

④ CAMERA2端子 (ピンジャック)

コンポジット信号の入力端子です。
市販のカメラを接続します。

⑤ VIDEO OUT端子 (ピンジャック)

コンポジット信号の出力端子です。
[CAMERA1] 端子もしくは
[CAMERA2] 端子に入力された映像
を出力します。
別売のコントロールパネルに付属の
ケーブルを使用して接続します。

⑥ CONTROL PANEL端子

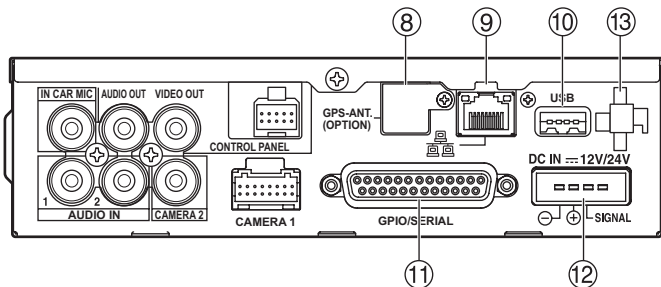
別売のコントロールパネルをコント
ロールパネルに付属のケーブルを使
用して接続します。

⑦ CAMERA1端子

別売のカラーカメラをカラーカメラ
に付属のケーブルを使用して接続し
ます。

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル (2)



⑧ GPS-ANT. (OPTION) 端子

別売のGPSモジュールを取り付け後、GPSアンテナからのケーブル (GPSモジュールに付属もしくは、別売のケーブルキットに含まれる) を挿入します。GPS衛星からの電波が受信できている場合は、定期的に本機の時刻をGPS時刻に設定し直します。

⑨ LAN端子

市販のLANケーブル (クロスタイプ) でPCと接続します。

お願い：

PCとの接続方法に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑩ USB端子

市販のUSBメモリーを接続して、本機の外部メモリーとして使用できます。USBメモリーによっては、正しく認識できないものがあります。

お願い：

- ・ [USB] 端子の保護のために、USB延長ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる) を本機に接続してから、市販のUSBメモリーを接続してください。
- ・ USBメモリーは市販のUSBハブを使うと最大2つまで接続可能です。
- ・ 接続の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑪ GPIO/SERIAL端子

トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 入力 (8入力)、GPIO9への記録状態出力 (1出力)、シリアルポートを統合した端子です。トリガーケーブル (別売のケーブルキットに含まれる) を接続します。

⑫ DC IN端子 (DC IN ≒ 12V/24V)

バッテリーからの電源入力端子です。電源ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる) を接続します。

お願い：

本機の起動中に電源ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる) を抜かないでください。特にP2カードへのアクセス中 (記録中など) の電源OFFにより、P2カードが故障したり、P2カードの管理情報やデータ設定情報を破損することがあります。

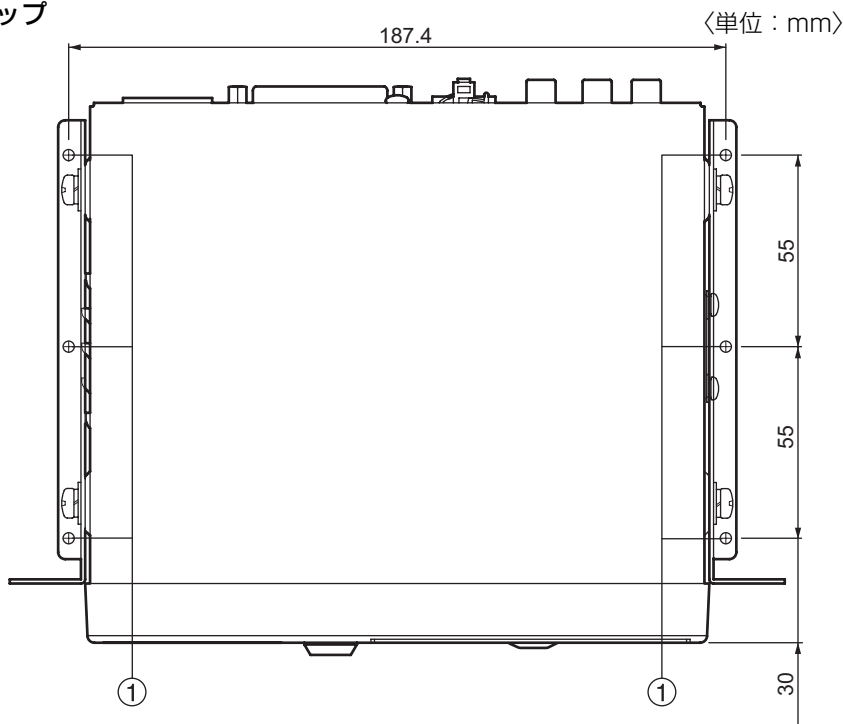
⑬ ケーブルクランプ

ケーブルの留め具です。ビデオケーブル、オーディオケーブル、カメラケーブル、電源ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる)、USB延長ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる) を固定します。

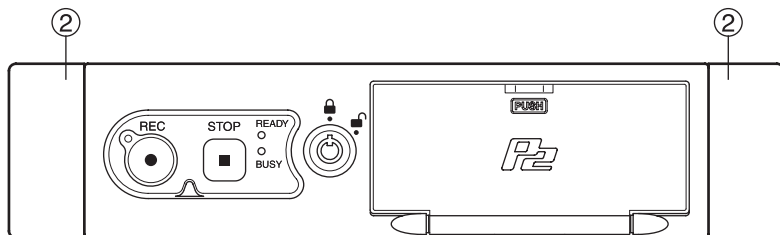
各部の名称と機能 (つづき)

取り付け金具

トップ



フロント



① トランク用取り付け穴 (φ3.2)*
トランクに取り付けるための穴です。

② センターコンソール用
取り付け穴スペース*
センターコンソールに取り付けるた
めの穴を設けるスペースです。

* 車載でご使用の場合、車載以外でご使用の場合、ともに取り付けの際はお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続

車載でご使用の場合

- 取り付けや接続は、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 電源ケーブルの赤（BATT）と白（SIGNAL）はヒューズ（5 A）を介して接続してください。
（電源ケーブルは別売のケーブルキットに含まれています。）
- 電源ケーブルは、室内のヒューズボックスより配線してください。エンジンルームから室内へ配線するケーブルは、別途車両用のケーブルをご用意ください。

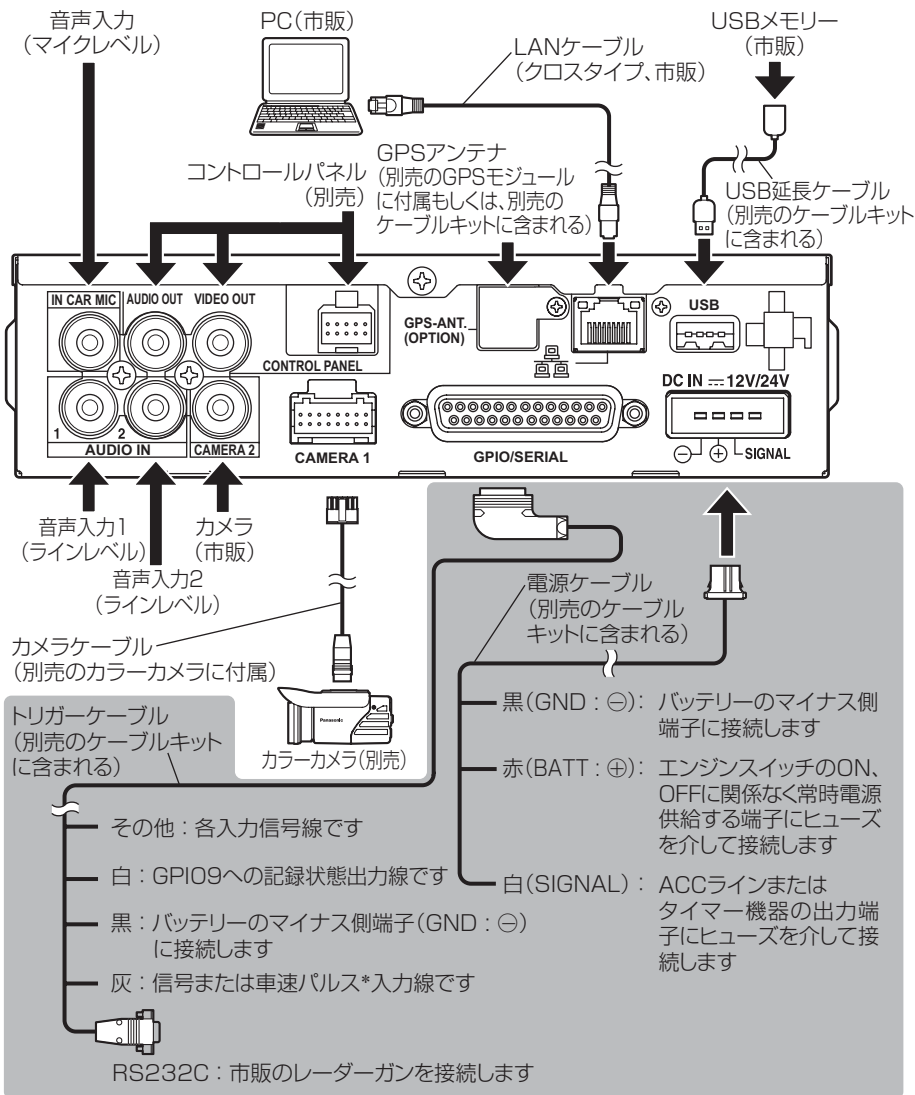
- 電源ケーブルは、すべての接続が終わった後に接続します。また、106ページのコネクターの図や接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
- レコーダーからケーブルを取り外す場合は、記録中でないことを確認したうえで、電源ケーブルを抜いた後、他のケーブルを取り外してください。
- 電源ケーブルを誤って接続すると火災や故障の原因になります。電源ケーブルは、必ず正しく接続してください。

車載以外でご使用の場合

取り付けや接続は、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

- 接続を行うすべての機器の電源を切って電源ケーブルを抜き、作業を行ってください。電源ケーブルは、すべての接続が終わった後に接続します。また、106ページのコネクターの図や接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
- レコーダーからケーブルを取り外す場合は、記録中でないことを確認したうえで、電源ケーブルを抜いた後、他のケーブルを取り外してください。
- 電源ケーブルを誤って接続すると火災や故障の原因になります。電源ケーブルは、必ず正しく接続してください。

接続 (つづき)



■ : 車載でご使用の場合の接続内容です。車載以外でご使用の場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

* 車速パルス信号タイプには、デジタル波形 (くけい波) とアナログ波形 (交流波形) の2種類があります。本機は、デジタル波形のみ接続可能となります。接続方法については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

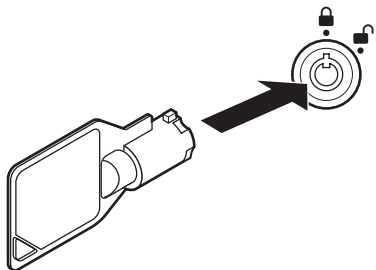
P2カードの挿入と取り出し

P2カードアクセス中（[BUSY] ランプが点灯中、または点滅中）にP2カードを挿入したり、取り出したりしないでください。P2カードが故障したり、P2カードのデータが破損することがあります。

P2カードを挿入する

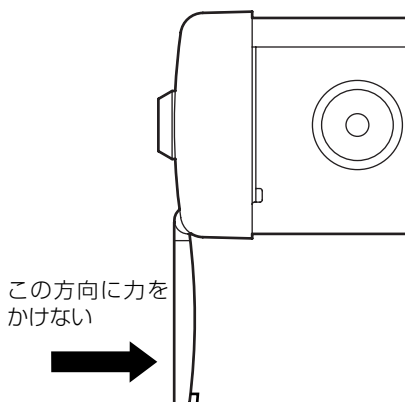
(1) P2カードスロットカバーを開ける

キーをロックに挿入し、[] まで右に回します。

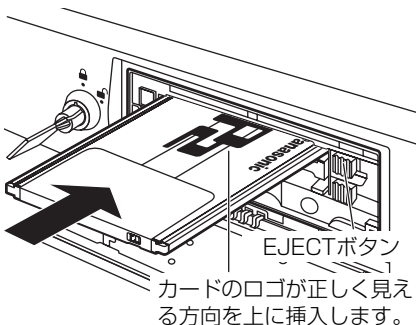


お願い：

- キーを挿入した状態で、無理に押し込んだり、左右に回したりしないでください。キーやロックを破損することがあります。
- 破損防止のため開いたP2カードスロットカバーに無理な力をかけないでください。



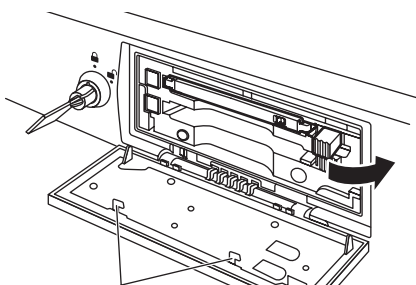
(2) P2カードスロットにP2カードを挿入し、EJECTボタンが飛び出してくるまで押し入れる



お願い：

P2カードスロットカバーを開けると [BUSY] ランプが数秒間点滅します。点滅が終了したのを確認してP2カードを挿入してください。

(3) 飛び出たEJECTボタンを右に倒す



けがの防止のため手を触れないでください。

お願い：

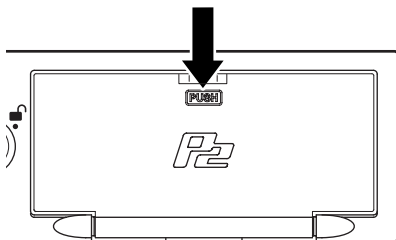
EJECTボタンが右に倒れているのを確認してからP2カードスロットカバーを閉じてください。確実に倒れていない場合、EJECTボタンを破損することがあります。

(次ページへつづく)

P2 カードの挿入と取り出し (つづき)

(4) P2カードスロットカバーを閉じる

カバーを元の状態に戻し、**[PUSH]**を押します。



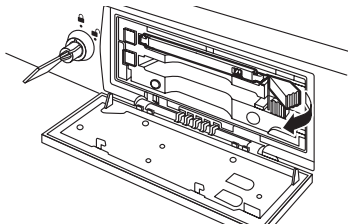
本機にP2カードを挿入後、P2カードスロットカバーを閉じると、[READY]ランプにより本機の状態表示を行います。(113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照)

(5) キーを抜く

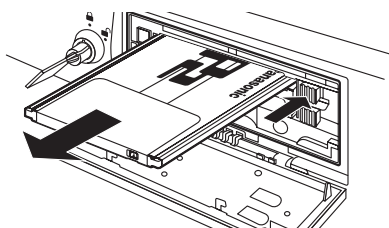
P2カードを取り出す

(1) P2カードスロットカバーを開ける (前ページ参照)

(2) EJECTボタンを起こす



(3) EJECTボタンを押し込んでP2カードを取り出す



お願い：

P2カードスロットカバーを開けると [BUSY] ランプが数秒間点滅します。点滅が終了したのを確認してP2カードを取り出してください。

お知らせ：

- アクセス中に取り出されたP2カードは、ファイルが不正規の状態になることがあります。不正規になったファイルは、73ページの「ファイルを修復する」を参照して修復してください。
- アクセス中にP2カードを取り出すとP2カードスロットが使用できなくなることがあります。使用できないことを検出すると、自動的に本機の再起動を行い、使用できるようにします。

(4) P2カードスロットカバーを閉じる (このページの左上参照)

(5) キーを抜く

起動する / 終了する

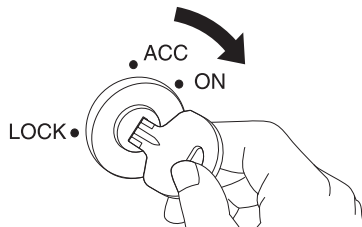
車載でご使用の場合

本機への電源供給は、バッテリーから行われます。

起動する

車のエンジンスイッチをONまたはACCにする

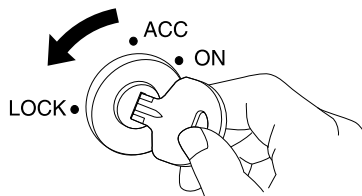
本機の電源がONされます。
コントロールパネルを接続している場合、コントロールパネルの電源もONされます。



終了する

車のエンジンスイッチをLOCK (OFF) にする

本機の電源がOFFされます。
コントロールパネルを接続している場合、コントロールパネルの電源もOFFされます。



お知らせ：

- ・コントロールパネルの操作では、電源OFFできません。
- ・[PowerOff Time] (77ページの「電源OFF時間(PowerOff Time)」参照)を設定すると、車のエンジンスイッチLOCK後も本機を最大180分動作させることができます。

車載以外でご使用の場合

本機への電源供給は、ACアダプターあるいはDC電源 (DC12 V/DC24 V) から行われます。起動および終了方法も含めてお買い上げの販売店にご相談ください。

起動する／終了する (つづき)

内蔵時計について

■時刻の確認

内蔵の時計は、工場出荷時に時刻が設定されています。使用前に確認し、必要場合は設定し直してください。(81ページの「日付時刻合わせ (Date/Time)」参照)

お知らせ：GPSを使用する場合、別売のGPSモジュールを取り付け、リアパネル [GPS-ANT.] 端子に、GPSアンテナ (GPSモジュールに付属もしくは、別売のケーブルキットに含まれる) を正しく接続してください。
取り付けや接続は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
GPS衛星からの電波が受信できている場合は、定期的に本機の時刻をGPS時刻に設定し直します。

■タイムゾーンの設定について

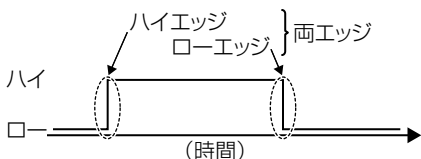
工場出荷設定は「Asia Tokyo」です。
日本以外でご使用の場合は、使用地域に応じて設定してください。
(81ページの「タイムゾーン (TimeZone)」参照)

トリガー信号について

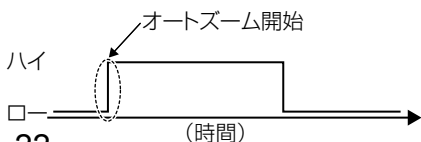
トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) は、記録の制御やカラーカメラの制御に使用され、エッジ信号とレベル信号があります。

■エッジ信号

エッジ信号は、ハイエッジ、ローエッジ、両エッジを指定でき、指定された信号に変化したエッジが検出されたとき記録の制御やカラーカメラの制御が行われます。



例えば“AUTOZOOM”をハイエッジに指定している場合(82ページの「トリガー1～8の設定 (Trigger1～8)」参照)：

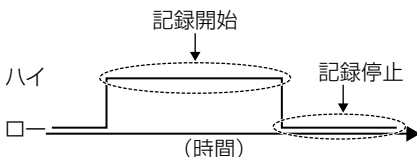


■レベル信号

レベル信号は、ハイレベル、ローレベルを指定でき、指定された信号に変化したとき記録の制御が行われます。

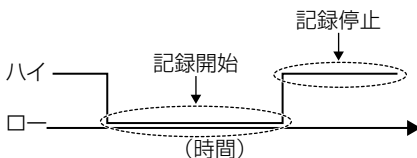
ハイレベルに指定している場合：

信号がローからハイに変化した場合に記録を開始し、信号がハイからローへ変化した場合に記録を停止します。



ローレベルに指定している場合：

信号がハイからローに変化した場合に記録を開始し、信号がローからハイへ変化した場合に記録を停止します。



記録する／停止する

記録する

■記録開始の方法

- [REC] ボタンを押す（本機、カラーカメラ、コントロールパネルのRECボタンは同様に扱われます）
- 記録トリガーを入力する
- 電源ON記録を設定して、本機の電源をONにする
- プログラム記録（30、31ページの「プログラム記録」参照）

記録開始時、プリ記録機能（26、27ページの「プリ記録とポスト記録」参照）が働き、記録開始以前の映像を記録します。プリ記録で記録する時間はコントロールパネルで設定します。音声のプリ記録時間は映像のプリ記録時間を超えない範囲で独立して設定できます。この機能を使えば、記録トリガーや [REC] ボタンを押す前の記録には音声を残さないことができます。同様に音声のポスト記録時間も映像のポスト記録時間を超えない範囲で独立して設定できます。

■記録トリガーについて

記録トリガーには以下の種類があります。

- トリガー信号（GPIO1～8）の検出時の動作（Action）で“REC”、“CAM1REC”、“CAM2REC”のいずれかが設定されていて、トリガー信号が有効になったとき
- 車の速度に応じた信号
本機が検出する速度データは、設定した速度を超えた場合に記録トリガーとして使用されます。この信号は、記録を開始するエッジ信号と見なされ、記録を停止する目的では使用されません。
使用目的や設置状況に応じて下記の検出方法より選択します。

自車速度の検出：

車速パルス（86ページの「スピードパルス」と109、110ページの「車速パルス設定早見表（60 km/h時）」および111、112ページの「車速パルス設定早見表（40 M/h時）」参照）またはGPSを使用

目標車速度の検出：

レーダーガンを使用

お願い：

車速パルス、GPSあるいはレーダーガンを記録トリガーとして使用するためには、正しく接続されていることを確認後（お買い上げの販売店にご確認ください）接続先の設定を行ってください。（85、86ページの「レーダーとGPS（Radar/GPS）」参照）

お知らせ：

- 車速パルスとGPSの両方が有効設定されている場合は、車速パルスが記録トリガーとして使用されます。車速パルスまたはGPSによる記録トリガーを検出後は、車を停止するか設定速度より5 km/hまたは5 M/h以下の速度を検出すると再度記録トリガーとして使用できるようになります。
- 記録は、本機の [READY] ランプ点灯時のみ可能です。[REC] ボタンを押したり記録トリガーを入力しても記録を開始できない場合、本機とカラーカメラとコントロールパネルの [REC] ランプが高速点滅します。
- 記録中は本機、コントロールパネル、カラーカメラの [REC] ランプが点灯されます。

（次ページへつづく）

記録する／停止する (つづき)

- 記録する映像は、[CAMERA1]もしくは[CAMERA2]の入力端子から入力される映像です。(37ページの「セットアップ」と57ページの「カメラを選択する」および77ページの「電源ON時のカメラ選択(Init Camera Select)」参照)
- 記録する音声は、[IN CAR MIC]もしくは[AUDIO IN 1,2]の入力端子から入力される音声です。(37ページの「セットアップ」と61ページの「Audio2の入力を選択する」および77ページの「電源ON時のオーディオ選択(Init Audio2 In Select)」参照)
- 記録中にP2カードスロットカバーを開くと、記録は停止します。
- P2カードスロットカバーを閉じないと、記録を開始することができません。
- 管理者設定を行っているときに、レベル信号が記録開始条件を満たしても記録は開始されません。このとき、そのまま管理者設定を終了しても記録は開始されません。記録を開始するには、管理者設定作業を終了した後、再度記録開始条件を満たす必要があります。
- 複数の記録トリガーを設定している場合には、最初に記録開始条件を満たした時点から記録が開始されます。このときプリ記録時間が設定してあれば、記録開始以前も記録されます。

- 循環記録が設定されていないとき、P2カードの容量が残っていても、以下の場合には記録を開始しません。
 - P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カード上の記録数が20,000ファイルを超えたとき
 - 16 GB以上のP2カード使用時、記録日数が最大を超えたとき
 - 16 GB以上のP2カード使用時、その日の記録が最大記録ファイル数*を超えたとき(ただし、「Rule of Filename」の設定が“WT”のときは、次の日(世界標準時の次の日：午前9時以降)になると、記録日数が最大を超えていなければ、記録を開始することができます。(38ページの「セットアップ」と78ページの「ファイル名 (Rule of Filename)」参照))

停止する

記録の停止は、設定された条件によって異なります。記録の停止に影響する設定は、記録継続時間の停止タイマーの設定と記録トリガーレベル信号の有無です。

以下の条件は同様に扱われます。

- 本機の[STOP]ボタンを押したとき
- コントロールパネルの[STOP]ボタンを押したとき
- カラーカメラの[REC]ボタンを約2秒間押し続けたとき
- トリガー信号 (GPIO 1～8) の検出時の動作 (Action) で、“STOP”が設定されていて、トリガー信号が有効エッジになったとき

* フォーマット種類により変わります。88、89ページの「フォーマット (Format)」を参照してください。

記録する／停止する (つづき)

■ 記録停止条件

レベル信号	停止タイマーの設定	記録を停止する条件 (早いほう)
なし	なし	[STOP] ボタンを押したとき
	あり	[STOP] ボタンを押したときまたは、エッジ記録トリガーの停止タイマーの設定時刻が到達したとき
あり	なし	[STOP] ボタンを押したときやレベル信号が無効レベルに変化したとき
	あり	[STOP] ボタンを押したときやレベル信号が無効レベルに変化したときまたは、レベル指定された信号が無効でかつエッジ記録トリガーの停止タイマーの設定時刻が到達したとき

記録停止時、ポスト記録機能が働き、記録停止後の映像も記録します。ポスト記録で記録する時間はコントロールパネルで設定できます。

以下の場合も記録が停止されます。:

- P2カード残容量がなくなったとき
- 管理者設定を開始したとき
- P2カード上に異常を検知し、記録の継続が不可能になったとき
- プログラム記録 (30、31ページの「プログラム記録」参照) の終了時刻になったとき
- 16 GB以上のP2カードを挿入している場合、記録日数もしくはファイル数が最大を超えたとき

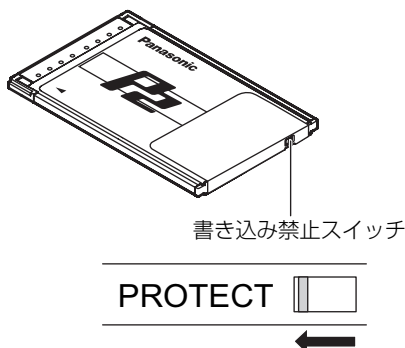
お知らせ:

- プリ記録やポスト記録を含む記録開始から記録停止までの連続する映像や音声を1つのファイルとしてP2カードに記録します。
- 記録時間が17時間を超える、もしくは1ファイルの記録容量が4 GBを超える場合には、自動的にファイルを分割して記録します。
- 記録開始後、約5秒間記録を停止できない場合があります。この期間に [STOP] ボタンが押されると [REC] ランプが約1秒間点滅し、記録は継続されます。
- 記録停止中に [STOP] ボタンが押されると [REC] ランプが約1秒間点滅します。
- 記録継続時間経過後、停止タイマーにより記録が停止した場合は、ポスト記録機能は働きません。
- レベル信号で記録が開始した場合、信号が無効レベルに変化しても開始から1分間は記録を継続します。この期間に [STOP] ボタンを押すと記録を停止することができます。
- [REC] ボタンを複数回押したとき、およびエッジ信号として設定された記録トリガーが複数の有効エッジを持っていた場合、最後にボタンを押したとき、および最後の有効エッジに対して記録継続時間が働きます。
- 間けつ記録は、記録継続時間によって記録停止することはありません。

記録について

書き込み禁止スイッチ

P2カードには、書き込み禁止スイッチがあります。書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にしていないと、書き込みやフォーマットおよびファイルの削除はできません。



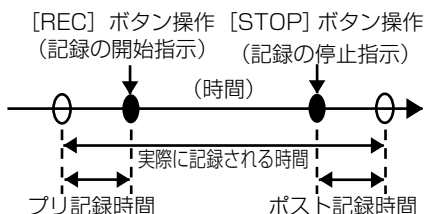
お知らせ：

- 電源が入った状態で書き込み禁止スイッチを切り替えても反映されません。電源を一度切って再度入れるか、カードを一度抜いて再度挿入するかをしてください。
- ふたつのカードスロットのうち、どちらか1枚でもP2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていると記録を開始しません。

プリ記録とポスト記録

プリ記録は、記録を開始した時点からプリ記録時間だけさかのぼって記録を行うものです。ポスト記録は、記録を停止した時点からポスト記録時間だけ記録を継続します。それぞれの記録時間は、プリ記録時間、ポスト記録時間として設定します。

音声記録のプリ記録時間とポスト記録時間を独立して設定できます。これによってプリ記録とポスト記録の音声記録を部分的に無効にできます。ただし、映像記録のプリ記録時間、ポスト記録時間の設定が優先されます。また、映像記録のプリ記録時間、ポスト記録時間より長く音声記録のプリ記録時間、ポスト記録時間を設定することはできません。



お知らせ：

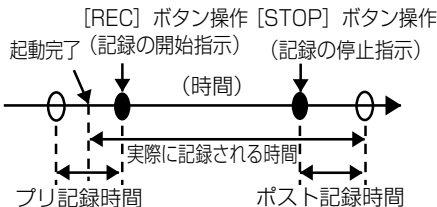
[STOP] ボタンを押した直後に [REC] ランプが消灯し、ポスト記録時間経過後に映像と音声の記録が停止されます。その後 [BUSY] ランプが消灯します。

記録について (つづき)

プリ記録時間やポスト記録時間は、設定された時間より短くなる場合があります。

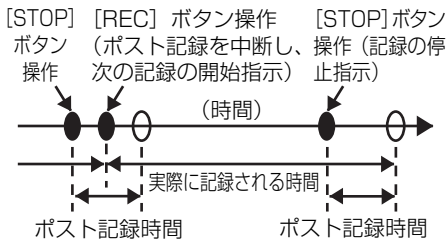
■ 起動完了直後に記録を開始する

プリ記録部分が短くなります。



■ ポスト記録中に記録を開始する

記録中のポスト記録を中断し、次の記録を開始します。このとき、次の記録のプリ記録部分は記録されません。

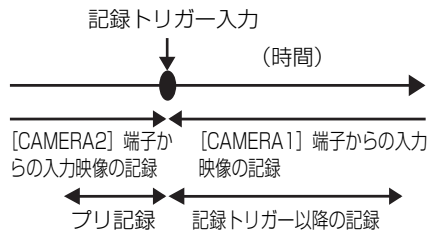


お知らせ：

- ・ [REC] ボタンと [STOP] ボタンを連続的に交互に押した場合、ファイルが分離されずひとつのファイルになることがあります。
- ・ P2カードの残容量が少ないとき、プリ記録時間やポスト記録時間が短くなる場合があります。
- ・ ポスト記録中に再生、試し撮り (RecCheck)、ファイルの修復および管理者設定を行うとポスト記録は中断されます。

記録する映像の選択

本機リアパネルの [CAMERA1] もしくは [CAMERA2] 端子に入力された映像を選択して記録します。また、トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) の検出時の動作で "CAM1REC" もしくは "CAM2REC" を設定して、トリガー信号が有効になったとき設定した入力端子の映像が記録されます。プリ記録が行われ、記録トリガーで映像が切り替わると、プリ記録は切り替え前の映像で、記録トリガー以降が切り替わった後の映像になります。記録トリガーで映像の切り替えを行うか否か、行う場合はどの映像に切り替えるかは設定することができます。



お知らせ：

- ・ 映像入力を切り替えるとき、映像あるいは音声が少ないの間乱れることがあります。
- ・ 記録中の映像切り替えは必要最小限にしてください。

記録について (つづき)

記録する音声

本機が記録する音声チャンネル数は、2チャンネル (Audio1, Audio2) です。リアパネルの [AUDIO IN 1,2] 端子と [IN CAR MIC] 端子の計3端子のうち、[AUDIO IN 1] 端子に入力される音声を、常にAudio1に記録します。Audio2には、[AUDIO IN 2] 端子または [IN CAR MIC] 端子に入力される音声を選択して記録します。選択には、コントロールパネルを使用します。音声の記録モードには、INCAR、WMICがあります。

■ INCAR

記録時、音声チャンネル (Audio2) に [IN CAR MIC] 端子から入力された音声を記録します。

■ WMIC

記録時、音声チャンネル (Audio2) に [AUDIO IN 2] 端子から入力された音声を記録します。

電源ON記録

本機の電源がONになると自動的に記録を開始します。また、[PowerOff Time]の設定により本機が動作しているときも、本機の電源がONになると自動的に記録を開始します。

循環記録

循環記録は、最も古い記録ファイルを自動的に消しながら新しい記録を続けます。循環記録モードが設定されると、記録ファイルは通常約60分の単位で分割されます。ただし、記録解像度とビットレート (Resolution/RecRate) の設定値が "F-2M" のときには、記録ファイルは約30分の単位で分割されます。

お知らせ：

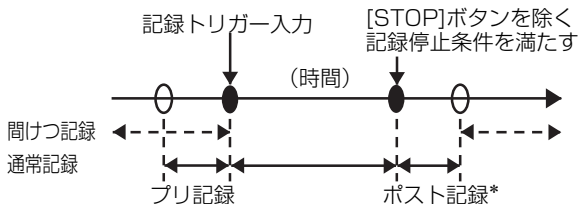
- 記録中に異常が発生したときも記録ファイルは分割されます。
- 循環記録が設定されている場合、On ScreenのP2カード記録残時間欄に記録総時間が表示されます。62、63ページの「ライブ映像を見る→本機の状態を表示する」を参照してください。
- 循環記録中、以下の場合には記録を停止します。
 - 16 GB以上のP2カード使用時、その日の記録が最大記録ファイル数*を超えて、記録の継続が不可能になったとき
 - P2カード上に異常を検知し、記録の継続が不可能になったとき
- P2カード上に大量の記録ファイルが存在する状態で、循環記録を開始すると、プリ記録が実行されない場合があります。

* フォーマット種類により変わります。88、89ページの「フォーマット (Format)」を参照してください。

記録について (つづき)

間けつ記録

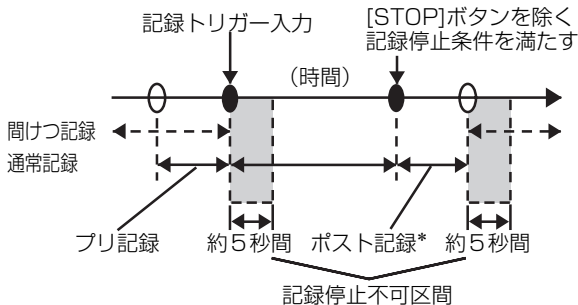
間けつ記録は、1秒間に1枚の映像のみ記録して、通常記録よりも記録時間を延長する記録モードです。間けつ記録中に記録トリガーが入力されると、間けつ記録が中断され、通常記録が開始します。通常記録にはプリ記録が含まれるので、プリ記録中は間けつ記録と通常記録のプリ記録が重複します。[STOP]ボタンを除く記録停止条件が満たされると、ポスト記録終了後間けつ記録が再開します。



* ポスト記録後に間けつ記録が開始される場合、音声ポスト記録時間の設定値に関係なく、映像のポスト記録時間で決められた間、音声はポスト記録されます。

以下の場合[STOP]ボタンが押されても記録は停止されません。

- ・ 間けつ記録から通常記録（プリ記録は含まない）に切り替わった直後の約5秒間
- ・ 通常記録から間けつ記録に切り替わった直後の約5秒間



* ポスト記録後に間けつ記録が開始される場合、音声ポスト記録時間の設定値に関係なく、映像のポスト記録時間で決められた間、音声はポスト記録されます。

お知らせ：

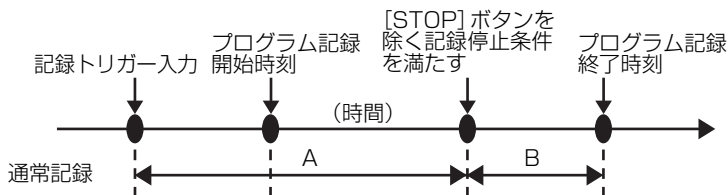
- ・ 間けつ記録と電源ON記録がともに設定値“ON”のとき、本機の電源がONになると間けつ記録モードになり、間けつ記録が開始します。（間けつ記録の設定値が“OFF”のときは通常記録が開始します。）
- ・ 記録継続時間経過後、記録が停止したときは、ポスト記録は実行されずに、間けつ記録が開始されます。
- ・ プリ記録時間の設定が“0”（ゼロ）以外の場合、間けつ記録中に記録トリガーによる通常記録が開始した場合、プリ記録時間は間けつ記録開始時間以降に自動的に設定されます。
- ・ 記録が開始した直後や、通常記録から間けつ記録もしくは間けつ記録から通常記録に切り替わった直後に生じる記録停止不可区間は、循環記録の設定が“ON”のときに時間が長くなる場合があります。
- ・ 通常記録から間けつ記録に切り替わったときポスト記録が行われている間は、[REC]ランプは点灯します。
- ・ 記録トリガー以外では、記録継続時間の設定は機能しません。

記録について (つづき)

プログラム記録

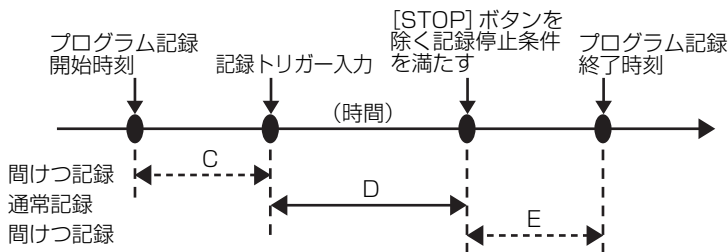
プログラム記録は、毎日もしくは一週間単位の曜日ごとに開始時刻と終了時刻を設定して記録する機能です。プログラム記録では、循環記録や間けつ記録の設定に従って記録を開始・終了します。例えば、間けつ記録の設定値が“ON”のとき、開始時刻になると間けつ記録が始まります。

- 記録トリガーによる記録は通常記録で、プログラム記録より優先します。記録トリガーによる記録が行われているときにプログラム記録の開始時刻になっても、記録トリガーによる記録が続きます。記録トリガーによる記録が [STOP] ボタンを除く記録停止条件を満たして終了すると、プログラム記録の記録が始まります。プログラム記録の終了時刻になっても、記録トリガーによる記録が行われていれば、その記録は終了しません。



- A : 記録トリガーによる通常記録ファイル
- B : プログラム記録による通常記録ファイル

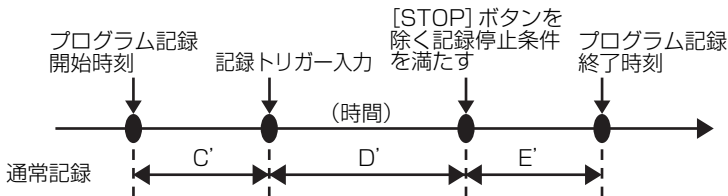
- 間けつ記録“ON”、プログラム記録“ON”のとき、記録トリガーが入力されたときには、間けつ記録ファイルと通常記録ファイルに分割されます。以下の場合には3つのファイルに分割されます。



- C : プログラム記録による間けつ記録ファイル
- D : 記録トリガーによる通常記録ファイル
- E : プログラム記録による間けつ記録ファイル

記録について (つづき)

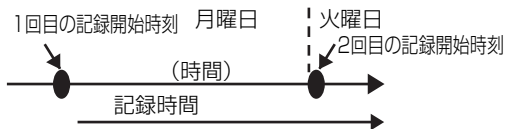
- 間けつ記録“OFF”、プログラム記録“ON”のとき、記録トリガーが入力されたときには、通常記録のための、ファイルは分割されません。



- C' : プログラム記録による通常記録ファイル
- D' : 記録トリガーによる通常記録ファイル
- E' : プログラム記録による通常記録ファイル

お知らせ：

- 通常記録中および間けつ記録中に次の日の記録開始時刻になった場合は、通常記録もしくは間けつ記録の状態を維持します。



- 終了時刻を開始時刻と同一もしくは開始時刻よりも前に設定すると、終了時刻は次の日になります。
- 終了時刻と翌日の開始時刻が同一の場合は、1つのファイルに連続して記録されます。
- プログラム記録による記録実行時は、以下の設定は機能しません。
 - 記録継続時間
 - 映像のプリ記録時間
 - 音声のプリ記録時間
 - 映像のポスト記録時間
 - 音声のポスト記録時間

記録について (つづき)

間けつ記録やプログラム記録時の状態変化

ボタン操作や記録トリガーおよび記録停止条件などの入力による状態変化を、間けつ記録やプログラム記録の設定条件ごとに以下の表に示します。

<間けつ記録 “ON” 時>

入力前の状態	入 力			
	[STOP] ボタン操作	[REC] ボタン操作	[STOP]ボタンを 除く記録停止条件 を満たす	記録トリガー 入力
記録停止状態	変化なし	間けつ記録状態	変化なし	通常記録状態
間けつ記録状態	記録停止状態	変化なし	変化なし	通常記録状態
通常記録状態	記録停止状態	変化なし	間けつ記録状態	変化なし

<間けつ記録 “OFF” 時>

入力前の状態	入 力			
	[STOP] ボタン操作	[REC] ボタン操作	[STOP]ボタンを 除く記録停止条件 を満たす	記録トリガー 入力
記録停止状態	変化なし	通常記録状態	変化なし	通常記録状態
通常記録状態	記録停止状態	変化なし	通常記録状態	変化なし

<間けつ記録 “OFF”、プログラム記録 “ON” 時>

入力前の状態	入 力			
	[STOP] ボタン操作	[REC] ボタン操作	[STOP]ボタンを 除く記録停止条件 を満たす	記録トリガー 入力
記録停止状態	変化なし	記録トリガーによる 通常記録状態	変化なし	記録トリガーによる 通常記録状態
プログラム記録による 通常記録状態	記録停止状態	記録トリガーによる 通常記録状態	変化なし	記録トリガーによる 通常記録状態
記録トリガーによる 通常記録状態	記録停止状態	変化なし	プログラム記録による 通常記録状態	変化なし

記録について (つづき)

記録ファイルの保存先とファイル名

記録ファイルの保存先のフォルダー名は、ファイル名作成規則 (Rule of Filename)に従って作成されます。

WT(グローバル時間): “¥DATA” がベースフォルダー

LT(ローカル時間) : “¥DATA ¥LOCAL” がベースフォルダー

上記ベースフォルダー内に、記録開始年月日を表すフォルダーが作成され、そのフォルダー内に記録開始時刻を表すファイルが作成されます。

例えば2006年9月28日 10時23分39秒に記録を開始した場合、

記録ファイルの保存先フォルダー名 : “¥DATA ¥20060928”

記録ファイルのファイル名 : “102339xn.eee”

x	L	ローカル時間
	_	派生ファイル
	B	ブックマークファイル(WTのとき)
	M	ブックマークファイル(LTのとき)
	なし	上記以外のファイル

n	派生の番号 (無い場合もあります)
---	----------------------

.eee	拡張子
------	-----

となります。

派生ファイルは、同一開始時刻のファイル名が複数存在するときに作成されます。

■自動的に分割された場合のファイル名について

ファイルが自動的に分割された場合のファイル名は、派生を表すファイル名として作成される場合と、記録開始時刻を表すファイル名として作成される場合があります。

- ・派生を表すファイル名の場合
記録開始時刻の後ろに “_n” がついたファイル名となります。ファイル一覧画面では、ファイルの後ろに “*” が付いています。
- ・記録開始時刻を表すファイル名の場合
循環記録で、自動的に分割された時点の時刻がファイル名となります。

記録について (つづき)

記録エラー警告

本機では、映像や音声を正しく記録できないことが検知できた場合、GPIO9 ([GPIO/SERIAL]端子の25ピン) に、以下のように警告の信号を出力することができます。

GPIO9の出力内容

設定項目		非記録時	記録時	記録エラー時*1
GPIO9 for Rec	GPIO9 for Error			
DISABLE	DISABLE	消灯*2	消灯*2	消灯*2
DISABLE	ENABLE	継続 (前の状態が記録エラーのときは高速点滅。)	消灯*2	高速点滅*4
ENABLE	DISABLE	消灯*2	点灯*3	消灯*2
ENABLE	ENABLE	継続 (前の状態が記録エラーのときは高速点滅。それ以外は消灯。)	点灯*3	高速点滅*4

*1 記録エラー時とは、以下のような状態をあらわします。

- ・記録できない (以下に具体例をあらわします)
 - P2カードスロットカバーが開いている状態
 - 記録可能なP2カードが挿入されていないか、または確認できない状態
 - P2カード残容量がない状態
 - P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっている状態
 - P2カード上に異常を検知し、記録の継続が不可能になった状態
 - 16 GB以上のP2カードを挿入している場合、ご購入直後で未フォーマットの状態
 - 16 GB以上のP2カードを挿入している場合、記録日数もしくはファイル数が最大を超えた状態
 - 管理者設定を開始もしくは、行っている状態
 - [PowerOff Time] (77ページの「電源OFF時間(PowerOff Time)」参照) が“AUTO”に設定されていて、エンジンスイッチがLOCK(OFF)にされた状態
- ・カメラからの映像信号が検知できない

*2 消灯 : GPIO9への出力はロー (出力電圧0 V)

*3 点灯 : GPIO9への出力はハイ (出力電圧5 V)

*4 高速点滅 : GPIO9への出力はロー→ハイ→ローが高速 (250 ms周期) に繰り返される

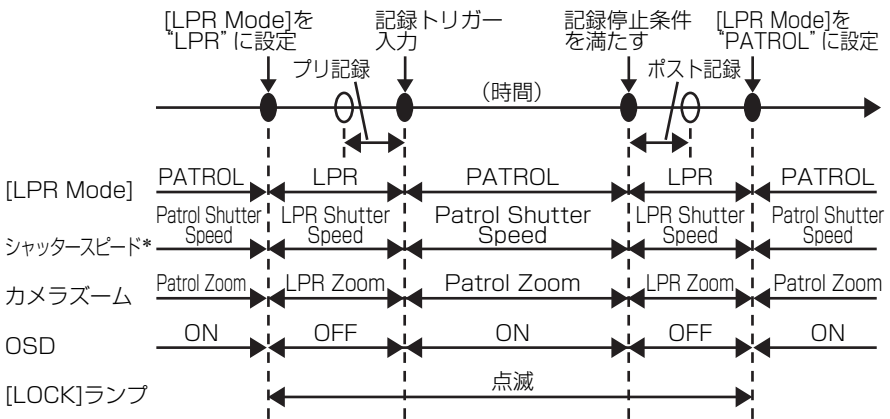
ライセンスプレート認識 (LPR) モードについて

ライセンスプレート認識(LPR; License Plate Recognition)モードを使うと、LPRシステムと連動させることができます。

このとき、カラーカメラのシャッタースピードを[LPR Shutter Speed] (1/500もしくは1/1000) にしてください。

ただし、ライセンスプレート認識中に記録トリガーによって記録を開始する場合は、自動的にシャッタースピードは[Patrol Shutter Speed]で設定した値になります。記録停止条件を満たすと、自動的にシャッタースピードは[LPR Shutter Speed]で設定された値(1/500もしくは1/1000)に戻ります。

使用者によるLPRモードの設定変更や記録の開始/終了に伴って、シャッタースピード、カメラズーム、OSD、[LOCK]ランプがどのように変化するかを以下に示します。



操作上の付帯事項

- * [Patrol Shutter Speed]の設定値は、“AUTO, 1/100, 1/500, 1/1000” があります。
- [LPR Shutter Speed]の設定値は、“AUTO, 1/500, 1/1000” があります。

お知らせ：

ライセンスプレート認識ソフトを使わない場合([Init LPR Mode]が“DISABLE”もしくは、[Init LPR Mode]が“ENABLE”で[LPR Mode]が“PATROL”のとき)でも、[Patrol Shutter Speed]と[Patrol Zoom]は使用できます。

セットアップ

工場出荷値は次の通りです。各項目の設定値を変更するときは、コントロールパネルを使用してください。PCアプリケーションを使用する場合は、設定値が変更されたり、設定項目が制限されることがあります。

使用者が設定できる項目：

	項目	工場出荷値	説明
1	Camera		カラーカメラの設定
	AE[-2 -- +2]	0	カラーカメラ映像の明るさ設定 設定値：-2, -1, 0, +1, +2
	LPR Mode	PATROL	LPRモードの設定 設定値：LPR (ライセンスプレート認識モード), PATROL (通常モード)
	LPR Shutter Speed	1/1000	[LPR Mode]が“LPR”時のシャッタースピードの設定 設定値：AUTO, 1/500, 1/1000
	LPR Zoom	1.0	[LPR Mode]が“LPR”時のズーム倍率の設定 設定値：1.0 ~ 22.0
	Patrol Shutter Speed	AUTO	[LPR Mode]が“PATROL”時のシャッタースピードの設定 設定値：AUTO, 1/100, 1/500, 1/1000
	Patrol Zoom	1.0	[LPR Mode]が“PATROL”時のズーム倍率の設定 設定値：1.0 ~ 22.0
2	Audio		音声の設定
	Audio2 Select	INCAR	Audio2入力を選択 設定値：INCAR, WMIC, LINK CAM
	Audio 1	ON	Audio 1の再生音の設定 設定値：ON, OFF
	Audio2	ON	Audio2の再生音の設定 設定値：ON, OFF
3	Setup/Info		設定／情報
	Officer		使用者の設定
	Officer 1 ID	----	使用者1のID
	Officer 1 first name	----	使用者1のfirst name
	Officer 1 last name	----	使用者1のlast name
	Officer 2 ID	----	使用者2のID
	Officer 2 first name	----	使用者2のfirst name
	Officer 2 last name	----	使用者2のlast name
	Operation Key Lock	OFF	使用者による操作ボタンのロック 設定値：ON, OFF
	On Screen Type	OFF	オーバーレイOSDの表示設定 設定値：AUTO, SIMPLE, DETAILS, OFF
	Camera LED	ON	カラーカメラの[REC]ランプ表示設定 設定値：ON, OFF

セットアップ (つづき)

管理者が設定できる項目：

	項目	工場出荷値	説明
1	Rec/Play		記録や再生に関する設定
	PowerOff Time*1	120	SIGNALのOFFから本機電源OFFまでの時間(分) 設定値：0, 10, 20, 30, 60, 90, 120, 180, AUTO*2
	Init Camera Select	1	ビデオ入力の初期値（電源ON時） 設定値：1（[CAMERA1] 端子入力）, 2（[CAMERA2] 端子入力）, LAST*3
	Init Audio2 In Select	INCAR	Audio2入力の初期値（電源ON時） 設定値：INCAR（[IN CAR MIC]端子入力）, WMIC*4（[AUDIO IN 2]端子入力）, LINK CAM*5, LAST*3
	PowerOn Rec	OFF	電源ONでの自動記録開始 設定値：ON, OFF
	Loop Rec	OFF	循環記録 設定値：ON, OFF
	Intermittent Rec	OFF	間けつ記録 設定値：ON, OFF
	Resolution/ RecRate	Q-512k	記録解像度とビットレート 設定値：Q-512k（320x240ピクセル, 512 kbps）, Q-1M（320x240ピクセル, 1 Mbps）, F-1M（720x480ピクセル, 1 Mbps）, F-2M（720x480ピクセル, 2 Mbps） F-1Mは10 fps、その他は30 fps

(次ページへつづく)

- *1 車によっては、本機動作中にバッテリーが残量不足になる可能性があります。
- *2 **PCアプリケーションが接続されていない場合：**
すぐに電源OFFします。ただし、USBメモリーへのエクスポートを実行中の場合は、エクスポート完了後に電源OFFします。
- PCアプリケーションが接続されている場合：**
PCアプリケーションとの接続を解除するか、またはP2カードスロットカバーを開くと電源OFFします。
- *3 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。
- *4 WMICはWireless Microphoneの略です。
- *5 LINK CAMに設定すると、カメラ切り替えと連動して、Audio2は以下のように切り替わります。
[CAMERA1] 端子入力に切り替わった場合：[AUDIO IN 2] 端子の入力音声に切り替わります。
[CAMERA2] 端子入力に切り替わった場合：[IN CAR MIC] 端子の入力音声に切り替わります。

セットアップ (つづき)

	項目	工場出荷値	説明
1	Rec Continue Time	CONTINUE	記録継続時間 (分) 設定値：1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 90, CONTINUE
	PreRec Time (Video)	90	映像プリ記録時間 (秒) 設定値：0, 10, 20, 30, 60, 90
	PreRec Time (Audio)	90	音声プリ記録時間 (秒) 設定値：0, 3, 10, 20, 30, 60, 90
	PostRec Time (Video)	90	映像ポスト記録時間 (秒) 設定値：0, 10, 20, 30, 60, 90
	PostRec Time (Audio)	90	音声ポスト記録時間 (秒) 設定値：0, 3, 10, 20, 30, 60, 90
	Rule of Filename	WT	記録ファイルのファイル名作成規則 設定値：WT (グローバル時間) LT (ローカル時間)
	Init Audio2 Rec	ON	Audio2入力の記録の初期値 (電源ON時) 設定値：ON, OFF, LAST *2
	Init On Screen Type	OFF	オーバーレイOSDの初期値 (電源ON時) 設定値：AUTO, SIMPLE, DETAILS, LAST*2, OFF
	GPIO9 for Rec	ENABLE	GPIO9への記録状態出力を設定 設定値：ENABLE, DISABLE
	GPIO9 for Error	ENABLE	GPIO9への記録エラー状態出力を設定 設定値：ENABLE, DISABLE
	Init Audio Out (Play)	BOTH	オーディオ出力の初期値 (電源ON時) 設定値：OFF, 1, 2, BOTH, LAST *2
	Play Mode	SINGLE	再生モードの選択 (リレー再生の設定) 設定値：SINGLE, RELAY
	Skip Target		スキップ位置
	Trigger/Marker	YES	トリガー位置もしくはブックマーク位置の設定 設定値：YES, NO
	Head of File	YES	ファイルの先頭位置の設定 設定値：YES, NO
2	Programed Rec		プログラム記録の設定
	Daily	—	1週間共通のプログラム記録設定 設定値：—, ON (—にすると開始時刻と終了時刻を設定できない)
	Mon ~ Sun	—	月曜日～日曜日のプログラム記録設定 *4 設定値：—, ON (—にすると開始時刻と終了時刻を設定できない)

*2 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

*4 [Daily] が“ON”に設定されると、[Mon ~ Sun] の設定はできません。

セットアップ (つづき)

	項目	工場出荷値	説明
3	Date/Time		日付と時刻、タイムゾーンの設定
	TimeZone	Asia Tokyo	タイムゾーン Hawaii Standard Time, Yukon Standard (Daylight Saving) Time, Pacific Standard (Daylight Saving) Time, Mountain Standard (Daylight Saving) Time, Central Standard (Daylight Saving) Time, Eastern Standard (Daylight Saving) Time, Atlantic Standard (Daylight Saving) Time, Asia Tokyo
	Style	ISO	日付の表示形式設定 設定値：ISO (YYYY-MM-DD HH : MM : SS), USA (MM/DD/YYYY HH : MM : SS)
	Date/Time	現在の時刻	年/月/日 時:分:秒
4	Trigger		トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) の設定
	GPIO	ON	GPIO全体の入力可否 設定値：ON (GPIO全体の入力許可), OFF
	Action	NONE	トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 検出時の動作 設定値： REC (記録), STOP (停止), AUTOZOOM (自動的にズームイン、 一定時間停止、ズーム アウトの動作を行う), CAM1 ([CAMERA1] 端子入力を選択), CAM2 ([CAMERA2] 端子入力を選択), CAM1REC ([CAMERA1] 端子入力 映像を記録), CAM2REC ([CAMERA2] 端子入力 映像を記録), CAM1LED ([CAMERA1] 端子入力 に接続のカラーカメラの [REC] ランプの表示設 定 (点灯/消灯) を切り 替え), NONE (動作なし)

(次ページへつづく)

セットアップ (つづき)

	項目	工場出荷値	説明
4	Detection	H	<p>トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) の検出方法 Actionの設定値によって選択できる検出 方法が変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • REC, CAM1REC, CAM2RECの場合 設定値：H (ハイレベルトリガー), Level H(ハイレベルトリガー), L (ローエッジトリガー), Level L(ローレベルトリガー), B (両エッジトリガー) • CAM1, CAM2, CAM1LED, AUTOZOOM, STOPの場合 設定値：H (ハイレベルトリガー), L (ローエッジトリガー), B (両エッジトリガー) • NONEの場合 設定値：H (ハイレベルトリガー), L (ローエッジトリガー), SPEED (車速パルス, GPIO8のみ)
	Printable	OFF	OSDに1文字表示する際の文字定義 設定値：A ~ Z, -, OFF
5	OSD		埋め込みOSD (On Screen Display)
	OSD	ON	OSD表示設定 設定値：ON, OFF
	Display Position	L-Upper	表示場所設定 設定値：L-Upper (左上部), R-Upper (右上部), L-Bottom (左下部), R-Bottom (右下部)
	Trigger	ON	トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 入力時の OSD表示設定 設定値：ON, OFF
	Time	ON	日付と時刻の表示設定 設定値：ON, OFF
	Source@Area	OFF	車両識別情報と地域情報の表示設定 設定値：ON, OFF

セットアップ (つづき)

項目	工場出荷値	説明
6 Camera		カラーカメラの設定
Zoom Limit	22	ズーム時の最大倍率 設定値：22, 220
AGC Level	HIGH	カラーカメラ自動利得調整の設定 設定値：LOW, MID, HIGH, OFF
Init Backlight	OFF	逆光補正の初期値（電源ON時） 設定値：ON, OFF, LAST *2 (ONで逆光補正を行う)
Init AE Shift	0	カラーカメラ映像の明るさ初期値（電源ON時）*5 設定値：-2, -1, 0, +1, +2, LAST *2
Flip	OFF	カラーカメラ映像の上下反転 設定値：ON（上下反転する）, OFF（上下反転しない）
AutoZoom Magnification	10	オートズームの拡大倍率 設定値：1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 15, 22
AutoZoom Time	3	オートズームの拡大維持時間（秒） 設定値：3, 5, 8
Init Camera LED	ON	カラーカメラの [REC] ランプ表示機能の初期値（電源ON時） 設定値：ON（[REC] ランプを記録時に点灯）, OFF（[REC] ランプを点灯しない）, LAST *2
Init IR Mode	AUTO	赤外(IR)機能の切り替え 設定値：AUTO (IR機能を自動ON/OFF), OFF (IR機能を強制OFF), ON (IR機能を強制ON), LAST *2
IR Level	LOW	IR自動切り替え時の切り替えレベル設定 *6 設定値：LOW, HIGH
IR Time	30	IR自動切り替え時のレベル検出時間（秒）*6 設定値：10, 30, 60, 300

(次ページへつづく)

- *2 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。
- *5 [Init AE Shift]の設定値が“+2”で、被写体が暗いときは画像が30 frame/secで更新されないことがあります。
- *6 [IR Level]と[IR Time]の設定は、[Init IR Mode]が“AUTO”の場合のみ有効となります。

セットアップ (つづき)

	項目	工場出荷値	説明
6	AUTO FOCUS	AUTO	<p>以下のような場合のカラーカメラのフォーカス方法を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Init LPR Mode」が“DISABLE” のとき ・「Init LPR Mode」が“ENABLE” で[LPR Mode]が“PATROL” のとき ・「Init LPR Mode」が“ENABLE” で[LPR Mode]が“LPR” のとき、記録トリガーによって記録を開始したとき <p>設定値：</p> <p>AUTO (ズーム倍率が変動した場合に、オートフォーカス。)</p> <p>PRESET (ズーム倍率が3倍以下の場合、約15 mにフォーカス。その後ズーム操作を行うとオートフォーカス。)</p> <p>DISABLE (約40 mに固定し、オートフォーカス禁止。)</p>
	Init LPR Mode	DISABLE	<p>LPR (ライセンスプレート認証) 機能の切り替え</p> <p>設定値：</p> <p>ENABLE (LPR機能が有効) ,</p> <p>DISABLE (LPR機能が無効。[LPR Mode]は“PATROL” に切り替わる。)</p>

セットアップ (つづき)

項目	工場出荷値	説明
7	Management Mode	使用者の管理に対する設定
	Setting Method	AUTO 使用者の登録方法 設定値：AUTO, MANUAL, LIST
	Operation Key Lock	OFF 管理者による操作ボタンのロック 設定値：ON, OFF
8	Radar/GPS	レーダーガン、GPS、速度に関する設定
	Baud Rate	4800 レーダーガンとの通信レート (bps) *7 設定値：1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400
	Bit Length	8 レーダーガンとの通信ビット長 (bit) *7 設定値：7, 8
	Stop Bit	1 レーダーガンとのストップビット長 (bit) *7 設定値：1, 2
	Parity	NONE レーダーガンとの通信パリティ *7 設定値：NONE, ODD, EVEN
	Model Select	ProLaser3 レーダーガンの機種選択 設定値：ProLaser3 *8 Others_Analyzed_PC *8
	Connection of Radar	OFF レーダーガンの接続先 *7 設定値：VPU (本機)、OFF
	Connection of GPS	OFF GPSの接続先 設定値：VPU (本機)、PC、OFF
	Collection Time	5 GPSデータの取得間隔 (秒) 設定値：1, 2, 5, 10
	Geodetic System	WGS84 測地系の設定 設定値：WGS84, TOKYO
	Speedpulse at Std Speed	20 60 Km/hまたは40 M/h時の1秒間の車速パルス数 設定値：5 ~ 400 *9
	Own Speed	OFF 記録を開始する自車のスピード 設定値：OFF, 1 ~ 500
	Target Speed	OFF 記録を開始する対象車のスピード 設定値：OFF, 1 ~ 500
	Speed Unit	KPH スピードの単位 設定値：MPH (M/H), KPH (Km/H)
	CAM Select in Speed	NO CHANGE 速度超過時のカメラ選択 設定値：1, 2, NO CHANGE

*7 レーダーガンをご使用の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*8 [Model Select] の設定欄には、先頭の8文字しか表示されません。

*9 タイヤの外径と車輪1回転当りのパルス数を元に車速パルス設定早見表(109、110ページ)の「車速パルス設定早見表(60 km/h時)」と111、112ページの「車速パルス設定早見表(40 M/h時)」参照 からパルス数を得て設定します。設定された値が正しいことを実際に車を走らせて確認してください。
外径とはタイヤの外側の直径で、リムサイズではありません。

セットアップ (つづき)

	項目	工場出荷値	説明
9	Auto Maintenance		自動メンテナンスの周期、実施日の設定
	Operation	OFF	自動メンテナンスの実行設定 設定値：ON, OFF
	Interval	6	周期の設定 (か月) 設定値：1, 3, 6, 12
	Day (週)	1st	実施週の設定 設定値：1st, 2nd, 3rd, Last
	Day (曜日)	Mon	実施曜日の設定 設定値：Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat, Sun
	Time (時)	0	開始時刻 (時) の設定 設定値：0 ~ 23
	Time (分)	0	開始時刻 (分) の設定 設定値：0 ~ 59

本機で使用するテキストファイル

テキストファイルには下記の種類があり、市販のテキストエディターで作成することができます。

正しく表示させるためには、下記の仕様に合わせる必要があります。作成例は47、48ページの「ファイルの例」を参照してください。

■ ファイルの種類

ファイルの種類	内容	ファイル名
使用者データファイル	使用者データを設定するときに使用します。使用者データの設定方法が“AUTO”もしくは“MANUAL”になっているときに必要です。管理者設定画面のログイン認証用としても使用します。	¥WIDKEY¥ WID*****.TXT
使用者登録ファイル	本機にまとめて使用者データ(最大500人分)を登録するときに使用します。使用者データの設定方法が“LIST”になっているとき、使用者は本機に登録されたリストから自分の名前を選択して設定できます。	¥WIDKEY¥ WOFFICER.TXT
管理者登録ファイル	管理者設定画面にログインできる管理者(最大10人)を本機に登録するときに使用します。管理者設定画面のログイン認証の際は、使用者データファイルが必要です。	¥WIDKEY¥ WADMIN.TXT
イベント情報ファイル	本機にイベント情報を登録するときに使用します。	¥WIDKEY¥ EVTYPE.TXT

お知らせ：

使用者登録ファイルや管理者登録ファイルが以下のような場合、使用者データや管理者データは登録されず、以前に登録されていた使用者データや管理者データとともに削除されます。

- ・使用者および管理者が1人も記述されていない
- ・必須項目の記述内容が誤っている

■ 保存場所とファイル名

本機で使用するテキストファイルはUSBメモリーのルートディレクトリーに「WIDKEY」を作成し、その下にファイルを保存します。

使用者データファイルは必ず1つのUSBメモリーに保存してください。

使用者データファイルのファイル名は、先頭に「WID」を含み最大8文字で、拡張子は「.TXT」です。「WID」以外の部分は特に制約はありません。

「WIDKEY」内に複数の使用者データファイルを保存している場合、ファイル名を自動でソート(昇順)して最初の1ファイルもしくは2ファイルが使用者データファイルとして使用されます。

本機で使用するテキストファイル (つづき)

■ ファイルの仕様

文法：

使用者データファイルでは、1行に持たせられるのはひとつの意味だけです。
1行に複数の意味を持たせたり、複数の定義を行うことはできません。

改行コード：

改行コードは16進数で「(0Dh)、(0Ah)」または「(0Ah)」のどちらかです。

空白行：

空白行は、意味を持たない行です。改行コード以外に含むことのできる文字は、スペースとタブ (09h) だけです。

コメント行：

スペースやタブを除く行の先頭の文字が「#」である行は、コメント行とみなされます。特に意味を持ちませんが、注釈や説明を含ませることができます。(20h) から (7Eh) の文字を含むことも可能です。

定義行：

- ・識別子=定義値となります。
- ・名前やその他のデータを定義する行です。行の先頭にあるスペースやタブは無視されます。
- ・識別子の説明を以下の表に示します。

◎：必須項目 ○：意味を持つ項目または検査対象 ×：無視される項目

識別子	最大文字数	説明	使用者データファイル		使用者/管理者登録ファイル	
			使用者1	使用者2	使用者	管理者
FirstName	50	名前 (First name) を定義する。	◎	◎	◎	◎
MiddleName	1	Middle nameを定義する。	○	○	○	○
LastName	50	姓 (Last name) を定義する。	◎	◎	◎	◎
ID	50	使用者の管理番号	◎	◎	◎	◎
Password	12	管理者設定を行う場合は設定することが望ましい。	○	○	×	○
SDate	10	勤務開始 日 YYYY-MM-DD	○	×	×	×
STime	5	勤務開始 時間 hh:mm	○	×	×	×
EDate	10	勤務終了 日 YYYY-MM-DD	○	×	×	×
ETime	5	勤務終了 時間 hh:mm	○	×	×	×
Shift	10	勤務の呼称、例えば早番など	○	×	×	×
Area	10	地域名	○	×	×	×
Source	50	車両識別	○	×	×	×
Border	73	複数の使用者に境界を与え、定義値は無視される。登録ファイル内で使われる。	×	×	○	○

識別子	最大文字数	説明	イベント情報ファイル
EvTypeN	99	イベント情報Nを定義する (Nは1 ~ 10)	○

本機で使用するテキストファイル (つづき)

- ・ 必須項目はその定義が含まれていない、すなわち未定義であれば、必要なデータが未定義であると判断し、登録もしくは検査対象としません。なお、識別子は大文字と小文字を区別しません。
- ・ 定義値は項目を定義する文字列で、“<” (3Ch)、“>” (3Eh)、“\” (5Ch)、“&” (26h)、“;” (2Ch)、制御文字 (00h ~ 1Fh)、“Delete” (7Fh) を除く半角英数字記号です。“=” 以降行末までが定義値とみなされ、途中のスペースや “=” 直後のスペースも有効です。使用できない文字が含まれている場合、その文字はスペースとして扱われます。最大文字数を越えた文字は無視されます。
- ・ 定義されていない識別子の項目は未定義となります。定義行で “=” に続いて改行コードが現れた場合、その識別子は未定義と見なされます。同じ識別子の定義行が複数ある場合は最後の行の定義が優先されます。

■ ファイルの例

使用者データファイル :

```
FirstName=Taro
#MiddleName=
LastName=Matsushita
ID=ICV12345
Password=panasonic
SDate=2005-09-12
STime=08:15
#EDate=2005-09-12
#ETime=20:00
Shift=Patrol
Area=WEST
Source=Car123
```

使用者情報ファイルの書式

# 識別子	最大文字数	説明
#FirstName	50	名(First name)を定義する。
#MiddleName	1	Middle nameを定義する。
#LastName	50	姓(Last name)を定義する。
#ID	50	使用者の管理番号
#Password	12	パスワード。管理者として登録する場合に使用される。
#SDate	10	勤務開始 日 YYYY-MM-DD
#STime	5	勤務開始 時間 hh:mm
#EDate	10	勤務終了 日 YYYY-MM-DD
#ETime	5	勤務終了 時間 hh:mm
#Shift	10	勤務の呼称
#Area	10	地域名
#Source	50	車両識別

本機で使用するテキストファイル (つづき)

使用者登録ファイル :

```
#松下 太郎
FirstName=Taro
MiddleName=
LastName=Matsushita
ID=ICV12345

Border=-----

#松下 花子
FirstName=Hanako
MiddleName=
LastName=Matsushita
ID=ICV12346
```

管理者登録ファイル :

```
#電産 田吾作
FirstName=Tagosaku
MiddleName=
LastName=Densan
ID=ICV12347
Password=panasonic
```

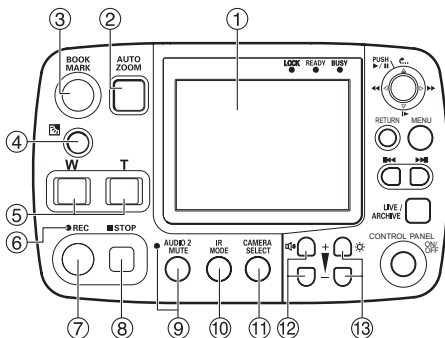
イベント情報ファイル :

```
EvType1=FOOTBALL
EvType2=BASEBALL
EvType3=HOCKEY
EvType6=TENNIS
EvType10=GOLF

# イベント情報ファイルの書式
# 識別子      最大文字数      説明
# EvTypeN      99      イベントタイプNを定義する (Nは1 ~ 10)
```


コントロールパネルの各部の名称と機能

フロントパネル




① 液晶パネル

映像や操作メニューを表示します。

② AUTO ZOOMボタン*1, *2

ズームイン、一定時間停止、ズームアウトの動作を自動的に行います。ズーム倍率とその停止時間を設定することができます。(57ページの「ズームする」参照)

③ BOOK MARKボタン*2

記録中および再生中にブックマークを設定できます。設定後、画面にブックマークのアイコンを1～2秒間表示します。(66、69ページの「ブックマークを付ける」参照)

④ 逆光補正ボタン (☒)*1, *2

逆光補正を行います。ボタンを押すごとにONとOFFが切り替わります。(57ページの「逆光の映像を見やすくする」参照)

⑤ ズームボタン*1, *2

ズームアウト (Wボタン) とズームイン (Tボタン) の動作を行います。(57ページの「ズームする」参照)

⑥ RECランプ

記録中に点灯・点滅します。(113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照)

⑦ RECボタン*2

P2カードに映像・音声の記録を開始します。(65ページの「記録を開始する」参照)

⑧ STOPボタン (■)*2

記録を停止します。(65ページの「記録を停止する」参照)

⑨ AUDIO2 MUTEボタン/ランプ

Audio2の記録／解除を切り替えます。このボタンを押すとランプが点灯／消灯します。ランプ点灯中はAudio2の記録は行われません。(57ページの「Audio2の入力音声を記録しない」参照)

⑩ IR MODEボタン*1

IRモードを切り替えます。
AUTO: 明るさに応じてIRモードを自動的に切り替えます。
ON : IRモードをONします。
OFF: IRモードをOFFします。

⑪ CAMERA SELECTボタン

押すたびに、[CAMERA1] 端子と [CAMERA2] 端子の入力が切り替わります。(57ページの「カメラを選択する」参照)

⑫ 音量調節ボタン (🔊)

本機のスピーカーの音量を調節します。

⑬ 明るさ調節ボタン (☀)

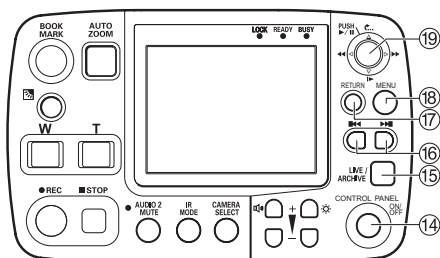
液晶パネルの明るさを調節します。

*1 [CAMERA2] 端子に接続された市販カメラを制御することはできません。

*2 [CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンがONのとき照明が点灯します。

コントロールパネルの各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



⑭ CONTROL PANEL ON/OFFボタン

液晶パネル、ランプの表示、ボタンの操作のオン・オフが、メモリーカードレコーダーの電源がオンのとき可能です。

メモリーカードレコーダーや本機の電源のON/OFFはできません。

(57ページの「液晶パネルの表示を消す」参照)

⑮ LIVE/ARCHIVEボタン

ライブ画面と再生画面を切り替えます。(57ページの「ライブ映像を見る」と67ページの「再生する」参照) 表示画面が“Information”画面、“Archive”画面、“Restore”画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面のときには、このボタンを押すと、ライブ画面に切り替わります。(96～105ページの「メニュー画面一覧」参照)

⑯ 前スキップボタン (◀◀)

前スキップ位置へ移動して再生します。(68ページの「前スキップ位置へ移動して再生する」参照)

次スキップボタン (▶▶)

次スキップ位置へ移動して再生します。(68ページの「次スキップ位置へ移動して再生する」参照)

⑰ RETURNボタン

ひとつ前のメニューや画面に戻ります。(53ページの「前の画面に戻すには」参照)

⑱ MENUボタン

液晶パネルにメニュー画面を表示します。

⑲ カーソルボタン

(**PUSH**、**△**、**▽**、**◀**、**▶**)

メニュー操作と再生操作で動作が変わります。

- ・メニュー操作時

[**PUSH**]：ボタンの中央部を押して設定値を決定します。

[**△**、**▽**、**◀**、**▶**]：カーソル移動と設定値を変更します。

- ・再生操作時

[**▶**]：ボタンの中央部を押すごとに再生と一時停止を繰り返します。

[**◀**]：再生位置が約7秒前の位置に戻ります。

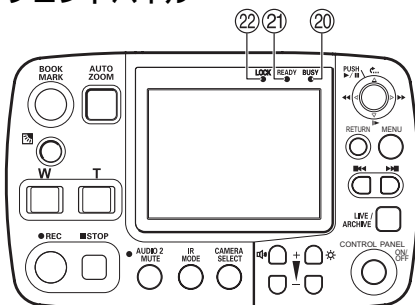
[**◀▶**]：スロー再生になり、押すごとに速度が1/10、1/2に切り替わります。

[**◀◀**]：巻き戻します。押すごとに巻き戻し速度が×4、×20、×200に切り替わります。

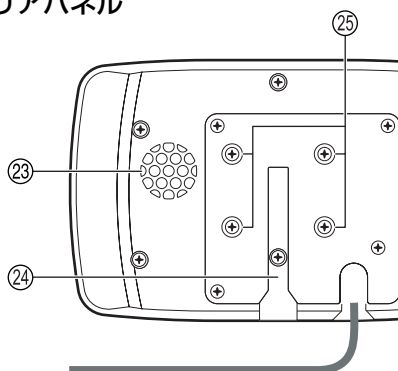
[**▶▶**]：早送りします。押すごとに早送り速度が×4、×20、×200に切り替わります。

コントロールパネルの各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



リアパネル



②① BUSYランプ

P2カードへのアクセス中（記録・再生など）に点灯・点滅します。（113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照）

②① READYランプ

P2カードへの記録が可能な状態であるか、点灯・点滅・消灯で示します。（113ページの「ランプ表示と本機の状態」参照）

②② LOCKランプ

点灯状態：

[REC] ボタン、[MENU] ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[RETURN] ボタンを除くボタンの操作がロックされた状態であることを示します。

点滅状態：

ライセンスプレート認識中であることを示します。

詳しくは、35ページの「ライセンスプレート認識（LPR）モードについて」を参照してください。

②③ スピーカー

再生画面のとき：

音声を出力します。ただし、[▶] スロー再生、[◀◀] 巻き戻し、[▶▶] 早送り時は出力されません。

ライブ画面のとき：

通常、音声は出力されません。音声を確認したいときは、61ページの「音声をチェックする」を参照してください。

②④ 固定用溝

市販のスタンド金具に取り付けることができます

②⑤ 固定用ねじ穴

取り付けられているねじを使用して市販の取付金具を取り付けることができます。

コントロールパネル
(別売)での操作

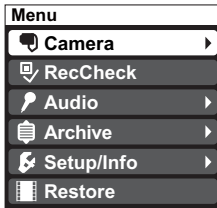
メニューの基本操作

メニュー画面一覧については96～105ページの「メニュー画面一覧」を参照してください。（管理者のみが操作できるメニューも説明しています。）

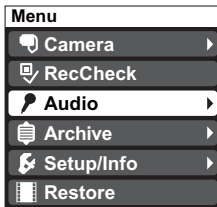
操作例：Audio1 Testの場合

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。
項目の右端に三角マークが表示されている場合は、下位メニューがあることを示しています。

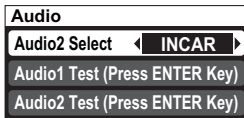


2. カーソルボタンの [Δ,▽] を押して項目を選択する

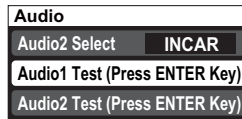


3. カーソルボタンの中央部 [PUSH] または [▷] を押して決定する

選択した項目の詳細が表示されます。



4. [Δ,▽] ボタンで [Audio1 Test] を選択する



5. [PUSH] ボタンを押して決定する

Audio1のテストができます。

■ カーソルボタンの [Δ,▽,◀,▶] を押して設定値の変更を行う

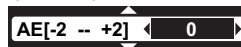
- 設定値の上下に小さな三角マークが表示されている場合、[Δ] または [▽] で設定値の変更が行えます。

(表示例)

Trigger			
GPIO	Action	Detection	Printable
Trigger1	NONE	H	OFF
Trigger2	NONE	H	OFF
Trigger3	NONE	H	OFF
Trigger4	NONE	H	OFF
Trigger5	NONE	H	OFF
Trigger6	NONE	H	OFF
Trigger7	NONE	H	OFF
Trigger8	NONE	H	OFF

- 設定値の左右に小さな三角マークが表示されている場合、[◀] または [▶] で設定値の変更が行えます。

(表示例)



メニューの基本操作 (つづき)

■ 前の画面に戻すには

[RETURN] ボタンを押すと前の画面に戻ります。ただし、“Archive”画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面のときにはメニュー画面が消えます。

■ メニュー画面のつづきについて

メニュー画面表示で項目の上下に小さな三角マークが表示されるときは、項目に続きがあることを示します。

使用者データを設定する／削除する

PCアプリケーション起動中はライブ画面に固定され、使用者データの設定および削除はできません。

本機を使用する前に、使用者のIDや氏名などのデータを作成・設定する必要があります。作成方法は45～48ページの「本機で使用するテキストファイル」を参照してください。

設定方法は「[AUTO]」「[MANUAL]」「[LIST]」の3つのモードがあります。あらかじめどのモードが選択されているのかを管理者に確認してください。(85ページの「設定方法 (Setting Method)」参照)

お知らせ：

使用者データの設定中にPCアプリケーションを起動すると、使用者データの設定は中断されます。その後ライブ画面に固定されて、使用者データの設定および削除はできなくなります。

AUTOモード

USBメモリーを本機に接続したときもしくは、電源ON後接続が確認されたときに1名または2名の使用者データ(45～48ページの「本機で使用するテキストファイル」参照)が自動的に読み込まれ、設定されます。

使用者データが入ったUSBメモリーを本機に接続する

[READY] ランプが約1秒間点滅：

正しく読み込まれました。

[BUSY] ランプが約1秒間点滅：

正しく読み込まれませんでした。

一度USBメモリーを外して、再度USBメモリーを接続してください。再度USBメモリーを接続しても [READY] ランプが点滅しない場合には、USBメモリーに使用者データファイルが正しく保存されているか確認してください。

上記処置後、改善されない場合は、USBメモリーを交換してください。

お知らせ：

- 記録中にUSBメモリーが接続されて使用者データが読み込まれた場合、読み込みの前後でファイルが分割されます。
- 使用者データが読み込まれた後、USBメモリーを外すことができます。
- いったん設定された使用者データは、電源を切ったり、モードを変更しても削除されません。

MANUALモード

メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面から、使用者データを読み込み、設定します。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. 使用者データが入ったUSBメモリーを本機に接続する

5. [△,▽] ボタンで[Officer 1]を選択する

6. [◀,▶] ボタンで[Load]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者1が設定され、氏名とIDの使用者データが表示されます。

7. 使用者2を設定する場合は使用者2のデータが入ったUSBメモリーに交換する

8. [△,▽] ボタンで[Officer 2]を選択する

使用者データを設定する／削除する (つづき)

9. [◀,▶] ボタンで[Load]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

使用者2が設定され、氏名とIDの使用者データが表示されます。

お知らせ：

氏名とIDの文字数が長い場合には、一部省略されて表示されます。

8. [◀,▶] ボタンで[Select]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

本機に登録されている使用者リストが表示されます。

お知らせ：

氏名とIDの文字数が長い場合には、一部省略されて表示されます。

LISTモード

メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面から、本機にすでに登録されている使用者データを読み出し、設定します。使用者データの登録方法については、81ページの「使用者データの読み込み (Load Officer)」を参照してください。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Officer 1]を選択する

5. [◀,▶] ボタンで[Select]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

本機に登録されている使用者リストが表示されます。

6. [△,▽] ボタンを押して使用者を選択し ([◀,▶] ボタンを押すと前後のページに切り替わる)、 [PUSH] ボタンで決定する

使用者1が設定された後、使用者設定トップ画面が表示されます。

7. [△,▽] ボタンで[Officer 2]を選択する

9. [△,▽] ボタンを押して使用者を選択し ([◀,▶] ボタンを押すと前後のページに切り替わる)、 [PUSH] ボタンで決定する

使用者2が設定された後、使用者設定トップ画面が表示されます。

設定したデータを削除する

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Officer 1]または[Officer 2]を選択する

5. [◀,▶] ボタンで[Delete]を選択し、 [PUSH] ボタンで決定する

手順4で選択した使用者データが削除されます。

お知らせ：

「AUTOモード」の場合は、使用者データを削除できません。

ボタンをロックする／ロックを解除する

コントロールパネルのボタンが、誤って押されても受け付けないようにできます。

☰ ロックする

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
使用者設定トップ画面が表示されます。
4. [△,▽] ボタンで[Operation Key Lock]を選択する
5. [◀,▶] ボタンで“ON”を選択する
[LOCK] ランプが点灯し、[REC] ボタン、[MENU] ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[RETURN] ボタン、本機とカラーカメラの [REC] ボタンを除くボタンの操作がロックされます。

お知らせ：

- ボタンのロックは、ライブ画面に移動して初めて有効になります。
- 管理者設定にも独立したロック設定があり（85ページの「操作ボタンのロック（Operation Key Lock）」参照）、管理者設定でロックされた場合は、使用者設定でロックを解除できません。
- カラーカメラのズームボタンと照明ボタンはロックできません。
- トリガー信号（GPIO1～8）による各種コントロール（39ページ参照）はロックされません。

☰ ロックを解除する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
使用者設定トップ画面が表示されます。
4. [△,▽] ボタンで[Operation Key Lock]を選択する
5. [◀,▶] ボタンで“OFF”を選択する
[LOCK] ランプが消灯し、ボタンのロックが解除されます

ライブ映像を見る

カメラからの出力映像やマイクからの音声の操作を行うことができます。

ライブ映像を表示したいときは、[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押してください。

[CAMERA2] 端子に接続された市販カメラを制御することはできません。

◎カメラを選択する

[CAMERA SELECT] ボタンを押す

押すたびに、[CAMERA1] 端子と [CAMERA2] 端子の入力が切り替わります。

お知らせ：

[CAMERA2] 端子入力を選択している場合、コントロールパネルのメニュー画面でカラーカメラの操作を行うことはできません。

◎ズームする

全体の映像を見たい場合は、[W] ボタンを押してズームアウトします。映像の細かい個所を拡大して見たい場合は、[T] ボタンを押してズームインします。

1. [W] ボタンまたは [T] ボタンを押す

押している間、ズームアウトまたはズームインします。

2. 適当な大きさの映像が表示されたらボタンを放す

[AUTO ZOOM] を押すと目標の倍率までズームインし、しばらく停止して広角端までズームアウトします。目標倍率以上にズームインしていた場合は、最初に目標倍率までズームアウトします。

◎逆光の映像を見やすくする

周りが明るくて、見たい個所が暗くなっている場合に、見やすくすることができます。

[☒] ボタンを押す

ボタンを押すたびに“ON”と“OFF”が切り替わります。

通常は“OFF”の状態にしてください。

◎暗い映像を見やすくする

暗い映像は赤外モードを使うことで、表示映像をより見やすくすることができます。

[IR MODE] ボタンを押す

IR **ON** が

表示されます。

ボタンを押すたびに“AUTO”“ON”“OFF”が切り替わります。通常は“AUTO”に設定してください。

お知らせ：

「映像の明るさを調整する」と併用すれば、より明るくすることができます。

◎Audio2の入力音声を記録しない

[AUDIO2 MUTE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに記録する／記録しないが切り替わります。

お知らせ：

Audio1の音声記録の切り替えは、できません。

◎液晶パネルの表示を消す

[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンを押す

液晶パネルとランプの表示が消え、各種ボタンの操作ができなくなります。もう一度このボタンを押すと、液晶パネルとランプが表示し、各種ボタンの操作ができるようになります。

コントロールパネル
(別売)での操作

ライブ映像を見る (つづき)

映像のフォーカスを調整する

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、 ボタンで決定する

が表示されます。

3. ボタンで決定する

オートフォーカス機能により、自動的に焦点を合わせます。

4. オートフォーカスで目標に焦点が合わない場合は、[△,▽] ボタンで[Manual Focus]を選択する

が表示されます。

5. より遠くの目標に焦点を合わせるには [▷] ボタンを押し続け、焦点が合った時にボタンを放す

6. より近くの目標に焦点を合わせるには [◁] ボタンを押し続け、焦点が合った時にボタンを放す

映像の明るさを調整する

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、 ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[AE[-2 -- +2]]を選択する

が表示されます。

4. 明るくしたい場合は [▷] ボタンを押す 暗くしたい場合は [◁] ボタンを押す

通常は“0”（ゼロ）の状態にしてください。

お知らせ：

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 2]端子入力を選択している時は、[Camera]は選択できず明るさ調整はできません。

ライブ映像を見る (つづき)

■ LPRモードの設定

ライセンスプレートの認識を行う場合に設定が必要です。管理者設定の「Init LPR Mode」が“ENABLE”時のみ有効なメニューです。

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[LPR Mode]を選択する

が表示されます。

4. [◀,▶] ボタンで認識モードを選択する

LPR :

ライセンスプレート認識モードに設定され、[LOCK]ランプが点滅します。[LPR Shutter Speed]、[LPR Zoom]が選択可能となります。

PATROL :

通常モードに設定されます。[Patrol Shutter Speed]、[Patrol Zoom]が選択可能となります。

お知らせ :

- “LPR” 設定中に、管理者設定の「Init LPR Mode」を“DISABLE”に変更すると、“PATROL”に切り替わり[LPR Mode]が選択できなくなります。
- “LPR” に設定すると、OSDはOFFとなります。

■ シャッタースピードを設定する (LPRモード時)

動きの速い被写体を鮮明に表示したいときに、設定してください。

管理者設定の「Init LPR Mode」が“ENABLE”で[LPR Mode]が“LPR”時のみ有効なメニューです。

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[LPR Shutter Speed]を選択する

が表示されます。

4. [◀,▶] ボタンでシャッタースピードを選択する

AUTO :

明るさに応じてシャッタースピードが自動で切り替わります。

1/500, 1/1000 :

被写体にあわせて設定してください。

お知らせ :

ライセンスプレート認識中に、記録トリガーによって記録を開始する場合は、自動的にシャッタースピードを“AUTO”に設定します。記録停止条件を満たすと、自動的にシャッタースピードは手順4で設定した値に戻ります。

ライブ映像を見る (つづき)

カメラズームの設定 (LPRモード時)

カメラズームの倍率を1.0 ~ 22.0倍の範囲で設定できます。

管理者設定の「Init LPR Mode」が「ENABLE」で[LPR Mode]が「LPR」時のみ有効なメニューです。

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[LPR Zoom]を選択する

が表示されます。

[▷]ボタンで倍率が上がり、[◁]ボタンで倍率が下がります。

お知らせ：

ライセンスプレート認識中に、記録トリガーによって記録を開始する場合は、カメラズームの設定は[Patrol Zoom]に自動的に切り替わります。記録停止条件を満たすと、カメラズームの設定は[LPR Zoom]に自動的に切り替わります。

シャッター速度を設定する (PATROLモード時)

動きの速い被写体を鮮明に表示したいときに、設定してください。管理者設定の「Init LPR Mode」が「ENABLE」で[LPR Mode]が「PATROL」時のみ有効なメニューです。

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Patrol Shutter Speed]を選択する

が表示されます。

4. [◁,▷] ボタンでシャッタースピードを選択する

AUTO：

明るさに応じてシャッタースピードが自動で切り替わります。

1/100, 1/500, 1/1000：

被写体にあわせて設定してください。

カメラズームの設定 (PATROLモード時)

カメラズームの倍率を1.0 ~ 22.0倍の範囲で設定できます。管理者設定の「Init LPR Mode」が「ENABLE」で[LPR Mode]が「PATROL」時のみ有効なメニューです。

[CAMERA SELECT]ボタンを押して[CAMERA 1]端子入力を選択している時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Patrol Zoom]を選択する

が表示されます。

[▷]ボタンで倍率が上がり、[◁]ボタンで倍率が下がります。

ライブ映像を見る (つづき)

■ 記録中の [REC] ランプを消す

記録中のときはカラーカメラの[REC]ランプが点灯します。しかし、このランプを常時消灯することもできます。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Camera LED]を選択する
4. [◀,▶] ボタンで“OFF”を選択する
常時消灯となります。

■ Audio2の入力を選択する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Audio2 Select]を選択する
4. [◀,▶] ボタンで“INCAR”、“WMIC”または“LINK CAM”を選択する
INCAR :
[IN CAR MIC] 端子の入力音声。
WMIC (Wireless Microphone) :
[AUDIO IN 2] 端子の入力音声。
LINK CAM :
カメラ切り替えと連動して入力音声*が切り替わる。

■ 音声をチェックする

ライブ映像を見ているときは、通常音声の出力がOFFになっています。以下の操作で音声为正しく入力されているかチェックすることができます。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Audio1 Test]または[Audio2 Test]を選択し、[PUSH] ボタンを押す
[PUSH] ボタンを押している間、音声が出力されます。

お知らせ：

音量調整の状態によっては、大きい音が出力され続けることがあります。そのときは音量を下げてください。

リモートコントロール
(別売)での操作

* [CAMERA1] 端子入力に切り替わった場合：[AUDIO IN 2] 端子の入力音声に切り替わります。
[CAMERA2] 端子入力に切り替わった場合：[IN CAR MIC] 端子の入力音声に切り替わります。

ライブ映像を見る (つづき)

本機の状態を表示する

本機の動作状態やトリガー信号 (GPIO1 ~ 8) の状態などを表示することができます。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[BOOK MARK] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[On Screen Type]を選択する

4. [◀,▶] ボタンで“AUTO”,“SIMPLE”,“DETAILS”,“OFF”を選択する

AUTO : 以下の項目が変更されたときに、On Screen簡易画面が約3 ~ 5秒間表示されます。


- ・⑤モード表示
- ・⑥ステータス表示

SIMPLE : On Screen簡易画面が表示されます。

DETAILS : On Screen詳細画面が表示されます。

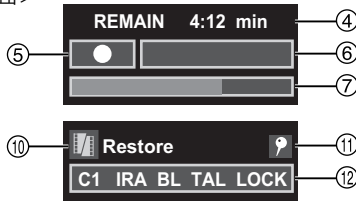
OFF : On Screenが消えます。

お知らせ :

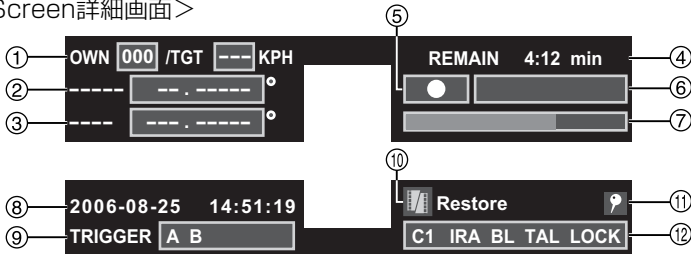
- ・電源ON時のオーバーレイOSD (Init On Screen Type) は管理者が設定できます。
- ・画面各部の説明は、次ページを参照してください。
- ・“AUTO”を選択しているときに [BOOK MARK] ボタンが押された場合、On Screen簡易画面は表示されず、ブックマークアイコン  が1 ~ 2秒間表示されます。

ライブ映像を見る (つづき)

<On Screen簡易画面>



<On Screen詳細画面>



① 速度 (MPH / KPH)

OWN: 自車速度
 TGT: 目標車速度
 目標車速度の表示方法は接続されるレーダーガンによって異なります。例えばProLaser3の場合、1回の測定で約10秒間速度を表示します。その約10秒間以内に次の測定を行うと最新の速度に更新されます。

お知らせ:

レーダーガンの測定結果が正しくない場合は“ERR”と表示されます。

- ② GPS位置情報 (緯度)
- ③ GPS位置情報 (経度)
- ④ P2カード記録残時間 (HHH:MM)
 - ・記録残時間は約30秒ごとに更新されます。
 - ・循環記録が“ON”に設定されている場合は循環周期(総記録時間)が表示されます。

お知らせ:

プリ記録とポスト記録の時間は考慮されていません。

- ⑤ モード表示 (■: 停止 ●: 記録)
- ⑥ ステータス表示
 - PON: 電源ON記録 “ON”
 - LOP: 循環記録 “ON”
 - INT: 間けつ記録 “ON”

<ステータス表示>(125ページの「ステータス表示」参照)

CARD FULL, CARD PROTECT, VUP CARD, UNFORMATTED, REFORMAT, ILLEGAL CARD, NO CARD, CARD ERROR, RUNDOWN

- ⑦ P2カード残容量
- ⑧ 日付/時刻
- ⑨ トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 入力状態 (GPIO 1 ~ 8が左から順に表示) 検出 (Detection) で設定した状態のとき、印字文字 (Printable) で設定した文字が表示されます。
- ⑩ 修復必要なファイルが存在する場合のみ表示
- ⑪ マーク位置
 - 📍: ブックマーク位置
- ⑫ 本機の設定状態
 - C1: [CAMERA1]端子入力を選択
 - C2: [CAMERA2]端子入力を選択
 - IR: カメラIRモード “ON”
 - IRA: カメラIRモード “AUTO”
 - BL: カメラ逆光補正 “ON”
 - TAL: Camera LED “ON”
 - LOCK: 操作ボタンロック “ON”

コントロールパネル (別売)での操作

ライブ映像を見る (つづき)

PCアプリケーションとの接続を解除する

本機にPCを接続してPCアプリケーションを起動すると、本機はライブ画面に固定され、以下の操作ができなくなります。

- ・ユーザーデータを設定する／解除する
- ・試し撮りをする
- ・再生する
- ・ファイルを修復する
- ・管理者設定

上記操作を本機で行えるようにするには、以下の手順で本機とPCアプリケーションとの接続を解除する必要があります。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[▶/▶] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Disconnect PC]を選択し、[▶/▶] ボタンで決定する

PCアプリケーションとの接続が解除されます。

お知らせ：

再度PCアプリケーションを起動するには、PCアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

記録する

◎記録の開始と停止

■記録を開始する

[REC] ボタンを押す

映像と音声の記録が開始されます。このとき、ライブ映像が表示されていない場合、自動的にライブ画面に切り替わります。記録中は本機、コントロールパネル、カラーカメラの [REC] ランプが点灯されます。

お知らせ：

カメラ入力設定に関係なく（例えば [CAMERA SELECT] ボタンで [CAMERA2] 端子入力を選択している場合）カラーカメラの [REC] ランプが点灯されます。

他の方法でも記録を開始することができます。詳しくは、23ページの「記録する」を参照してください。

■記録を停止する

[STOP] ボタン (■) を押す

[STOP] ボタンを押した直後に [REC] ランプが消灯し、ポスト記録*時間経過後に映像と音声の記録が停止されます。その後 [BUSY] ランプが消灯します。

他にも記録が停止される条件があります。詳しくは、24、25ページの「停止する」を参照してください。


*ポスト記録とは、記録の停止操作した時点から設定時間分だけ記録を継続する機能です。設定時間は、管理者による設定が必要です。

記録する (つづき)


■ブックマークを付ける

記録中のファイルにブックマーク (しおり) を付けて、再生操作時の目印にすることができます。(68ページの「前スキップ位置へ移動して再生する」と「次スキップ位置へ移動して再生する」参照)

[BOOK MARK] ボタンを押す

ブックマークアイコンが1～2秒間表示されます。

お知らせ：

- ブックマークアイコンはOn Screen上に表示されます。[On Screen Type] が“OFF”の場合 (62ページの「本機の状態を表示する」参照)、表示されません。
- ブックマークは最小2秒間隔で付けることができます。
- 記録を開始した直後の約5秒間は、ブックマークを付けることができません。
- 再生操作時に、ブックマークの位置に再生位置を移動することができます。
- ブックマークは再生中も付けることができます。(69ページの「ブックマークを付ける」参照)
- ブックマークの削除は再生中のみ可能です。(69ページの「ブックマークを削除する」参照)
- 記録中にブックマークを付けても、イベント情報を付けることはできません。
- 再生中のみイベント情報を付けることができます。(69ページの「ブックマークを付ける」参照)

■ 試し撮りをする

PCアプリケーション起動中は、ライブ画面に固定され試し撮りはできません。

記録が正しく行えるかを確認することができます。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[RecCheck]を選択し、 ボタンで決定する

約5秒間記録が行われ、その記録した個所が再生されます。

お知らせ：

- 記録中および再生中には、試し撮りすることはできません。
- 試し撮り部分の記録は再生後、自動的に削除されます。

再生する

PCアプリケーション起動中は、ライブ画面に固定され再生はできません。

◎再生する

[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押す

再生画面に切り替わり、前回再生していた位置から再生します。ただし、[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押す前に記録の開始・停止が行われている場合は、記録したファイルの先頭から再生されます。

お知らせ：

- ・以下の場合、記録したファイルの先頭から再生されないことがあります。
 - ・ [Setup/Admin]-[Date/Time]-[Date/Time]を変更したとき
 - ・ [Setup/Admin]-[Date/Time]-[TimeZone]を変更したとき
 - ・ [Setup/Admin]-[Rec/Play]-[Rule of Filename]を変更したとき
 - ・ GPSで時刻が校正されたとき
- ・ 前回再生終了時の位置がファイル最後尾だった場合、一時停止状態になります。
- ・ 再生中に [CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンを操作してOFFにした場合、ファイル再生が停止します。
- ・ 再生中にPCアプリケーションを起動した場合、ファイル再生が停止します。

■記録ファイル名について

On Screenや再生ファイル一覧画面で表示される記録ファイル名は記録開始時点のローカル時間となっています。年-月-日 時:分:秒で表示されます。

お知らせ：

物理的なファイル名（例えばPCで表示されるファイル名）は管理者設定でグローバル時間とローカル時間を切り替えることができます。

■間けつ記録ファイルについて

間けつ記録ファイルは、1秒間に1フレームの映像のみ記録されているファイルで、音声は記録されていません。

お知らせ：

間けつ記録ファイルの再生速度は、少し遅くなります。

■循環記録ファイルについて

循環記録されたファイルは、自動的にファイルが分割され、分割時点の記録開始時刻がファイル名となっています。

◎再生方法を切り替える

■再生とポーズ

[] ボタンを押す

再生します。もう一度押すと一時停止します。スロー、巻き戻し、早送り中にこのボタンを押すと一時停止します。

■スロー

[] ボタンを押す

再生速度が1/10または1/2で再生します。押すたびに1/10→1/2→1/10の速度に切り替わります。

お知らせ：

間けつ記録ファイルは、スロー再生ができません。

■プレイバック

[] ボタンを押す

現在位置の7秒前から再生します。スロー再生時にこのボタンを押したときは、現在位置の7秒前からスロー再生します。

再生する (つづき)

■巻き戻し

[◀◀] ボタンを押す

4倍速、20倍速または200倍速で巻き戻します。

押すたびに4倍速→20倍速→200倍速→4倍速と切り替わります。

■早送り

[▶▶] ボタンを押す

4倍速、20倍速または200倍速で早送りします。

押すたびに4倍速→20倍速→200倍速→4倍速と切り替わります。

■前スキップ位置へ移動して再生する

[◀◀] ボタンを押す

前のスキップ位置から再生します。

現在位置がスキップ位置の5秒以内のときは、それよりも1つ前のスキップ位置から再生します。

ただし、現在位置がファイル内の最初のスキップ位置から5秒以内のときは、前のファイルのスキップ位置から再生します。このとき、前のファイルがないときはスキップしないで、現在位置から再生します。




■次スキップ位置へ移動して再生する

[▶▶] ボタンを押す

次のスキップ位置から再生します。

現在位置がファイル内の最後のスキップ位置より後のときは、次のファイルのスキップ位置から再生します。このとき、次のファイルがないときはスキップしないで、現在位置から再生します。

お知らせ：

- スキップ位置は、ブックマークやファイルの先頭と記録を開始したトリガー位置（ファイルに1か所存在）です。ただし、自動的に分割されたファイルの場合、トリガー位置は存在しません。
- スキップしたときの位置によって下記のようなアイコンが約2秒間 On Screen上に表示されます。On Screenが表示されていないときは、液晶パネルに表示されます。
 - ：ファイル先頭位置
 - ：トリガー位置
 - ：ブックマーク位置
- スキップ位置は管理者設定で、[Trigger/Marker]および[Head of File]をあらかじめ設定しておいてください。（80ページの「スキップ位置 (Skip Target)」参照）
- スキップできるブックマークの数は最大999までです。それ以上のブックマーク位置へはスキップできません。
- [◀◀] ボタンや [▶▶] ボタンを押すといったん再生を停止して、スキップ位置を探し、その位置から再生を始めます。

再生する (つづき)


◎ブックマークを設定する

■ブックマークを付ける

再生中やポーズ中またはスロー再生中のファイルにブックマーク（しおり）を付けることができます。あらかじめイベント情報をUSBメモリーから読み込んで登録しておく、ブックマークと一緒にイベント情報も付けることができます。（81ページの「イベント情報の読み込み（Load Event Type）」参照）

イベント情報を登録していない場合

1. [BOOK MARK] ボタンを押す


- ・ブックマークアイコンが表示されます。
- ・再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

イベント情報を登録している場合


1. [BOOK MARK] ボタンを押す

*が表示されます。


2. [◀,▶] ボタンでイベント情報を選択して、[BOOK MARK] ボタン、[RETURN] ボタンもしくは、[MENU] ボタンで決定する

- ・元の再生状態に戻り、ブックマークアイコンが表示されイベント情報も付けられます。
- ・再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

お知らせ：

- ・ブックマークアイコンはOn Screen上に表示されます。[On Screen Type] が“OFF” の場


合（71ページの「本機の状態を表示する」参照）、表示されません。

- ・ブックマークは最小2秒間隔で付けることができます。
- ・ブックマーク設定個所を再生したときは、約2秒間ブックマークのアイコンが画面に表示されます。

■ブックマークを削除する

イベント情報を登録していない場合

1. 再生中やポーズ中またはスロー再生中ブックマークのアイコンが表示されている間に [BOOK MARK] ボタンを押す


- ・ブックマークアイコンが削除されます。
- ・再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

イベント情報を登録している場合

1. [BOOK MARK] ボタンを押す

*が表示されます。

2. [◀,▶] ボタンで“DEL”を選択して、[BOOK MARK] ボタン、[RETURN] ボタンもしくは、[MENU] ボタンで決定する

- ・ブックマークアイコンとイベント情報が削除され、元の再生状態に戻ります。
- ・再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

お知らせ：

早送り中または巻き戻し中にはブックマークを付けたり削除することはできません。

- *・最後に使用したイベント情報が表示されます。
- ・最後に使用したイベント情報は本機の電源をOFFにしても保持されます。ただし、イベント情報を再登録した場合は“----”になります。
- ・イベント情報の文字列が長い場合には、一部省略されて表示されます。
- ・未登録のイベント情報が付いている記録ファイルなど、ブックマークの設定ができないイベント情報が灰色の文字で表示されます。

再生する (つづき)

☰ ファイルを選択して再生する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Archive]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
再生ファイル一覧画面が表示されます。

お知らせ：

- 再生ファイルがない場合は、[Archive] を選択できません。
- ファイルの表示順序は記録時のファイル名 (78ページの「ファイル名 (Rule of Filename)」参照) により次のようになります。

“WT” (グローバル時間) のファイルを記録開始順 (ただし、ローカル時間に変換して表示)



“LT” (ローカル時間) のファイルを記録開始順

- P2カードをまたいで記録したときに分割されて出来た2個目のファイルや、同一開始時刻の2個目以降のファイルには開始時刻の後ろに“*”がついています。
3. [△,▽] ボタンで再生したいファイルを選択する
(前後のページに切り替える場合には以下のように行ってください。)
 - 1 ページ単位でページを切り替える場合は、[<,▷] ボタンを1回押ししてください。
 - 早くページを切り替える場合は、[<,▷] ボタンを押し続けてください。3 ページまでは1 ページ単位で切り替わり、4 ページ目以降は10 ページ単位で切り替わります。
 4. [PUSH] ボタンで再生を開始する
ファイルの先頭から再生されます。
ファイルの最後尾まで再生すると、一時停止の状態になります。

☰ Audio 1,2再生音のON/OFFを設定する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択する
3. [△,▽] ボタンで[Audio 1]または[Audio 2]を選択する
4. [◀,▶] ボタンで“ON” または“OFF” を選択する

お知らせ：

電源ON時のオーディオ出力 (Init Audio Out (Play)) は管理者が設定できます。

再生する (つづき)

■ 本機の状態を表示する

再生するファイルを記録していたときの本機の動作状態やトリガー信号 (GPIO 1 ~ 8) の状態などを表示することができます。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[On Screen Type]を選択する

4. [◀,▶] ボタンで“AUTO”“SIMPLE”“DETAILS”“OFF”を選択する

AUTO : 以下の項目が変更されたときに、On Screen簡易画面が約3 ~ 5秒間表示されます。



- ・④再生ファイル名
- ・⑤モード表示
- ・⑥再生速度、ステータス表示

SIMPLE : On Screen簡易画面が表示されます。

DETAILS : On Screen詳細画面が表示されます。

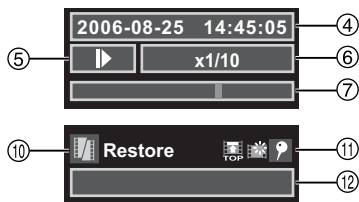
OFF : On Screenが消えます。

お知らせ :

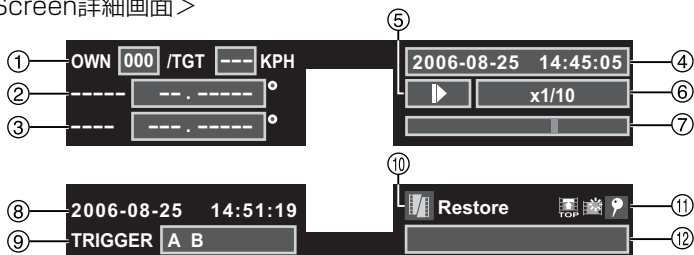
- ・電源ON時のオーバーレイOSD (Init On Screen Type) は管理者が設定できます。
- ・画面各部の説明は、次ページを参照してください。
- ・“AUTO”を選択しているときに [BOOK MARK] ボタンが押された場合やブックマーク位置に達した場合、On Screen簡易画面は表示されず、ブックマークアイコン  が1 ~ 2秒間表示されます。
- ・“AUTO”を選択しているときにトリガー位置に達した場合、On Screen簡易画面は表示されず、トリガーアイコン  が1 ~ 2秒間表示されます。

再生する (つづき)

<On Screen簡易画面>



<On Screen詳細画面>




- ① 速度 (MPH / KPH)
OWN : 自車速度
TGT : 目標車速度
- ② GPS位置情報 (緯度)
- ③ GPS位置情報 (経度)
- ④ 再生ファイル名
(記録を開始したローカル時間)
再生可能なファイルがない場合、
"NO FILE" が表示されます。
- ⑤ モード表示
▶ : 再生
|| : ポーズ
▶▶ : 早送り
◀◀ : 巻き戻し
|▶ : スロー
- ⑥ 再生速度、ステータス表示
<速度>
×1/10, ×1/2, ×4, ×20, ×200
<ステータス表示>(125ページの「ス
テータス表示」参照)
READ ERROR, META ERROR,
PLAY ERROR
- ⑦ 再生位置 (ファイル単位)
- ⑧ 日付/時刻
- ⑨ トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 入力状態
(GPIO 1 ~ 8が左から順に表示)
検出 (Detection) で設定した状態
のとき、印字文字 (Printable) で
設定した文字が表示されます。
- ⑩ 修復必要なファイルが存在する場合
のみ表示
- ⑪ マーク位置
■ : ファイル先頭位置
■ : トリガー位置
■ : ブックマーク位置
- ⑫ 音声出力設定 (▶ : 再生時のみ表示)
A1 : Audio1が出力される
A2 : Audio2が出力される

ファイルを修復する

PCアプリケーション起動中は、ライブ画面に固定されファイルの修復はできません。

記録中に本機の電源が突然OFFになったり、P2カードが取り出されたりすると再生できないファイルになる場合があります。

P2カードに修復が必要なファイルがある場合には、On Screenに“Restore”が表示されます。([On Screen Type]の設定が“OFF”の場合は、表示されません)通常、メニュー画面の[Restore]項目は無効状態になっていますが、再生できないファイルを検出すると[Restore]項目が有効状態になります。

このときには、以下の操作でファイルの修復をしてください。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Restore]を選択し、 ボタンで決定する

修復実行確認画面が表示されます。

3. [◀,▶] ボタンで“Restore”を選択し、 ボタンで決定する

ファイル修復処理画面が表示され、ファイルの修復が開始されます。修復が終了すると自動的に手順1、操作前の画面に戻ります。

修復中に[Cancel]を選択すると修復を中断することができます。

お知らせ：

- 修復を中断しても、再度修復することができます。
- 修復が必要なファイルがあっても、記録を行うことができます。
- 修復中に記録トリガーが検出されたり、[REC] ボタンが押されると修復を中断して記録を開始します。
- 修復が必要なファイルは、再生ファイル一覧画面には表示されません。あらかじめファイルの修復を行ってください。

• ファイルに重度の障害が発生している場合は、修復できないことがありますので、P2カードへのアクセス中（記録中など）に突然電源を切ったり、[BUSY] ランプが点灯または点滅している間にP2カードを取り出ししたりしないでください。

• ファイル修復中にPCアプリケーションを起動すると、ファイル修復が中断されます。その後ライブ画面に固定され、ファイル修復はできません。

• PCアプリケーションでファイル修復操作を開始すると、以下のよう画面が変わります。

①ライブ画面からファイル修復待機画面（“Under Restore Mode from PC ...”が表示されます。）に変わります。

このとき、PCアプリケーションでファイル修復操作をキャンセルすると、ライブ画面に戻ります。

②ファイル修復を実行すると、ファイル修復処理画面が表示されます。

このとき、コントロールパネルでキャンセル操作を実行すると、ライブ画面に戻ります。

またコントロールパネルで、本機とPCアプリケーションとの接続を解除したときも、ファイル修復を中断しライブ画面に戻ります。

③修復が終了すると、ライブ画面に戻ります。

製品情報を表示する

■ P2カード種別とソフトウェアのバージョン情報を表示する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [◀,▶] ボタンで[Information]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
 - 挿入しているP2カードの品番とカード情報が表示されます。P2カードによって、表示されるカード情報が以下ようになります。
P2カードの場合：
 - UNFORMATTED
 - CARD PROTECT
 - REFORMAT
 - CARD ERROR
 - CARD FULL
 - RUNDOWN
 - ** Days
(** : 記録日数 (88ページ)の「フォーマット(Format)」参照)
 - P2カード以外の場合：
 - VUP CARD
 - NO CARD
 - ILLEGAL CARD
 - ソフトウェアのバージョンを含んだ製品情報画面が表示されます。

■ 過去のエラー情報を表示する

エラーダイアログに表示された最近のエラーを最大5つまで表示することができます。

1. 「P2カード種別とソフトウェアのバージョン情報を表示する」の手順1～3を実行する
2. [Last Errors]が選択されているので、[PUSH] ボタンで決定する

過去のエラー情報（以下の内容）が表示されます。

- 月日 (MM / DD)
- 時刻 (HH : MM)
- エラー番号
- エラーの種別 (Fatal Error / Error)
- エラーメッセージ (先頭の40文字が表示)

お知らせ：

- 優先順位が低くて表示されなかったエラー情報も表示されます。
- 以下のエラー番号は、過去のエラー情報として表示されません。
E08601、E28201～E28203

本機を再起動する

本機の状態が不安定になった場合は、以下の手順で本機を再起動してください。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Reboot]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
再起動の確認画面が表示されます。

4. [◀,▶] ボタンで“Reboot”を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
再起動を開始し、40～50秒で完了します。

管理者設定

PCアプリケーション起動中は、ライブ画面に固定され管理者設定はできません。

本機の設定項目には、あらかじめ登録された管理者のみが設定できる項目があります。

お知らせ：

- 管理者設定中にPCアプリケーションを起動すると、管理者設定が中断されます。その後ライブ画面に固定され、管理者設定はできません。
- PCアプリケーションで管理者設定を実行すると、以下のように画面が変わります。
 - ①ライブ画面から、管理者設定待機画面（“Under admin set up from PC ...”が表示されます。）に変わります。
 - ②PCアプリケーションでの管理者設定が終了すると、ライブ画面が変わります。
- PCアプリケーションを使用する場合は、設定値が変更されたり、設定項目が制限されることがあります。

■管理者設定画面にログインする

1. PCを使ってUSBメモリーに管理者自身のユーザーデータをコピーする

管理者自身のユーザーデータのテキストファイルについては、45～48ページの「本機で使用するテキストファイル」を参照してください。

2. USBメモリーを本機に接続する

お願い：

- 本機の [USB] 端子の保護のために、USB延長ケーブル（ケーブルキットに含まれる）を接続してから、USBメモリーを接続してください。
- 接続については、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[^{PUSH}] ボタンで決定する

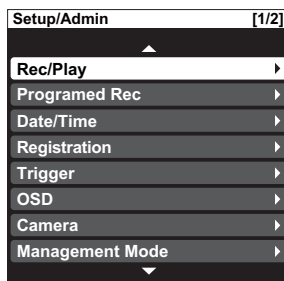
お知らせ：

USBメモリーによっては、正しく認識できないものがあります。

5. [△,▽] ボタンで[Admin]を選択し、[^{PUSH}] ボタンで決定する

USBメモリーから自動的にソート（昇順）された最初の1ファイルが管理者自身のユーザーデータとして読み込まれます。本機にすでに登録されている管理者自身のユーザーデータを検索し、以下の場合に管理者設定トップ画面が表示されます。

- ご購入直後など、管理者自身のユーザーデータが1件も登録されていないとき。
- 登録済みの管理者自身のユーザーデータの中に一致するものがあるとき。



(次ページへつづく)

リモコンの別
（別売）での操作

リモコンが別
売で管理者が行う操作

管理者設定 (つづき)

登録済みの管理者自身の使用者データがあるにもかかわらず、一致するものがないときは、以下の画面が表示されて自動的にメニュー画面に戻ります。

管理者より正しいデータを入手し、手順 1 から再度実行してください。

Authentication

Since you are not an administrator,
you cannot open this menu.

お知らせ：

各設定項目の工場出荷設定値は37～44ページの「セットアップ」を参照してください。

管理者設定 (つづき)

記録と再生 (Rec/Play)

■電源OFF時間 (PowerOff Time)

車のエンジンスイッチをLOCK (OFF) してから本機とコントロールパネルの電源がOFFされるまでの時間を設定します。

設定値 (分) :

0, 10, 20, 30, 60, 90, 120, 180, AUTO*1

■電源ON時のカメラ選択 (Init Camera Select)

電源ON時のカメラを選択します。

1 : [CAMERA1] 端子に接続のカラーカメラ

2 : [CAMERA2] 端子に接続の市販カメラ

LAST: 脚注参照*2

■電源ON時のオーディオ選択 (Init Audio2 In Select)

電源ON時のAudio2入力を選択します。

INCAR: [IN CAR MIC] 端子の入力音声

WMIC: [AUDIO IN 2] 端子の入力音声

LINK CAM

: カメラ切り替えと連動して入力音声*3が切り替わる

LAST: 脚注参照*2

■電源ON記録 (PowerOn Rec)

本機の電源ONで記録を開始するように設定します。

設定値: ON, OFF

■循環記録 (Loop Rec)

P2カード残容量が無くなっても、古いファイルから順に削除しながら記録するように設定します。

設定値: ON, OFF

■間けつ記録 (Intermittent Rec)

1秒間に1フレームの映像のみ記録*4するように設定します。

設定値: ON, OFF

■解像度/記録レート (Resolution/RecRate)

画面解像度と記録レートを設定します。

Q-512kbps :

320X240 512 kbps 30 fps

Q-1Mbps :

320X240 1 Mbps 30 fps

F-1Mbps :

720X480 1 Mbps 10 fps

F-2Mbps :

720X480 2 Mbps 30 fps

*1 PCアプリケーションが接続されていない場合 :

すぐに電源OFFします。ただし、USBメモリーへのエクスポートを実行中の場合は、エクスポート完了後に電源OFFします。

PCアプリケーションが接続されている場合 :

PCアプリケーションとの接続を解除するか、またはP2カードスロットカバーを開くと電源OFFします。

*2 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

*3 [CAMERA1] 端子入力に切り替わった場合: [AUDIO IN 2] 端子の入力音声に切り替わります。
[CAMERA2] 端子入力に切り替わった場合: [IN CAR MIC] 端子の入力音声に切り替わります。

*4 通常記録は、1秒間に30フレームまたは10フレームの映像と音声を記録します。

管理者設定 (つづき)

■記録継続時間

(Rec Continue Time)*1

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときの通常記録の継続時間を設定します。

設定値 (分) :

1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 90, CONTINUE

■映像プリ記録時間

(PreRec Time (Video))*2

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときに、どれだけの時間をさかのぼって映像記録を開始するか設定します。

設定値 (秒) :

0, 10, 20, 30, 60, 90

■音声プリ記録時間

(PreRec Time (Audio))*2

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときに、どれだけの時間をさかのぼって音声記録を開始するか設定します。

ただし、映像プリ記録時間より長く設定しても映像プリ記録時間の設定時間で音声記録も開始されます。

設定値 (秒) :

0, 3, 10, 20, 30, 60, 90

■映像ポスト記録時間

(PostRec Time (Video))*3

[STOP] ボタンが押されたときより後に、継続して映像記録する時間を設定します。

設定値 (秒) :

0, 10, 20, 30, 60, 90

■音声ポスト記録時間

(PostRec Time (Audio))*3

[STOP] ボタンが押されたときより後に、継続して音声記録する時間を設定します。

ただし、映像ポスト記録時間より長く設定しても映像ポスト記録時間の設定時間で継続して音声記録されます。

設定値 (秒) :

0, 3, 10, 20, 30, 60, 90

■ファイル名

(Rule of Filename)

記録時に作成されるファイル名の規則を設定します。

WT : グローバル時間

LT : ローカル時間

■電源ON時の音声記録

(Init Audio2 Rec)

電源ON時のAudio2の記録を設定します。

ON : 記録する

OFF : 記録しない

LAST : 脚注参照*4

■オーバーレイOSD

(Init On Screen Type)

電源ON時の表示のしかたを設定します。

設定値 : AUTO, SIMPLE, DETAILS, LAST*4, OFF

*1 間けつ記録、プログラム記録による記録は、記録継続時間によって記録が停止することはありません。

*2 間けつ記録、プログラム記録による記録には、プリ記録時間は含まれません。

*3 間けつ記録、プログラム記録による記録、記録継続時間によって記録が停止した場合は、ポスト記録時間は含まれません。

*4 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

管理者設定 (つづき)

■GPIO9への記録状態出力 (GPIO9 for Rec)

GPIO9への記録状態出力信号の許可／禁止を設定します。

許可されていれば、ハイ(出力電圧5V)が記録状態を示します。

設定値：ENABLE, DISABLE

■GPIO9へのエラー状態出力 (GPIO9 for Error)

GPIO9への記録エラー状態出力信号の許可／禁止を設定します。

許可されていれば、ハイ(出力電圧5V)とロー(出力電圧0V)が高速に変化し、記録エラー状態を示します。

設定値：ENABLE, DISABLE

■電源ON時のオーディオ出力 (Init Audio Out (Play))

電源ON時の再生オーディオ出力を設定します。

OFF：Audio1, Audio2両方とも出力しません。

1：Audio1のみ出力します。

2：Audio2のみ出力します。

BOTH：Audio1, Audio2両方とも出力します。

LAST：脚注参照*

■連続再生機能 (Play Mode)

2枚のP2カード上のすべての有効なファイルを、古い方から順番に並べた、1つの大きな仮想的なファイルを構成し、再生する機能です。

SINGLE：通常の1ファイル単位で再生します。

RELAY：複数のファイルを操作無しで、連続再生します。

1つの大きな仮想的なファイルの最後尾(最新記録ファイル)まで再生すると一時停止状態になります。再生操作は、通常の1ファイル単位で再生する操作と同様です。

お知らせ：

- ・1つの大きな仮想的なファイルをスロー再生しているときに、ファイルの中に間けつ記録ファイルが含まれている場合、間けつ記録ファイルの時点から通常速度での再生になります。その後、通常記録ファイルの時点になっても、自動的にスロー再生には戻りません。
- ・プレイバック再生を行った場合、現在位置の7秒前から再生します。
- ・1つの大きな仮想的なファイルは、複数のファイルから構成されており、ファイルが切り替わるとき映像や音声が一瞬とぎれることがあります。

別冊
マニュアル
で
管理者
が
行う
操作

* 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

管理者設定 (つづき)

スキップ位置 (Skip Target)

[前スキップ] ボタンや [次スキップ] ボタンを押したときに移動するスキップ位置を設定します。

■トリガー／マーカー (Trigger / Marker)

再生中、最初に出現する記録を開始したトリガー位置 (ファイルに1か所存在) あるいは、ブックマーク位置に移動します。ただし、自動的に分割されたファイルの場合、トリガー位置は存在しません。

設定値：YES, NO

■ファイルの先頭 (Head of File)

再生中、ファイルの先頭位置に移動します。

設定値：YES, NO

お知らせ：

- [Trigger/Marker] と [Head of File] 両方とも “YES” の場合は、最初に出現するトリガー位置やブックマーク位置あるいはファイル先頭位置に移動します。
- [Trigger/Marker] と [Head of File] の両方を “NO” に設定することはできません。

プログラム記録 (Programed Rec)

毎日もしくは1週間の曜日ごとに記録開始時刻と終了時刻を設定します。

■毎日 (Daily)*

設定した開始時刻から終了時刻までの時間、毎日記録します。

ON：開始時刻と終了時刻を設定できます。

—：設定できません。

お知らせ：

[Daily] が “ON” に設定されると [Mon] ~ [Sun] の設定欄が “—” に変更され、設定できません。

■月～日 (Mon ~ Sun)*

曜日ごとに、設定した開始時刻から終了時刻までの時間、記録します。

ON：開始時刻と終了時刻を設定できます。次の日の時刻設定も可能です。

—：設定できません。

お知らせ：

- 開始時刻は、前日の終了時刻かもしくは、それ以降の時刻しか設定できません。
- 終了時刻を開始時刻と等しい値もしくは、終了時刻を開始時刻以前の値に設定した場合、終了時刻は次の日の時刻になります。
- 設定した開始時刻から終了時刻までの時間以外でも、記録トリガーや[REC]ボタンが押されるなど記録開始条件を満たせば記録を開始します。
- 設定した開始時刻から終了時刻までの時間内に電源ONされた場合、プログラム記録が開始します。
- プログラム記録実行中に自動メンテナンスが実行されると、40～50秒間記録が中断する場合があります。

* <Duration>欄には、開始時刻から終了時刻までの期間が表示されます。

管理者設定 (つづき)

日付と時刻 (Date/Time)

■タイムゾーン (TimeZone)

世界標準時からの差を設定します。

Hawaii	: ハワイ標準
Yukon	: アラスカ標準
Yukon DST	: アラスカサマータイム
Pacific	: 太平洋標準
Pacific DST	: 太平洋サマータイム
Mountain	: 山地標準
Mountain DST	: 山地サマータイム
Central	: 中央標準
Central DST	: 中央サマータイム
Eastern	: 東部標準
Eastern DST	: 東部サマータイム
Atlantic	: 大西洋標準
Atlantic DST	: 大西洋サマータイム
Asia Tokyo	: 日本

■日付の表示形式 (Style)

日付の表示形式を設定します。

ISO : YYYY-MM-DD

HH : MM : SS

USA : MM/DD/YYYY

HH : MM : SS

■日付時刻合わせ (Date/Time)

[Date/Time]で日付および時刻を変更すると、“Set” ボタンが表示されるので、“Set” ボタンを選択して[Enter]ボタンで決定します。決定すると“Set” ボタンが消えます。[MENU]ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF]ボタン、[RETURN]ボタン、[LIVE/ARCHIVE]ボタンのいずれかを押すとキャンセルすることができます。

設定値 : 年/月/日 時 : 分 : 秒

登録 (Registration)

■管理者データの読み込み (Load Admin)

USBメモリーから管理者データを読み込み、既存の管理者データがある場合はそれらを削除して、すべての管理者データを更新します。

お知らせ :

工場出荷状態では、管理者データは何も登録されていません。

■管理者の一覧表示 (List Admin)

すでに本機に管理者として登録されているIDと使用者名を表示します。[△, ▽] ボタンでページを移動できます。

■使用者データの読み込み (Load Officer)

USBメモリーから使用者データを読み込み、既存の使用者データがある場合はそれらを削除して、すべての使用者データを更新します。

お知らせ :

工場出荷状態では、使用者データは何も登録されていません。

■使用者の一覧表示 (List Officer)

すでに本機に使用者として登録されているIDと使用者名を表示します。[△, ▽] ボタンでページを移動できます。

お知らせ :

IDと使用者名の文字数が長い場合には、一部省略されて表示されます。

■イベント情報の読み込み (Load Event Type)

USBメモリーからイベント情報を読み込み、既存のイベント情報がある場合は、それらを削除して、すべてのイベント情報を更新します。

お知らせ :

工場出荷状態では、イベント情報は何も登録されていません。

■イベント情報の一覧表示 (List Event Type)

すでに本機に登録されているイベント情報を表示します。[△, ▽] ボタンでページを移動できます。

お知らせ :

イベント情報の文字列が長い場合には、一部省略されて表示されます。

管理者設定 (つづき)

トリガー (Trigger)

■GPIOの設定

GPIOを使用する／使用しないを設定します。

設定値：ON, OFF

■トリガー 1～8の設定 (Trigger 1～8)

<検出時の動作 (Action) >

トリガー信号 (GPIO1～8) の検出時の動作を設定します。使用しないトリガーは“NONE”に設定してください。

REC : 記録

STOP : 停止

AUTOZOOM: 自動的にズームイン、一定時間停止、ズームアウトの動作を行う

CAM1 : [CAMERA1] 端子入力を選択

CAM2 : [CAMERA2] 端子入力を選択

CAM1REC: [CAMERA1] 端子入力映像を記録

CAM2REC: [CAMERA2] 端子入力映像を記録

CAM1LED: [CAMERA1] 端子入力に接続のカラーカメラの [REC] ランプの表示設定 (点灯／消灯) を切り替え

NONE : 動作なし

<検出 (Detection) >

トリガー信号 (GPIO1～8) の検出条件を設定します。検出時の動作 (Action) の設定値によって選択できる検出方法が変わります。

- REC, CAM1REC, CAM2RECの場合
 - H : ハイエッジトリガー
 - Level H : ハイレベルトリガー
 - L : ローエッジトリガー
 - Level L : ローレベルトリガー
 - B : 両エッジトリガー
- CAM1, CAM2, CAM1LED, AUTOZOOM, STOPの場合
 - H : ハイエッジトリガー
 - L : ローエッジトリガー
 - B : 両エッジトリガー

• NONEの場合

H : ハイエッジトリガー

L : ローエッジトリガー

SPEED : 車速を検出 (GPIO8のみ)

お知らせ：

- SPEEDが選択されたときには、印字文字 (Printable) の設定値は“—”となり、変更することはできません。また画面も表示されません。
- SPEEDを選択する前に86ページのパルス数の設定値を確認してください。パルス数が正しく設定されていない状態でSPEEDを“ON”にすると、異常なトリガーが発生する場合があります。

<印字文字 (Printable) >

OSD画面に表示するときの文字を割り当てます。

設定値：A～Z, —, OFF (表示しない)

お知らせ：

検出 (Detection) で設定した状態のときに印字文字 (Printable) で設定した値が表示されます。ただし、検出 (Detection) の設定値が“B”の場合だけ、ハイ状態になっているときに印字文字 (Printable) で設定した値が表示されます。

画面表示 (OSD)

■OSDの設定 (OSD)

画面に表示するOSDと記録ファイルに埋め込まれるOSDのON/OFFを設定します。

設定値：ON, OFF

■OSDの表示位置 (Display Position)

画面に表示するOSDと記録ファイルに埋め込まれるOSDの表示位置を設定します。

L-Upper : 左上部に表示します。

R-Upper : 右上部に表示します。

L-Bottom : 左下部に表示します。

R-Bottom : 右下部に表示します。

管理者設定 (つづき)

■トリガーの表示 (Trigger)

トリガー信号 (GPIO1 ~ 8) 入力時に表示する/表示しないを設定します。

設定値：ON, OFF

お知らせ：

On Screen詳細画面 (63、72ページの「本機の状態を表示する」参照)が表示されているときには、その下に隠れて表示されません。

■時刻の表示 (Time)

記録時に日付と時刻を表示する/表示しないを設定します。

設定値：ON, OFF

お知らせ：

On Screen詳細画面 (63、72ページの「本機の状態を表示する」参照)が表示されているときには、その下に隠れて表示されません。

■車両識別情報と地域情報の表示 (Source@Area)

記録時に車両識別情報と地域情報を表示する/表示しないを設定します。Source@Areaと表示されます。

Source：車両識別情報の先頭5文字
Area：地域情報の先頭4文字

お知らせ：

- Sourceが5文字未満の場合、全部で10文字になるようにAreaの文字が長く表示されます。
- Areaが4文字未満の場合、全部で10文字になるようにSourceの文字が長く表示されます。
- Sourceが無い場合、@Areaと表示されます。
- Areaが無い場合、Sourceのみ表示されます。

カメラ (Camera)

■ズーム制限値 (Zoom Limit)

最大ズーム倍率を設定します。

設定値：×22, ×220

■AGCの設定 (AGC Level)

カメラ入力ゲインコントロールの程度を設定します。

設定値：LOW, MID, HIGH, OFF

■逆光補正 (Init Backlight)

電源ON時の逆光補正機能を、使用する/使用しないを設定します。

設定値：ON, OFF, LAST*

■電源ON時の明るさの設定 (Init AE Shift)

電源ON時の明るさを設定します。

設定値：-2, -1, 0, +1, +2, LAST*

■カメラ出力画像 (Flip)

カメラ出力画像の上下反転をする/しないを設定します。

設定値：ON, OFF

■オートズーム倍率 (AutoZoom Magnification)

ズームイン時の目標ズーム倍率を設定します。

設定値：X1, X2, X3, X4, X5, X7, X10, X15, X22

■オートズーム時間 (AutoZoom Time)

ズームイン時の静止時間を設定します。

設定値 (秒)：3, 5, 8

■電源ON時のカメラランプ (Init Camera LED)

電源ON時のカメラランプの点灯する/しないを設定します。

設定値：ON, OFF, LAST*

* 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

管理者設定 (つづき)

■電源ON時のIR機能の設定 (Init IR Mode)

電源ON時のIR機能を設定します。
設定値：AUTO*1, OFF, ON, LAST*2

■IRレベル (IR Level)

IR機能の自動切り替え時のレベルを設定します。
設定値：LOW, HIGH

■IR時間 (IR Time)

IR機能の自動切り替え時の検出時間を設定します。
設定値 (秒)：10, 30, 60, 300

■オートフォーカス (AUTO FOCUS)

以下のような場合のカラーカメラのフォーカス方法を設定します。

- ・「Init LPR Mode」が“DISABLE”のとき
- ・「Init LPR Mode」が“ENABLE”で[LPR Mode]が“PATROL”のとき
- ・「Init LPR Mode」が“ENABLE”で[LPR Mode]が“LPR”のとき、記録トリガーによって記録を開始したとき

AUTO：ズーム倍率の変動した場合に、オートフォーカスは働きます。

PRESET：ズーム倍率が3倍以下の場合、約15 mにフォーカスされ、その後ズーム操作を行うとオートフォーカスが働きます。

DISABLE：約40 mに固定され、オートフォーカスは働きません。

■電源ON時のライセンスプレート認識モード (Init LPR Mode)

電源ON時のLPR機能（ライセンスプレートの認識）の有効／無効を設定します。

ENABLE：使用者の[LPR Mode]の設定変更が可能となります。このときの設定値は、電源OFF時も保持され、次回電源ON時に再設定されます。

DISABLE：カラーカメラのシャッタースピードは“AUTO”に変更されます。電源ON時のカメラのズーム位置は前回電源OFF時のズーム位置に戻ります。

*1 自動でON/OFFを切り替えます。

*2 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

管理者設定 (つづき)

■レーダー接続先 (Connection of Radar)

レーダーガンの接続先を設定します。

VPU : 本機に接続するとき

OFF : 接続しないとき

お知らせ :

- ・コントロールパネルは走行中の自転車から走行中の目標車の速度を演算で求める機能は持っていません。
- ・目標車速度は近づく方向の速度と、遠ざかる方向の速度の区別はありません。
- ・レーダーガンの種類によっては、目標車の速度を正しく測定できる条件設定機能を持っているものがあります。レーダーガンの取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・レーダーガンが異常の場合は、エラーメッセージが表示されます。

GPS (GPS)

■GPS接続先 (Connection of GPS)

GPS情報の取得先を設定します。

VPU : 本機に取り付けているGPSモジュール (別売) からのGPS情報を使用する

PC : PCからのGPS情報を使用する

OFF : GPS情報を使用しない

■GPS情報収集時間 (Collection Time)

GPS情報の収集時間を設定します。

設定値 (秒) : 1, 2, 5, 10

■測地系 (Geodetic System)

測地系を設定します。日本で使用されている地図には2種類の測地系があり、使う地図の測地系に合わせて設定します。タイムゾーン (TimeZone) が "Asia Tokyo" に設定されているときのみ設定できません。

WGS84 : 世界測地系

TOKYO : 日本測地系 (旧)

スピードパルス (Speedpulse)

■パルス数 (Speedpulse at Std Speed)*

速度単位をMPHに設定している場合 :

40 M/h時の1秒間のパルス数を設定します。(111、112ページの「車速パルス設定早見表 (40 M/h時)」参照)

設定値 : 5 ~ 400

速度単位をKPHに設定している場合 :

60 Km/h時の1秒間のパルス数を設定します。(109、110ページの「車速パルス設定早見表 (60 km/h時)」参照)

設定値 : 5 ~ 400

* タイヤの外径と車輪1回転当りのパルス数を元に車速パルス設定早見表からパルス数を得て設定します。設定された値が正しいことを実際に車を走らせて確認してください。外径とはタイヤの外側の直径で、リムサイズではありません。

管理者設定 (つづき)

記録開始速度 (Rec Start Information)

■自車速度 (Own Speed)

記録を開始する自車の速度を速度単位にしたがって設定します。

設定値：OFF, 1 ~ 500

■目標車速度 (Target Speed)

記録を開始する目標車の速度を速度単位にしたがって設定します。

設定値：OFF, 1 ~ 500

■速度単位 (Speed Unit)

設定値：MPH, KPH

お知らせ：

- ・自車速度と目標車速度の両方を設定している場合、一方の条件を満たすと記録が開始されます。
- ・自車速度の優先順位は、車速パルス、レーダーガン、GPSの順番になります。レーダーガンが自車速度測定機能を持っていない場合は、車速パルス、GPSの順番になります。この優先順位は、車速の記録トリガーとOn Screen表示も同様です。
- ・自車速度と目標車速度ともにOFFの場合は、記録は開始されません。

■車速でカメラ選択 (CAM Select in Speed)

レーダーガン、GPS、スピードパルスで記録を開始するときに（速度超過等）、使用するカメラを設定します。

- 1 : [CAMERA1] 端子に接続のカラーカメラ
- 2 : [CAMERA2] 端子に接続の市販カメラ

NO CHANGE：現在の設定から変更しない

ファイル管理 (File Management)

■エクスポート (Export)

本機内の映像や音声データファイルをUSBメモリーにコピーします。コピー完了後、自動的に本機内の映像や音声データファイルを削除します。

お知らせ：

USBメモリーにバージョンアップファイルが保存されているとエラーメッセージ“E28406”が表示されエクスポートは実行されません。(124ページの「エラーメッセージ」参照)

■ファイル全削除 (Delete All Files)

本機内の映像や音声データファイルをすべて削除します。確認のダイアログ画面が表示され、“Delete”を選択すると削除が実行されます。“Cancel”を選択すると削除されません。

お知らせ：

- ・ファイル全削除中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ・ステータス表示に以下のカード情報が表示されているP2カードのファイルは削除できません。
 - CARD PROTECT
 - VUP CARD
 - UNFORMATTED
 - ILLEGAL CARD
 - NO CARD

管理者設定 (つづき)

■フォーマット (Format)

本機内のすべてのP2カードをフォーマットします。ただし、16 GB以上のP2カードに記録するファイル数には制限があります。そのため、16 GB以上のP2カードのフォーマットを行う場合には、以下のフォーマット種類を選択する必要があります。

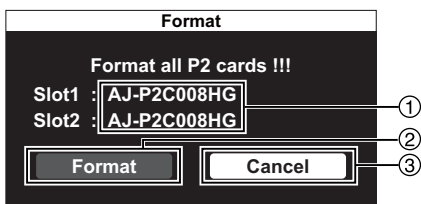
1日あたりの記録ファイル数を目安に最大記録ファイル数を超えないフォーマット種類を選択してください。通常は、Type1を選択してください。1度フォーマットすると、再度フォーマットしない限り、記録日数および1日あたりの最大記録ファイル数を変更することはできません。

品番	フォーマット種類	記録日数*	最大記録ファイル数/日 (ブックマークあり)	最大記録ファイル数/日 (ブックマークなし)
AJ-P2C016RG	Type 1	62日	339ファイル	508ファイル
	Type 2	31日	680ファイル	1020ファイル
	Type 3	10日	2046ファイル	3068ファイル
AJ-P2C032RG	Type 1	93日	339ファイル	508ファイル
	Type 2	65日	680ファイル	1020ファイル
	Type 3	21日	2046ファイル	3068ファイル

(16 GB以上のP2カード1枚あたり)

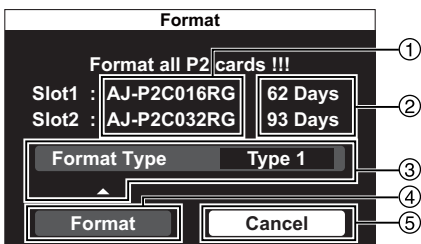
* 循環記録が“ON”に設定されている場合は、記録日数が1日短くなります。

・ 8 GB以下のP2カードのみ挿入時：以下の画面が表示されます。



- ①：挿入しているP2カードの品番が表示されます。
- ②：すべてのP2カードのフォーマットが実行されます。
- ③：フォーマットは実行されません。

・ 16 GB以上のP2カード挿入時：以下の画面が表示されます。



- ①：挿入しているP2カードの品番が表示されます。
- ②：16 GB以上のP2カードのみ、フォーマット実行前もしくは実行後の記録日数が表示されます。

- ③：16 GB以上のP2カードを挿入しているときのみ表示され、フォーマット種類を選択できます。[<]、[Δ] ボタンで[Format]-[Format Type]を選択し、[<,>] ボタンでフォーマット種類を選択します。
- ④：すべてのP2カードのフォーマットが実行されます。
16 GB以上の場合：
 - ⑤で選択したフォーマット種類8 GB以下の場合：
通常のフォーマット
- ⑤：フォーマットは実行されません。

管理者設定 (つづき)

お知らせ：

- フォーマット中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ステータス表示に以下のカード情報が表示されているP2カードはフォーマットできません。
 - CARD PROTECT
 - VUP CARD
 - ILLEGAL CARD
 - NO CARD
- ご購入直後の16 GB以上のP2カードは、本機でフォーマットしてください。
- 本機でフォーマットした16 GB以上のP2カードには、本機の動作に必要なフォルダーがあらかじめ作成されています。これらのフォルダーをPCなどで直接操作（削除、コピー、移動など）しないでください。
- PCなどで、16 GB以上のP2カード上のフォルダーを直接操作した場合、本機で再フォーマットが必要となります。
- 16 GB以上のP2カードを挿入している場合、記録日数もしくはファイル数が最大を超えると、On Screenに“CARD FULL”が表示される場合があります。
- 16 GB以上のP2カードを2枚挿入して使用すると、1日の最大記録ファイル数は2倍に増加します。また、1日の記録ファイル数がカード1枚の1日あたりの最大記録ファイル数を超えないときには、記録日数が増えます。
- P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが20,000を超えたときは、記録を開始できません。


管理者設定 (つづき)

自動メンテナンス(Auto Maintenance)

メモ리카ードレコーダーは連続運転時、システムの健全性を維持するため定期的に再起動し、ファイルチェックと使用メモリ領域の解除を行います。

定期的に電源OFFにする使い方をする場合は、自動メンテナンスを実行する必要はありません。

反対に、定期的に電源OFFしない使い方をする場合は、支障のない範囲で短い周期に設定して、自動メンテナンスを実行してください。

自動メンテナンスを開始する直前に、実施を確認するダイアログ画面が10～20秒間表示されます。この間に[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[REC] ボタン、[STOP] ボタン、[RETURN] ボタン、[] ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。キャンセル操作をしなければ自動メンテナンスが実行されます。

自動メンテナンスは、実施予定日時に到達したとき、以下の条件のときに実行・キャンセルされます。

<実行>

- 記録停止中のとき
- 記録中であっても最大90分待ち、その間に記録が停止したとき
- 循環記録の設定が“ON”または、プログラム記録の設定時間以外で間けつ記録を行っているとき（間けつ記録を停止して実行します）
- ファイル修復中および管理者設定などの設定中のとき（操作終了後に実行します）
- 再生中のとき（再生を停止して実行します）

<キャンセル>

- 90分以上記録が継続しているとき
- P2カードスロットカバーが開いた状態のとき

お知らせ：

- 自動メンテナンス終了後、直ちに記録を開始したい場合は、電源ON記録を“ON”に設定してください。
- 自動メンテナンスが実行されると、再起動により電源ON直後の状態になります。自動メンテナンスを“ON”にする場合は、以下の管理者設定項目の設定値を“LAST”にしておくと、再起動によって設定状態が変化することはありません。また、設定を固定して使用する場合は“LAST”以外の設定値を選んでください。

<記録と再生 (Rec/Play) >

- 電源ON時のカメラ選択 (Init Camera Select)
- 電源ON時のオーディオ選択 (Init Audio2 In Select)
- 電源ON時の音声記録 (Init Audio2 Rec)
- オーバーレイOSD (Init On Screen Type)
- 電源ON時のオーディオ出力 (Init Audio Out (Play))

<カメラ (Camera) >

- 逆光補正 (Init Backlight)
- 電源ON時の明るさの設定 (Init AE Shift)
- 電源ON時のカメラランプ (Init Camera LED)
- 電源ON時のIR機能の設定 (Init IR Mode)

管理者設定 (つづき)

■次回実施日

(Next Maintenance Day)

次回の自動メンテナンス実行日が表示されます。画面下方に、設定されている動作 (Operation)、周期 (Interval)、日 (Day)、時刻 (Time) が表示されます。

■動作 (Operation)

自動メンテナンスの実行する／実行しないを設定します。

設定を変更すると、“Set” ボタンが表示されるので、“Set” ボタンを選択して [OK] ボタンで決定します。

決定すると“Set” ボタンが消えます。[MENU]ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF]ボタン、[RETURN]ボタン、[LIVE/ARCHIVE]ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。

設定値：ON, OFF

■周期 (Interval)

自動メンテナンスの実行周期を設定します。

設定を変更すると、“Set” ボタンが表示されるので、“Set” ボタンを選択して [OK] ボタンで決定します。

決定すると“Set” ボタンが消えます。[MENU]ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF]ボタン、[RETURN]ボタン、[LIVE/ARCHIVE]ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。

設定値 (か月)：1, 3, 6, 12

■日 (Day)

自動メンテナンスを実行する週と曜日を設定します。

設定を変更すると、“Set” ボタンが表示されるので、“Set” ボタンを選択して [OK] ボタンで決定します。

決定すると“Set” ボタンが消えます。[MENU]ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF]ボタン、[RETURN]ボタン、[LIVE/ARCHIVE]ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。

設定値 (週)：1st, 2nd, 3rd, Last

設定値 (曜日)：Mon, Tue, Wed,

Thu, Fri, Sat, Sun

■時刻 (Time)

自動メンテナンスの開始時刻を設定します。

設定を変更すると、“Set” ボタンが表示されるので、“Set” ボタンを選択して [OK] ボタンで決定します。

決定すると“Set” ボタンが消えます。[MENU]ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF]ボタン、[RETURN]ボタン、[LIVE/ARCHIVE]ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。

設定値：HH：MM

お知らせ：

- ・設定変更を決定すると、変更前の自動メンテナンス実施日がキャンセルされたことが過去のエラー情報に残されます。
- ・本機を再起動すると (74ページの「本機を再起動する」参照)、自動メンテナンスを実行したのと同じ効果があります。

管理者設定 (つづき)

サービス (Service)

■本機稼働時間 (AG-CPD15 Operating Time)

本機の稼働時間を表示します。
(単位：時)

■ファン稼働時間 (FAN Operating Time)

ファンの稼働時間を表示します。
(単位：時)

■カメラ1稼働時間 (CAM1 Operating Time)

カラーカメラの稼働時間を表示します。
(単位：時)

■コントロールパネル稼働時間 (AG-RCP30 Operating Time)

コントロールパネルの稼働時間を表示します。
(単位：時)

■液晶パネル点灯時間 (LCD Lighting Time)

液晶パネルの累積点灯時間を表示します。(単位：時)

■本機のバージョン (AG-CPD15 Version)

本機のバージョンを表示します。

■ソフト更新日 (BIOS Creation Date)

BIOSソフトの作成日付を表示します。(月/日/年)

■マイコンのバージョン (Microcontroller Version)

マイコンのバージョンを表示します。



■コントロールパネルのバージョン (AG-RCP30 Version)

コントロールパネルのバージョンを表示します。

オペレーション (Operations)

■バージョンアップ (Version Up)

バージョンアップファイルの入手については、お買い上げの販売店にご相談ください。あらかじめPCを使って入手したバージョンアップファイルをP2カードもしくはUSBメモリーのルートディレクトリー*に保存してください。

1. P2カードを本機に挿入、もしくはUSBメモリーを本機に接続する
2. [Service]-[Operations]-[Version Up]を選択し、[]ボタンで決定する
確認のダイアログ画面が表示されます。
3. “YES” を選択し、[]ボタンで決定する
バージョンアップが実行され、自動的に本機が再起動されます。

お知らせ：

- ・バージョンアップ中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ・バージョンアップが失敗した場合は、エラー画面が表示されて停止します。(118、119、122ページの「エラーメッセージ」参照)

* ルートディレクトリーが以下の条件のときバージョンアップは実行されません。

- ・DATAフォルダーが存在する
- ・複数のバージョンアップファイル (拡張子：.VUP) が存在する

管理者設定 (つづき)

■メニュー設定のコピー (Menu Copy)

本機のメニュー設定内容を別のメモリーカードレコーダー（以後、別機と記載します）にコピーすることができます。

本機側の操作

1. USBメモリーを本機に接続する
P2カードへは設定情報ファイル*1を出力できません。
2. [Service]-[Operations]-[Menu Copy]を選択し、**[PUSH]**ボタンで決定する
確認のダイアログ画面が表示されます。
3. “Copy” を選択し、**[PUSH]**ボタンで決定する
設定情報ファイル*1がUSBメモリーのルートディレクトリーに作成されます。
“Cancel” を選択すると設定情報ファイル*1は作成されません。

別機側の操作

●USBメモリーを使用する場合

1. 別機にUSBメモリーを接続する
2. P2カードスロットカバーを開ける
3. P2カードスロットカバーを開けたまま、別機の[REC]ボタンを[READY]ランプもしくは[BUSY]ランプが点滅を始めるまで（約10秒間以上）押し続ける
設定情報ファイル*1が読み込まれます。読み込みは、20～50秒後に終了します。正しく読み込まれた場合、[READY]ランプ*2が点灯します。
4. [STOP] ボタンを押す
別機は再起動され、本機と同じ設定内容で動作します。

*1 設定情報ファイルは、拡張子:.CFGのファイルです。設定情報ファイルには、本機に設定されているすべての情報が含まれています。

ただし、以下の内容は含まれていません。

- 本機稼働時間
- ファン稼働時間
- カメラ1稼働時間
- コントロールパネル稼働時間
- 液晶パネル点灯時間
- 本機のバージョン
- ソフト更新日
- マイコンのバージョン
- コントロールパネルのバージョン
- 過去のエラー情報

*2 ランプの状態が以下の場合、エラーが発生しています。

[BUSY]ランプ高速点滅：

設定情報ファイル*1の内容検査もしくは、管理者認証でエラーが発生しました。

- 設定情報ファイル*1の内容検査エラーの場合、以下のような原因が考えられます。
 - ファイルがない
 - ファイルが複数存在する
 - ファイルが壊れている
- 管理者認証エラーの場合、別機に管理者設定がされています。USBメモリーの¥WIDKEYの下にPCを使って管理者自身の使用者データをコピーしてください。管理者自身の使用者データについては、45～48ページの「本機で使用するテキストファイル」を参照してください。再度、別機側の操作手順1から実行してください。

[READY]ランプ消灯：

正しく読み込まれませんでした。以下の順番で再実行し、それでも[READY]ランプが点灯しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ①一度USBメモリーを外して、別機側の操作手順1から実行。
- ②USBメモリーを交換して、別機側の操作手順1から実行。
- ③本機側の操作手順1から実行。

(次ページへつづく)

管理者設定 (つづき)

● P2カードを使用する場合

1. 本機側の操作手順3で作成された設定情報ファイル*1をPCなどを使用して、USBメモリーからP2カードのルートディレクトリーにコピーする
2. 別機のP2カードスロットカバーを開けて、P2カードをP2カードスロット1*2に挿入する
3. P2カードスロットカバーを開けたまま、別機の[REC]ボタンを[READY]ランプもしくは[BUSY]ランプが点滅を始めるまで(約10秒間以上)押し続ける設定情報ファイル*1が読み込まれます。読み込みは、20～50秒後に終了します。正しく読み込まれた場合、[READY]ランプ*3が点灯します。
4. [STOP] ボタンを押す
別機は再起動され、本機と同じ設定内容で動作します。

*1 設定情報ファイルは、拡張子:.CFGのファイルです。設定情報ファイルには、本機に設定されているすべての情報が含まれています。ただし、以下の内容は含まれていません。

- 本機稼働時間
- ファン稼働時間
- カメラ1稼働時間
- コントロールパネル稼働時間
- 液晶パネル点灯時間
- 本機のバージョン
- ソフト更新日
- マイコンのバージョン
- コントロールパネルのバージョン
- 過去のエラー情報

*2 P2カードスロット2に挿入してもメニュー設定はコピーされません。

*3 ランプの状態が以下の場合、エラーが発生しています。

[BUSY]ランプ高速点滅:

設定情報ファイル*1の内容検査もしくは、管理者認証でエラーが発生しました。

- 設定情報ファイル*1の内容検査エラーの場合、以下のような原因が考えられます。
 - ファイルがない
 - ファイルが複数存在する
 - ファイルが壊れている
- 管理者認証エラーの場合、別機に管理者設定がされています。USBメモリーの¥WIDKEYの下にPCを使って管理者自身の使用者データをコピーしてください。

管理者自身の使用者データについては、45～48ページの「本機で使用できるテキストファイル」を参照してください。

別機にUSBメモリーを接続して、再度別機側の操作手順3から実行してください。

[READY]ランプ消灯:

正しく読み込まれませんでした。以下の順番で再実行し、それでも[READY]ランプが点灯しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ①別機側の操作手順1から実行。
- ②本機側の操作手順1から実行。

管理者設定 (つづき)

■工場出荷設定への復帰 (Factory Default)

本機に設定されているすべての情報*
を工場出荷状態にすることができます。

一度、工場出荷状態にすると、元の
状態に戻すことはできません。工場
出荷状態にしてよいか、確認してか
ら実行してください。

1. [Service]-[Operations]- [Factory Default]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

確認のダイアログ画面が表示さ
れます。

2. “Exec” を選択し、[PUSH]ボタンで 決定する

本機は再起動され、工場出荷状態
になります。

“Cancel” を選択すると工場出荷
状態にはなりません。

* 以下の情報は、工場出荷状態には
戻りません。

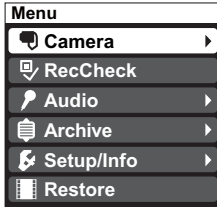
- ・本機稼働時間
- ・ファン稼働時間
- ・カメラ1稼働時間
- ・コントロールパネル稼働時間
- ・液晶パネル点灯時間
- ・本機のバージョン
- ・ソフト更新日
- ・マイコンのバージョン
- ・コントロールパネルのバー
ジョン

メニュー画面一覧

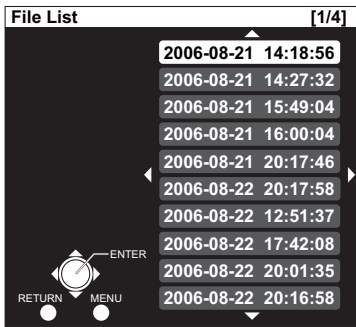
本機の各種設定や調整および変更は、コントロールパネルのメニュー操作によって行います。

■ライブ画面で記録停止中に [MENU] ボタンを押したとき

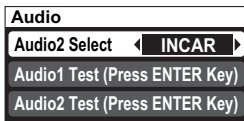
・メニュートップ画面



Archive (70ページ)

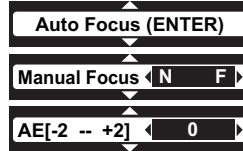


Audio (61ページ)

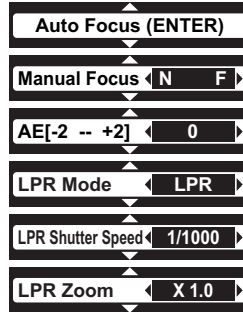


RecCheck (66ページ)
試し撮りをする。

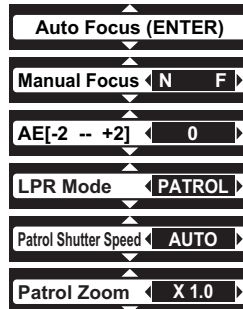
Camera (58 ~ 60ページ)
[Init LPR Mode]を“DISABLE”
に設定したとき：



[Init LPR Mode]を“ENABLE”
に設定し、[LPR Mode]を“LPR”
に設定したとき：

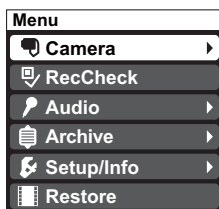


[Init LPR Mode]を“ENABLE”に
設定し、[LPR Mode]を“PATROL”
に設定したとき：

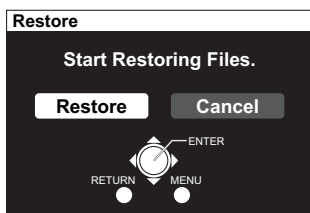


メニュー画面一覧 (つづき)

・メニュートップ画面

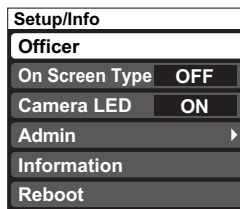


Restore (73ページ)

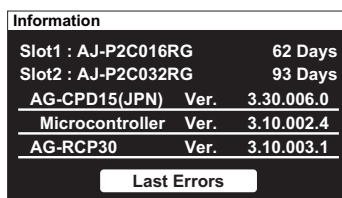


Setup/Info

(54, 55, 56, 61, 62, 74, 75ページ)



Information (74ページ)



Admin(102～104ページ)

管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

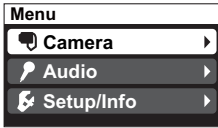
Officer (101ページ)

使用者設定トップ画面を表示する。

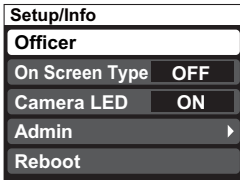
メニュー画面一覧 (つづき)

■ライブ画面で記録中に [MENU] ボタンを押したとき

- ・メニュートップ画面



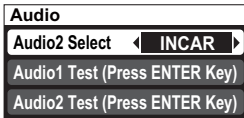
Setup/Info
(54, 55, 56, 61, 62, 74, 75ページ)



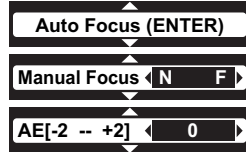
Admin(102～104ページ)
管理者設定トップ画面を
表示する。
管理者のみが操作できる
メニューに進みます。

Officer (101ページ)
使用者設定トップ画面を
表示する。

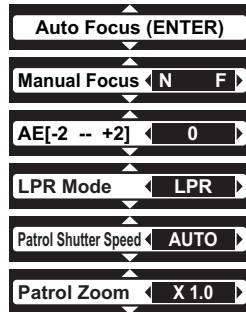
Audio (61ページ)



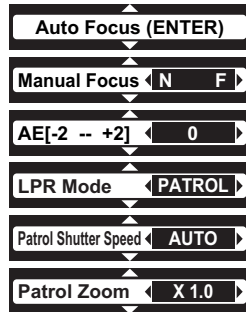
Camera (58～60ページ)
[Init LPR Mode]を“DISABLE”
に設定したとき：



[Init LPR Mode]を“ENABLE”
に設定し、[LPR Mode]を“LPR”
に設定したとき：



[Init LPR Mode]を“ENABLE”に
設定し、[LPR Mode]を“PATROL”
に設定したとき：



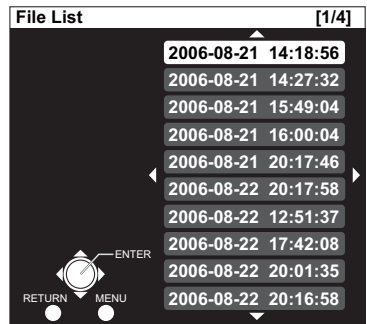
メニュー画面一覧 (つづき)

■再生画面で [MENU] ボタンを押したとき

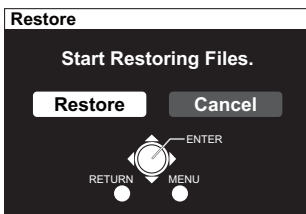
- ・メニュートップ画面



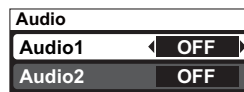
Archive (70ページ)



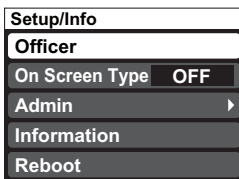
Restore (73ページ)



Audio (70ページ)



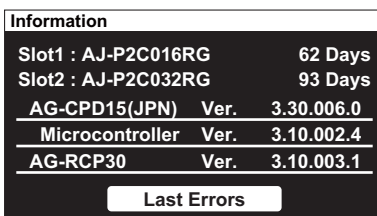
Setup/Info
(54, 55, 56, 71, 74, 75ページ)



Officer (101ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

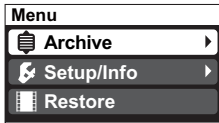
Admin (102 ~ 104ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

Information (74ページ)

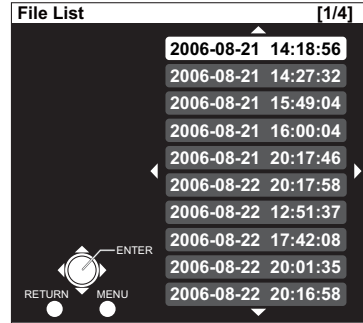


メニュー画面一覧 (つづき)

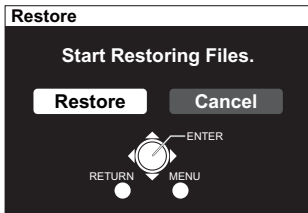
■ “Archive” 画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面
および “Restore” 実行中に [MENU] ボタンを押したとき



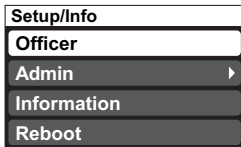
Archive (70ページ)



Restore (73ページ)



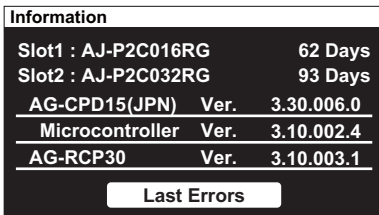
Setup/Info
(54, 55, 56, 74, 75ページ)



Officer (101ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (102 ~ 104ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニュー
に進みます。

Information (74ページ)



メニュー画面一覧 (つづき)

- 記録中に使用者設定トップ画面で [MENU] ボタンを押したとき

Menu
Setup/Info

Setup/Info
(54, 55, 56, 75ページ)

Setup/Info
Officer
Admin

Officer (下記)
使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (102 ~ 104ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニュー
に進み記録は停止します。

- ・使用者設定トップ画面 (54 ~ 56ページ)

使用者設定方法に応じて、3種類の使用者設定トップ画面があります。

<AUTO>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2

Operation Key Lock OFF

<LIST>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1 Select Delete

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2 Select Delete

Operation Key Lock OFF

<MANUAL>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1 Load Delete

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2 Load Delete

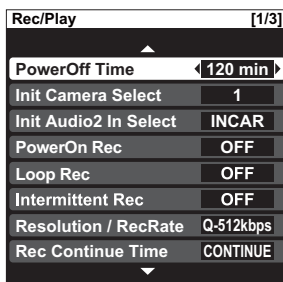
Operation Key Lock OFF

メニュー画面一覧 (つづき)

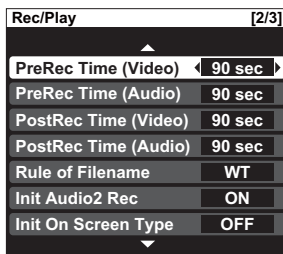
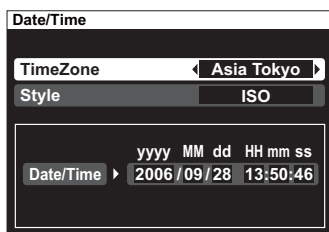
・管理者設定トップ画面 (1) - 1 (75, 76ページ)



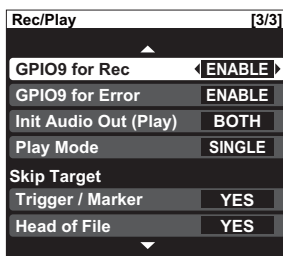
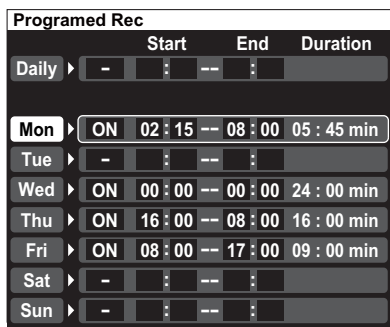
Rec/Play (77 ~ 80ページ)



Date/Time (81ページ)



Programed Rec (80ページ)

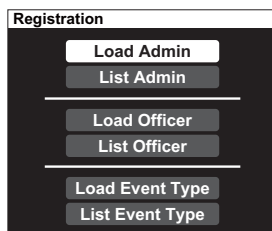


メニュー画面一覧 (つづき)

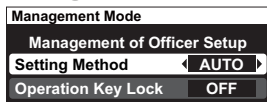
・管理者設定トップ画面 (1) -2 (75, 76ページ)



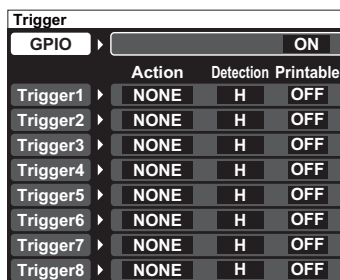
Registration (81ページ)



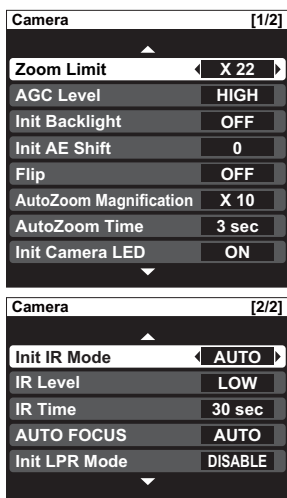
Management Mode (85ページ)



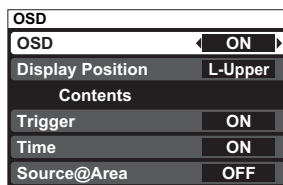
Trigger (82ページ)



Camera (83, 84ページ)

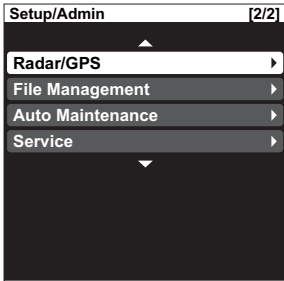


OSD (82, 83ページ)



メニュー画面一覧 (つづき)

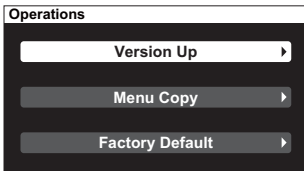
・管理者設定トップ画面 (2) (75, 76ページ)



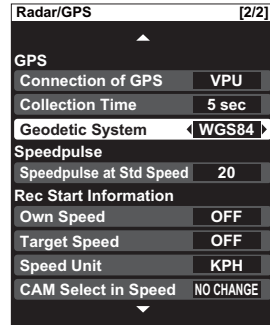
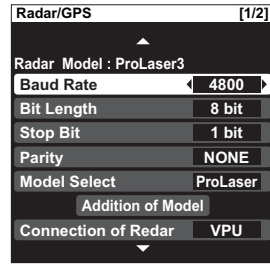
Service (92ページ)

Service		
AG-CPD15	Operating Time	1566 hrs
FAN	Operating Time	1482 hrs
CAM1	Operating Time	1366 hrs
AG-RCP30	Operating Time	1366 hrs
LCD	Lighting Time	1015 hrs
AG-CPD15(JPN)	Version	3.30.006.0
BIOS	Creation Date	02/22/2006
Microcontroller	Version	3.10.002.4
AG-RCP30	Version	3.10.003.1
Operations ▶		

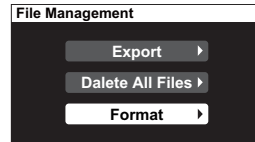
Operations (92 ~ 95ページ)



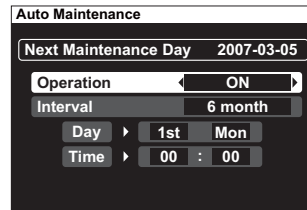
Radar/GPS (85 ~ 87ページ)



File Management (87 ~ 89ページ)



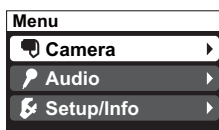
Auto Maintenance (90, 91ページ)



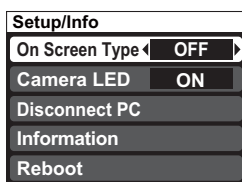
メニュー画面一覧 (つづき)

■PCアプリケーション起動中に [MENU] ボタンを押したとき

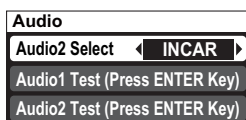
- ・メニュートップ画面



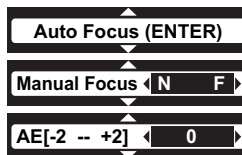
Setup/Info
(61, 62, 64, 74ページ)



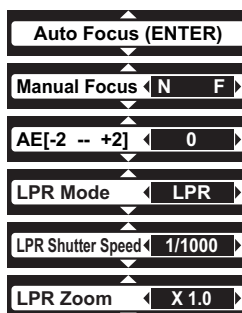
Audio (61ページ)



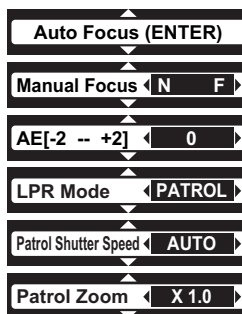
Camera (58 ~ 60ページ)
[Init LPR Mode]を“DISABLE”
に設定したとき：



[Init LPR Mode]を“ENABLE”
に設定し、[LPR Mode]を“LPR”
に設定したとき：

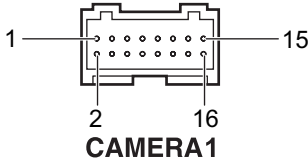


[Init LPR Mode]を“ENABLE”に
設定し、[LPR Mode]を“PATROL”
に設定したとき：



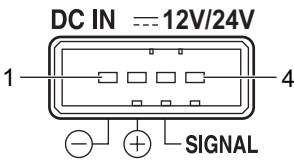
コネクターの信号

[CAMERA1] 端子 (オス型)



ピンNo	信号内容
1	N.C.
2	GND (SHIELD)
3	V_OUT
4	GND (V_OUT)
5	BL_L
6	GND (TxD/RxD)
7	AUTO_ZOOM_L
8	TxD
9	REC_L
10	RxD
11	GND (DC_IN)
12	REC_LED_L
13	DC_IN
14	GND (SHIELD)
15	N.C.
16	GND (SHIELD)

[DC IN] 端子 (オス型)



ピンNo	信号内容	電線の色
1	GND (⊖)	黒
2	BATT (⊕)	赤
3	SIGNAL*	白
4	N.C.	

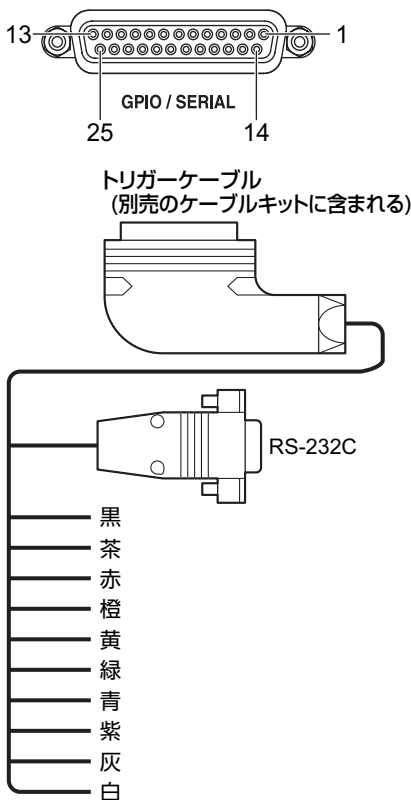


電源ケーブル (別売のケーブルキットに含まれる)

* SIGNAL端子により本機の電源をON/OFF制御することができます。本機起動中にOFF信号を入力すると、コントロールパネルで設定した時間経過後、本機の電源をOFFにします。

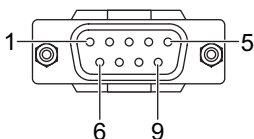
コネクターの信号 (つづき)

[GPIO/SERIAL] 端子 (メス型)



ピンNo	信号内容	備考	電線の色
1	N.C.		
2	TxD	Serial	
3	RxD	Serial	
4	RTS	Serial	
5	CTS	Serial	
6	DSR	Serial	
7	SG	Serial	
8	N.C.		
9	GND	GPIO	黒
10	GPIO1	In	茶
11	GPIO2	In	赤
12	GPIO3	In	橙
13	GPIO4	In	黄
14	N.C.		
15	N.C.		
16	N.C.		
17	N.C.		
18	N.C.		
19	N.C.		
20	DTR	Serial	
21	GPIO5	In	緑
22	GPIO6	In	青
23	GPIO7	In	紫
24	GPIO8	In	灰
25	GPIO9	Out	白

RS-232C端子 (オス型)*1



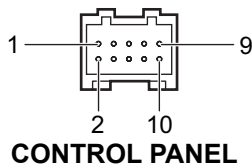
ピンNo	信号内容
1	N.C.
2	RxD
3	TxD
4	DTR
5	SG
6	DSR
7*2	RTS
8*2	CTS
9	N.C.

*1 レーダーガンとの接続は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

*2 ピンNo.7-8間は、本機内部でショートしています。

コネクタの信号 (つづき)

[CONTROL PANEL] 端子
(オス型)



ピンNo	信号内容
1	N.C.
2	N.C.
3	DC_IN
4	GND (DC_IN)
5	SOUT_P
6	SOUT_N
7	SIN_P
8	SIN_N
9	GND (DIGITAL)
10	GND (FG)

車速パルス設定早見表 (60 km/h時)

タイヤ外径 (mm)	車輪1回転当たりのパルス数												
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
400	27	40	53	66	80	93	106	119	133	146	159	172	
420	25	38	51	63	76	88	101	114	126	139	152	164	
440	24	36	48	60	72	84	96	109	121	133	145	157	
460	23	35	46	58	69	81	92	104	115	127	138	150	
480	22	33	44	55	66	77	88	99	111	122	133	144	
500	21	32	42	53	64	74	85	95	106	117	127	138	
520	20	31	41	51	61	71	82	92	102	112	122	133	
540	20	29	39	49	59	69	79	88	98	108	118	128	
560	19	28	38	47	57	66	76	85	95	104	114	123	
580	18	27	37	46	55	64	73	82	91	101	110	119	
600	18	27	35	44	53	62	71	80	88	97	106	115	
620	17	26	34	43	51	60	68	77	86	94	103	111	
640	17	25	33	41	50	58	66	75	83	91	99	108	
660	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96	104	
680	16	23	31	39	47	55	62	70	78	86	94	101	
700	15	23	30	38	45	53	61	68	76	83	91	99	
720	15	22	29	37	44	52	59	66	74	81	88	96	
740	14	22	29	36	43	50	57	65	72	79	86	93	
760	14	21	28	35	42	49	56	63	70	77	84	91	
780	14	20	27	34	41	48	54	61	68	75	82	88	
800	13	20	27	33	40	46	53	60	66	73	80	86	
820	13	19	26	32	39	45	52	58	65	71	78	84	
840	13	19	25	32	38	44	51	57	63	69	76	82	
860	12	19	25	31	37	43	49	56	62	68	74	80	
880	12	18	24	30	36	42	48	54	60	66	72	78	
900	12	18	24	29	35	41	47	53	59	65	71	77	
920	12	17	23	29	35	40	46	52	58	63	69	75	
940	11	17	23	28	34	40	45	51	56	62	68	73	
960	11	17	22	28	33	39	44	50	55	61	66	72	
980	11	16	22	27	32	38	43	49	54	60	65	70	
1000	11	16	21	27	32	37	42	48	53	58	64	69	
1020	10	16	21	26	31	36	42	47	52	57	62	68	
1040	10	15	20	26	31	36	41	46	51	56	61	66	
1060	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	
1080	10	15	20	25	29	34	39	44	49	54	59	64	
1100	10	14	19	24	29	34	39	43	48	53	58	63	
1120	9	14	19	24	28	33	38	43	47	52	57	62	
1140	9	14	19	23	28	33	37	42	47	51	56	60	
1160	9	14	18	23	27	32	37	41	46	50	55	59	
1180	9	13	18	22	27	31	36	40	45	49	54	58	
1200	9	13	18	22	27	31	35	40	44	49	53	57	

(次ページへつづく)

車速パルス設定早見表 (60 km/h時) (つづき)

タイヤ外径 (mm)	車輪1回転当たりのパルス数											
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
400	186	199	212	225	239	252	265	279	292	305	318	332
420	177	189	202	215	227	240	253	265	278	291	303	316
440	169	181	193	205	217	229	241	253	265	277	289	301
460	161	173	185	196	208	219	231	242	254	265	277	288
480	155	166	177	188	199	210	221	232	243	254	265	276
500	149	159	170	180	191	202	212	223	233	244	255	265
520	143	153	163	173	184	194	204	214	224	235	245	255
540	138	147	157	167	177	187	196	206	216	226	236	246
560	133	142	152	161	171	180	189	199	208	218	227	237
580	128	137	146	155	165	174	183	192	201	210	220	229
600	124	133	141	150	159	168	177	186	195	203	212	221
620	120	128	137	145	154	163	171	180	188	197	205	214
640	116	124	133	141	149	157	166	174	182	191	199	207
660	113	121	129	137	145	153	161	169	177	185	193	201
680	109	117	125	133	140	148	156	164	172	179	187	195
700	106	114	121	129	136	144	152	159	167	174	182	189
720	103	111	118	125	133	140	147	155	162	169	177	184
740	100	108	115	122	129	136	143	151	158	165	172	179
760	98	105	112	119	126	133	140	147	154	161	168	175
780	95	102	109	116	122	129	136	143	150	156	163	170
800	93	99	106	113	119	126	133	139	146	153	159	166
820	91	97	104	110	116	123	129	136	142	149	155	162
840	88	95	101	107	114	120	126	133	139	145	152	158
860	86	93	99	105	111	117	123	130	136	142	148	154
880	84	90	96	102	109	115	121	127	133	139	145	151
900	83	88	94	100	106	112	118	124	130	136	141	147
920	81	86	92	98	104	110	115	121	127	133	138	144
940	79	85	90	96	102	107	113	119	124	130	135	141
960	77	83	88	94	99	105	111	116	122	127	133	138
980	76	81	87	92	97	103	108	114	119	125	130	135
1000	74	80	85	90	95	101	106	111	117	122	127	133
1020	73	78	83	88	94	99	104	109	114	120	125	130
1040	71	77	82	87	92	97	102	107	112	117	122	128
1060	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125
1080	69	74	79	84	88	93	98	103	108	113	118	123
1100	68	72	77	82	87	92	96	101	106	111	116	121
1120	66	71	76	81	85	90	95	99	104	109	114	118
1140	65	70	74	79	84	88	93	98	102	107	112	116
1160	64	69	73	78	82	87	91	96	101	105	110	114
1180	63	67	72	76	81	85	90	94	99	103	108	112
1200	62	66	71	75	80	84	88	93	97	102	106	111

車速パルス設定早見表 (40 M/h時)

タイヤ外径 (インチ)	車輪1回転当たりのパルス数												
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
15	30	45	60	75	90	105	120	134	149	164	179	194	
16	28	42	56	70	84	98	112	126	140	154	168	182	
17	26	40	53	66	79	92	105	119	132	145	158	171	
18	25	37	50	62	75	87	100	112	124	137	149	162	
19	24	35	47	59	71	83	94	106	118	130	142	153	
20	22	34	45	56	67	78	90	101	112	123	134	146	
21	21	32	43	53	64	75	85	96	107	117	128	139	
22	20	31	41	51	61	71	81	92	102	112	122	132	
23	19	29	39	49	58	68	78	88	97	107	117	127	
24	19	28	37	47	56	65	75	84	93	103	112	121	
25	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99	108	117	
26	17	26	34	43	52	60	69	78	86	95	103	112	
27	17	25	33	41	50	58	66	75	83	91	100	108	
28	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96	104	
29	15	23	31	39	46	54	62	70	77	85	93	100	
30	15	22	30	37	45	52	60	67	75	82	90	97	
31	14	22	29	36	43	51	58	65	72	80	87	94	
32	14	21	28	35	42	49	56	63	70	77	84	91	
33	14	20	27	34	41	48	54	61	68	75	81	88	
34	13	20	26	33	40	46	53	59	66	72	79	86	
35	13	19	26	32	38	45	51	58	64	70	77	83	
36	12	19	25	31	37	44	50	56	62	68	75	81	
37	12	18	24	30	36	42	48	55	61	67	73	79	
38	12	18	24	29	35	41	47	53	59	65	71	77	
39	11	17	23	29	34	40	46	52	57	63	69	75	
40	11	17	22	28	34	39	45	50	56	62	67	73	
41	11	16	22	27	33	38	44	49	55	60	66	71	
42	11	16	21	27	32	37	43	48	53	59	64	69	
43	10	16	21	26	31	36	42	47	52	57	63	68	
44	10	15	20	25	31	36	41	46	51	56	61	66	
45	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	
46	10	15	19	24	29	34	39	44	49	54	58	63	
47	10	14	19	24	29	33	38	43	48	52	57	62	
48	9	14	19	23	28	33	37	42	47	51	56	61	
49	9	14	18	23	27	32	37	41	46	50	55	59	
50	9	13	18	22	27	31	36	40	45	49	54	58	

(次ページへつづく)

車速パルス設定早見表 (40 M/h 時) (つづき)

タイヤ外径 (インチ)	車輪1回転当たりのパルス数											
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
15	209	224	239	254	269	284	299	314	329	344	359	373
16	196	210	224	238	252	266	280	294	308	322	336	350
17	185	198	211	224	237	250	264	277	290	303	316	330
18	174	187	199	212	224	237	249	261	274	286	299	311
19	165	177	189	201	212	224	236	248	259	271	283	295
20	157	168	179	190	202	213	224	235	246	258	269	280
21	149	160	171	181	192	203	213	224	235	245	256	267
22	143	153	163	173	183	194	204	214	224	234	244	255
23	136	146	156	166	175	185	195	205	214	224	234	244
24	131	140	149	159	168	177	187	196	205	215	224	233
25	125	134	143	152	161	170	179	188	197	206	215	224
26	121	129	138	147	155	164	172	181	190	198	207	215
27	116	124	133	141	149	158	166	174	183	191	199	207
28	112	120	128	136	144	152	160	168	176	184	192	200
29	108	116	124	131	139	147	155	162	170	178	185	193
30	105	112	120	127	134	142	149	157	164	172	179	187
31	101	108	116	123	130	137	145	152	159	166	173	181
32	98	105	112	119	126	133	140	147	154	161	168	175
33	95	102	109	115	122	129	136	143	149	156	163	170
34	92	99	105	112	119	125	132	138	145	152	158	165
35	90	96	102	109	115	122	128	134	141	147	154	160
36	87	93	100	106	112	118	124	131	137	143	149	156
37	85	91	97	103	109	115	121	127	133	139	145	151
38	83	88	94	100	106	112	118	124	130	136	142	147
39	80	86	92	98	103	109	115	121	126	132	138	144
40	78	84	90	95	101	106	112	118	123	129	134	140
41	77	82	87	93	98	104	109	115	120	126	131	137
42	75	80	85	91	96	101	107	112	117	123	128	133
43	73	78	83	89	94	99	104	109	115	120	125	130
44	71	76	81	87	92	97	102	107	112	117	122	127
45	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	124
46	68	73	78	83	88	93	97	102	107	112	117	122
47	67	72	76	81	86	91	95	100	105	110	114	119
48	65	70	75	79	84	89	93	98	103	107	112	117
49	64	69	73	78	82	87	91	96	101	105	110	114
50	63	67	72	76	81	85	90	94	99	103	108	112

ランプ表示と本機の状態

ランプの点灯・点滅・消灯状態と本機の状態の関係を以下の表に示します。

- ：点灯 ○：通常点滅 ○：消灯 ●：高速点滅（1秒間に約3回点滅）
 ●：消灯が短く点灯が長い点滅

ランプの表示			本機の状態
REC (赤色)	READY (緑色)	BUSY (赤色)	
●	●	●	電源がONされた直後の状態
○	●	●	本機の起動処理中
○	●	○	ライブ画面表示中*1
●	●	●	通常記録中*1,*2
●	●	●	間けつ記録中*1,*2
○	●	●	・ポスト記録中*1 ・PCアプリケーション操作*3含む
○	●	○	記録停止状態で、管理者設定画面表示中 (P2カードアクセスなし)
○	●	●	記録停止状態で、管理者設定画面表示中 (P2カードアクセスあり)
○	○	●	再生中
○	○	●	・本機の終了処理中 ・P2カードの開始処理中(挿入時などの認識処理) ・P2カードの停止処理中(P2カードスロットカバーを開いたとき)
●	●	●	本機のファームウェアアップデート中
●	●	●	・本機/コントロールパネルのマイコンアップデート中 ・メニュー設定コピー中
●	●	●	メニュー設定のコピー成功
●	○	●	メニュー設定のコピー失敗
●	●, ●, ○のいずれか		ライブ画面表示中に記録操作に対してエラーが発生*4
○	○	○	・本機のP2カードスロットカバーが開いた状態 ・P2カードが挿入されていないか、または確認できない状態 ・P2カード残容量がない状態 ・P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっている状態 <16 GB以上のP2カードをご使用の場合> ・ご購入直後で未フォーマットの状態 ・記録日数もしくはファイル数が最大を超えた状態 ・PCなどでP2カード上のフォルダーを直接操作した状態

(次ページへつづく)

ランプ表示と本機の状態 (つづき)

- *1 On Screenのステータス表示にRUNDOWNが表示 (62、63ページの「ライブ映像を見る→本機の状態を表示する」参照) されているP2カードを使用すると、[READY] ランプが点滅します。
- *2 以下のような場合に、[REC]ランプは通常点滅します。
 - P2カード残容量が少ない (約30分以下) とき
 - P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが19,000 (最大20,000まで) を超えたとき
 - 一日あたりの最大記録ファイル数に近づいたとき (フォーマット種類により変わります。88、89ページの「フォーマット (Format)」を参照してください。)
 - 残りの記録日数が、P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの合計記録日数の5%未満になったとき
- *3 PCアプリケーションでの操作については、PCアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- *4 エラーがP2カードの状態に関係する場合、P2カードの状態はOn Screenのステータス表示に示されます。62、63ページの「ライブ映像を見る→本機の状態を表示する」を参照してください。

お知らせ：

- [REC] ボタンを押したり記録トリガー入力されても、記録を開始できないときには、[REC] ランプが高速点滅します。
- 本機のP2カードスロットカバーを開けたり閉じたりした直後のP2カードアクセス中は、[BUSY] ランプが点滅します。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らない場合や以下に記されていない症状の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源

症 状	対応内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源ケーブル（別売のケーブルキットに含まれる）は正しく接続されていますか。接続を確認してください。
電源が自動的に切れる	<ul style="list-style-type: none">車載でご使用の場合、77ページの「電源OFF時間（PowerOff Time）」を設定して、エンジンスイッチをLOCK（OFF）で使用していませんか。エンジンスイッチをONにして再度起動してください。（21ページの「起動する」参照）動作周囲温度以上の高温でご使用の場合、安全のため電源がOFFする場合があります。周囲温度が下がった状態でご使用ください。

■操作

症 状	対応内容
ロックを開錠できない	<ul style="list-style-type: none">付属のキーを使用していますか。
キーを抜くことができない	<ul style="list-style-type: none">P2カードスロットカバーを閉じていますか。P2カードスロットカバーを閉じないとキーを抜くことはできません。
カバーを閉めることができない	<ul style="list-style-type: none">P2カードスロットにP2カードを正しく挿入していますか。[EJECT] ボタンを右に倒していますか。
制御を受け付けられないなど、異常状態になった	<ul style="list-style-type: none">本機の [REC] ボタンと [STOP] ボタンを約10秒間同時に押しリセットを行ってください。ランプ全消灯（1～2秒）の後、全点灯（1～2秒）を行い、リセット受け付けを表示します。ボタンロックの設定が“ON”になっていませんか。ボタンロックの設定を“OFF”にしてください。（56ページの「ロックを解除する」と85ページの「操作ボタンのロック（Operation Key Lock）」参照）
本機の再起動操作をしていないのに再起動される	<ul style="list-style-type: none">P2カードへアクセス中にP2カードを取り出すと（[BUSY] ランプが点灯中）、P2カードスロットが使用できなくなることがあります。このとき本機は自動的に再起動され、P2カードスロットが使用できるようになります。自動メンテナンスの設定が“ON”の場合、設定している周期に従って再起動を行います。

修理を依頼される前に (つづき)

■記録

症 状	対応内容
記録を開始できない または、記録エラー警告が 表示されている	<ul style="list-style-type: none">• P2カードスロットにP2カードは入っていますか。• P2カードスロットカバーを閉じていますか。• P2カードに残容量はありますか。残容量の確認を行い、ファイルのアップロードなどの後、空き領域を確保してください。• P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。• ご購入直後の16 GB以上のP2カードは、本機でフォーマットしましたか。また、PCなどで16 GB以上のP2カード上のフォルダーを直接操作した場合、本機で再フォーマットが必要となります。• GPIO/SERIALポートや記録トリガー条件は正しく設定されていますか。• 管理者設定状態になっていませんか。• 映像の入力端子は正しく接続していますか。
記録したデータの一部、 または、すべてが破損した	<ul style="list-style-type: none">• 記録中に停電したり、電源ケーブル（別売のケーブルキットに含まれる）を抜いたりすると、P2カードが故障したり、P2カードのデータが破損することがあります。P2カードへのアクセス中（記録中など）は、絶対に電源を切らないでください。• P2カードアクセス中にP2カードを挿入したり、取り出したりしないでください。P2カードが故障したり、P2カードのデータが破損することがあります。• 破損したデータは修復できることがあります。（73ページの「ファイルを修復する」参照）

修理を依頼される前に (つづき)

症 状	対応内容
映像が乱れたり、記録されていないことがあります	<ul style="list-style-type: none">・ カラーカメラや映像出力機器を正しく接続していますか。・ 映像の入力端子とコントロールパネルで選択した入力端子は一致していますか。・ 接続している機器の映像出力は適切ですか。本機のリアパネルの [VIDEO OUT] 端子にモニターを接続し、映像出力の確認を行ってください。
音声がひずんだり、記録されていないことがあります	<ul style="list-style-type: none">・ 音声入力端子に正しくケーブルを接続していますか。・ ケーブルを接続している入力端子とコントロールパネルで選択した入力端子は一致していますか。・ 接続している機器の音声出力は適切ですか。接続している機器の取扱説明書を参照してください。
GPIO/SERIALポートに接続した機器からの情報がメタ情報ファイルに記録されていない	<ul style="list-style-type: none">・ 接続した機器の通信条件と本機のSERIALポートの通信条件や接続先の設定が合っていますか。接続した機器の取扱説明書を参照してください。

エラーメッセージ

番号	メッセージ	対応
E00411	Update file not found.	P2カードまたはUSBメモリー上に、バージョンアップファイルが見つかりませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • P2カードまたはUSBメモリー上に、本機用のバージョンアップファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 • P2カードまたはUSBメモリーを再度フォーマットしてからご使用ください。 • 別のUSBメモリーをご使用ください。
E00418		
E00461		
E00468		
E00410	Invalid update file found.	P2カードまたはUSBメモリー上のバージョンアップファイルが正しくありません。 <ul style="list-style-type: none"> • P2カードまたはUSBメモリー上に、本機用のバージョンアップファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 • P2カードまたはUSBメモリーを再度フォーマットしてからご使用ください。 • 別のUSBメモリーをご使用ください。
E00413		
E00414		
E00415		
E00460		
E00463		
E00464		
E00465		
E00412	More than two update files found.	P2カードまたはUSBメモリー上に、複数のバージョンアップファイルを検出しました。 <ul style="list-style-type: none"> • バージョンアップに使用するP2カードまたはUSBメモリー上に、複数のバージョンアップファイルが存在していないかご確認ください。 • バージョンアップに使用するP2カードまたはUSBメモリー以外に、バージョンアップファイルが存在する別のUSBメモリーまたはP2カードが使用されていないかご確認ください。
E00462		
E00419	This media cannot use for update.	バージョンアップに使用できないP2カードまたはUSBメモリーが使用されています。 <ul style="list-style-type: none"> • ¥DATAフォルダーが存在するP2カードは、バージョンアップに使用できません。 • ¥WIDKEYフォルダー以外のフォルダーが存在するUSBメモリーは、バージョンアップに使用できません。
E00469		
E00420	Update file read error.	バージョンアップファイルの読み込みエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • P2カードまたはUSBメモリー上に、本機用のバージョンアップファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 • P2カードまたはUSBメモリーを再度フォーマットしてからご使用ください。 • 別のUSBメモリーをご使用ください。
E00470		

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E00449	Unexpected update failure.	<p>その他のバージョンアップエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P2カードまたはUSBメモリー上に、本機用のバージョンアップファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 • P2カードまたはUSBメモリーを再度フォーマットしてからご使用ください。 • 別のUSBメモリーをご使用ください。
E00466		
E00467		
E00499		
E00602	AG-RCP30 needs to be updated! Will start updating soon.	バージョンアップが必要なAG-RCP30が接続されていることを検出しました。本機は自動的に再起動し、バージョンアップを開始します。
E00603	Unsupported Control Panel! Replace Control Panel.	本機が対応していないコントロールパネルを検出しました。コントロールパネルを取り外してください。
E00604	ACC Off detected ! Will power off after uploading. Turn ACC ON to cancel power off.	77ページの「電源OFF時間 (PowerOff Time)」が“AUTO”に設定されているとき、エンジンスイッチがLOCK (OFF)にされました。そのためPCアプリケーションとの接続が解除されるのを待っている状態です。電源OFFせずに引き続き本機を使用する場合は、エンジンスイッチをONに戻してください。
E02431	DSP error. Playback and record cannot be performed.	エラーメッセージの表示が消えるまで、しばらくお待ちください。1分待っても消えない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
E02432		
E02440	System error Couldn't format P2 cards.	別のP2カードに交換してください。
E02441	Couldn't format P2 cards.	
E02442	Found read only P2 cards. Couldn't format.	P2カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
E02443	Not P2 card. Couldn't format.	P2カード以外のカードが挿入されています。P2カードに交換してください。
E02444	No card. Couldn't format.	P2カードを挿入してください。
E02460	System error Couldn't delete files.	お買い上げの販売店にご相談ください。

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E02461	Couldn't delete files.	カード情報を確認し、以下のように対応を行ってください。 CARD PROTECTの場合： P2カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。 UNFORMATTEDの場合： フォーマットされたP2カードと交換してください。 REFORMATの場合： アップロードまたはエクスポートなどで、データをバックアップした後、P2カードをフォーマットしてください。 NO CARDの場合： P2カードを挿入してください。 上記以外の場合： 他のP2カードに交換してください。
E02470	System error Couldn't restore files.	お買い上げの販売店にご相談ください。
E02471	Couldn't restore files.	
E02481	Write error on slot1. Record cannot be continued.	正しい手順でP2カードの取り出し／挿入を行ってください。P2カードスロットカバーを閉じた後にP2カードが正常に認識できない場合は、P2カードを交換してください。
E02482	Write error on slot2. Record cannot be continued.	
E07671	Camera communication error. Camera cannot be controlled.	カラーカメラが正しく接続されていない可能性があります。カラーカメラとカラーカメラに付属のカメラケーブルが正しく接続されていることを確認してください。それでもエラーが発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
E08601	Lid open. Playback and record cannot be performed.	P2カードスロットカバーを閉じてください。
E08602	The recorder's fan has stopped.	お買い上げの販売店にご相談ください。
E10400	Radar model file not found.	
E10401	More than five radar model files found.	
E10402	Invalid radar model file found.	
E10403	Radar model file read error.	
E10410	Radar communication error. Please check the radar setting.	
E15751	Card is run-down. Replace P2 card on slot1.	P2カードの使用寿命に近づきました。このメッセージが表示されても記録/再生はできますが、P2カードの交換をおすすめします。
E15752	Card is run-down. Replace P2 card on slot2.	

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E15753	Altered P2 Card found on slot1. Backup data and reformat.	P2カードは、他の機器で内容が更新されています。 アップロードまたはエクスポートなどで、データをバックアップした後、再度フォーマットしてください。
E15754	Altered P2 Card found on slot2. Backup data and reformat.	
E15755	VUP Card found on slot1. Record cannot be started.	P2カードにバージョンアップファイルが存在します。 バージョンアップ用以外のP2カードに交換してください。
E15756	VUP Card found on slot2. Record cannot be started.	
E15757	Illegal Card found on slot1. Record cannot be started.	使用できないカードが入っています。 カードの種類を確認してください。
E15758	Illegal Card found on slot2. Record cannot be started.	
E15759	Unformatted Card found on slot1. Record cannot be started.	フォーマットされていないP2カードが挿入されています。 フォーマットされたP2カードと交換してください。
E15760	Unformatted Card found on slot2. Record cannot be started.	
E15761	Write Protect Card found on slot1. Record cannot be started.	P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっています。書き込み禁止スイッチを解除してください。
E15762	Write Protect Card found on slot2. Record cannot be started.	
E15763	No Card. Record cannot be started.	P2カードが入っていません。P2カードを挿入してください。
E15764	Write Error. Record cannot be started.	P2カードに書き込みできません。P2カードを交換してください。
E15765	Card Full. Record cannot be started.	<p>8 GB以下のP2カードの場合： 以下のような状態が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P2カードに残容量がない ・P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが20,000を超えた <p>空き容量があるP2カードと交換するか、空き容量を確保してください。</p> <p>16 GB以上のP2カードの場合： 以下のような状態が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P2カードに残容量がない ・P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが20,000を超えた ・その日の最大記録ファイル数を超えた ・記録日数を超えた <p>空き容量があるP2カードと交換するか、データをバックアップした後、再度フォーマットしてください。</p>

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E20801	The recorder reboots by unrecoverable card ejection error.	正しい手順でP2カードの取り出し／挿入を行ってください。
E20802	The recorder reboots by unrecoverable card insertion error.	
E20803	Card is not ready. Please try to reinsert the card, or Reboot from Menu.	P2カードを確認して再挿入を行うか、本機を再起動してください。
E20901	Firmware Update FAILED!	バージョンアップ中にエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • P2カードまたはUSBメモリー上に、本機用のバージョンアップファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 • P2カードまたはUSBメモリーを再度フォーマットしてからご使用ください。 • 別のUSBメモリーをご使用ください。 • バージョンアップに使用するP2カードまたはUSBメモリー上に、複数のバージョンアップファイルが存在していないかご確認ください。 • バージョンアップに使用するP2カードまたはUSBメモリー以外に、バージョンアップファイルが存在する別のUSBメモリーまたはP2カードが使用されていないかご確認ください。 • ¥DATAフォルダーが存在するP2カードは、バージョンアップに使用できません。 • ¥WIDKEYフォルダー以外のフォルダーが存在するUSBメモリーは、バージョンアップに使用できません。
E20911	Microcontroller Update FAILED!	バージョンアップ中にエラーが発生しました。 本機は自動的に再起動し、バージョンアップを再開します。 エラーが繰り返し発生する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
E20912	Unsupported Microcontroller Detected!	本機は故障しています。 お買い上げの販売店にご相談ください。
E20921	AG-RCP30 Update FAILED!	本機に接続されているAG-RCP30のバージョンアップ中にエラーが発生しました。 本機は自動的に再起動し、バージョンアップを再開します。 エラーが繰り返し発生する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E20922	Unsupported Control Panel Detected!	本機が対応していないコントロールパネルを検出しました。コントロールパネルを取り外してください。
E22420	Officer's information file cannot be loaded.	使用者データファイル (WID****.TXT) の内容が正しくありません。正しい使用者データファイルを作成し、USBメモリーに保存後、再登録してください。
E22421	Since you are not an administrator, you cannot open this menu.	管理者として登録されていません。登録されている管理者で再操作してください。
E22422	Officer's information file cannot be loaded.	使用者登録ファイルがない、もしくは記述内容が誤っています。正しい使用者登録ファイル (WOFFICER.TXT) をUSBメモリーにコピーし、再登録してください。
E22423	Admin's information file cannot be loaded.	管理者登録ファイルがない、もしくは記述内容が誤っています。正しい管理者登録ファイル (WADMIN.TXT) をUSBメモリーにコピーし、再登録してください。
E22424	Officer's information cannot be setup during record !	使用者データは記録中に変更できません。記録を停止し、再操作してください。
E22425	Cannot load Event Type.	イベント情報ファイルがない、もしくは記述内容が誤っています。正しいイベント情報ファイル (EVTYPE.TXT) をUSBメモリーにコピーし、再登録してください。
E22426	Menu copy failure.	書き込み可能なUSBメモリーを接続してください。
E22620	Auto Maintenance Canceled	自動メンテナンスは、P2カードスロットカバーが開いた状態もしくは、記録中などの状態だったため実行されていません。
E25410	GPS communication error. Please check the GPS module.	GPSモジュールに異常が発生しました。お買い上げの販売店にご相談ください。
E28201	A capacity of USB strage is not enough to export.	空き容量がある別のUSBメモリーと交換してください。
E28202	Export is complete. Restore file remained.	未修復のファイルを修復後、再度エクスポートを実行してください。
E28203	File not found in P2 cards.	エクスポートするファイルがないので、エクスポート操作する必要はありません。
E28400	No USB storage devices. Couldn't start export.	USBメモリーを接続してください。
E28401	Found read only P2 cards. Couldn't start export.	P2カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E28402	All USB storages are read only. Couldn't start export.	書き込み可能なUSBメモリーを接続してください。
E28403	Media error. Export is incomplete.	P2カードもしくはUSBメモリーを交換してください。
E28404	USB storage file system error. Couldn't start export.	USBメモリーを交換してください。
E28405	USB storage write error. Export is incomplete.	
E28406	Found update file in USB storages. Couldn't start export.	USBメモリー内にあるバージョンアップファイルを削除してください。
E28407	No P2 cards. Couldn't start export.	記録済みのP2カードを挿入してください。
E28408	Found unformatted P2 cards. Couldn't start export.	フォーマットされた記録済みのP2カードを挿入してください。
E28409	Couldn't start export.	P2カードを交換してください。
E28499	System error. Export is incomplete.	本機を再起動してください。
E28880	USB storage was ejected. Export is incomplete.	エクスポート中にUSBメモリーを抜かないでください。再度USBメモリーを接続し、エクスポートを実行してください。
E28881	USB storage was inserted. Export is incomplete.	再度エクスポートを実行してください。

ステータス表示

ステータス表示はP2カードと本機の動作の状態をメッセージで表示します。それぞれの状態に応じて対応してください。

ステータス表示	対 応
CARD FULL	8 GB以下のP2カードの場合： 以下のような状態が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・P2カードに残容量がない・P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが20,000を超えた 空き容量があるP2カードと交換するか、空き容量を確保してください。 16 GB以上のP2カードの場合： 以下のような状態が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・P2カードに残容量がない・P2カードスロット1、2に挿入しているすべてのP2カードの記録ファイルが20,000を超えた・その日の最大記録ファイル数を超えた・記録日数を超えた 空き容量があるP2カードと交換するか、データをバックアップした後、再度フォーマットしてください。
CARD PROTECT	P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっています。書き込み禁止スイッチを解除してください。
VUP CARD	バージョンアップ用P2カードには書き込みできません。バージョンアップ用以外のP2カードに交換してください。
UNFORMATTED	フォーマットされていないP2カードです。フォーマットされたP2カードと交換してください。
REFORMAT	P2カードは、他の機器で内容が更新されています。アップロードまたはエクスポートなどで、データをバックアップした後、再度フォーマットしてください。
RUNDOWN	P2カードの使用寿命に近づきました。このメッセージが表示されても記録/再生はできますが、P2カードの交換をおすすめします。
ILLEGAL CARD	<ul style="list-style-type: none">・使用できないカードが入っています。カードの種類を確認してください。・認識できないP2カードが入っています。使用できるP2カードと交換してください。・P2カードが正しく挿入されていません。正しい手順でP2カードの取り出し/挿入を行ってください。
NO CARD	P2カードが入っていません。P2カードを挿入してください。

(次ページへつづく)

ステータス表示 (つづき)

ステータス表示	対 応
READ ERROR	読み込みエラーが発生しました。ファイルの再生ができないか、付属情報が正しく表示できません。
META ERROR	付属情報ファイルが存在しません。付属情報が表示できません。
PLAY ERROR	デコーダ異常が発生しました。再生ができません。本機を再起動してください。

ソフトウェアライセンスの規定<GPL>

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim
copies of this license document, but changing it is not
allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away
your freedom to share and change it. By contrast, the
GNU General Public License is intended to guarantee
your freedom to share and change free software--to make
sure the software is free for all its users. This General
Public License applies to most of the Free Software
Foundation's software and to any other program whose
authors commit to using it. (Some other Free Software
Foundation software is covered by the GNU Library
General Public License instead.) You can apply it to your
programs, too.

When we speak of free software, we are referring to
freedom, not price. Our General Public Licenses are
designed to make sure that you have the freedom to
distribute copies of free software (and charge for this
service if you wish), that you receive source code or can
get it if you want it, that you can change the software or
use pieces of it in new free programs; and that you know
you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that
forbid anyone to deny you these rights or to ask you to
surrender the rights. These restrictions translate to certain
responsibilities for you if you distribute copies of the
software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program,
whether gratis or for a fee, you must give the recipients
all the rights that you have. You must make sure that they,
too, receive or can get the source code. And you must
show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the
software, and (2) offer you this license which gives you
legal permission to copy, distribute and/or modify the
software.

Also, for each author's protection and ours, we want to
make certain that everyone understands that there is no
warranty for this free software. If the software is modified
by someone else and passed on, we want its recipients
to know that what they have is not the original, so that
any problems introduced by others will not reflect on the
original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by
software patents. We wish to avoid the danger that
redistributors of a free program will individually obtain
patent licenses, in effect making the program proprietary.
To prevent this, we have made it clear that any patent
must be licensed for everyone's free use or not licensed at
all.

The precise terms and conditions for copying, distribution
and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work
which contains a notice placed by the copyright holder
saying it may be distributed under the terms of this
General Public License. The "Program", below, refers to
any such program or work, and a "work based on the
Program" means either the Program or any derivative
work under copyright law: that is to say, a work
containing the Program or a portion of it, either verbatim
or with modifications and/or translated into another
language. (Hereinafter, translation is included without
limitation in the term "modification".) Each licensee is
addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification
are not covered by this License; they are outside its
scope. The act of running the Program is not restricted,
and the output from the Program is covered only if
its contents constitute a work based on the Program
(independent of having been made by running the
Program). Whether that is true depends on what the
Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of
the Program's source code as you receive it, in
any medium, provided that you conspicuously and
appropriately publish on each copy an appropriate
copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact
all the notices that refer to this License and to the
absence of any warranty; and give any other recipients
of the Program a copy of this License along with the
Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring
a copy, and you may at your option offer warranty
protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program
or any portion of it, thus forming a work based on the
Program, and copy and distribute such modifications or
work under the terms of Section 1 above, provided that
you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent
notices stating that you changed the files and the date
of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish,
that in whole or in part contains or is derived from the
Program or any part thereof, to be licensed as a whole
at no charge to all third parties under the terms of this
License.

c) If the modified program normally reads commands
interactively when run, you must cause it, when started
running for such interactive use in the most ordinary
way, to print or display an announcement including an
appropriate copyright notice and a notice that there
is no warranty (or else, saying that you provide a
warranty) and that users may redistribute the program
under these conditions, and telling the user how to
view a copy of this License. (Exception: if the Program
itself is interactive but does not normally print such an
announcement, your work based on the Program is not
required to print an announcement.)

ソフトウェアライセンスの規定<GPL> (つづき)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code,

even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is

ソフトウェアライセンスの規定<GPL> (つづき)

believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES

SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

ソフトウェアライセンスの規定<LGPL>

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307
USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure

that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may

ソフトウェアライセンスの規定<GPL> (つづき)

be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that

ソフトウェアライセンスの規定<GPL> (つづき)

uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the Library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate

properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying,

ソフトウェアライセンスの規定<LGPL> (つづき)

distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free

Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

ソフトウェアライセンスの規定<OpenSSL License>

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)"
- The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ソフトウェアライセンスの規定<Blowfish License>

Copyright (C) 1995-1997 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an Blowfish implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution.

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

The reason behind this being stated in this direct manner is past experience in code simply being copied and the attribution removed from it and then being distributed as part of other packages. This implementation was a non-trivial and unpaid effort.

ソフトウェアライセンスの規定<DES License>

Copyright (C) 1995-1997 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an DES implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with MIT's libdes.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution.

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of that the SSL library. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following

acknowledgement:

This product includes software developed by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

The reason behind this being stated in this direct manner is past experience in code simply being copied and the attribution removed from it and then being distributed as part of other packages. This implementation was a non-trivial and unpaid effort.

ソフトウェアライセンスの規定<XFree86 License>

1. XFree86 License

XFree86 code without an explicit copyright is covered by the following copyright/license:

Copyright (C) 1994-2002 The XFree86 Project, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE XFREE86 PROJECT BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the XFree86 Project shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the XFree86 Project.

2. Other Licenses

Portions of code are covered by the following licenses/copyrights. See individual files for the copyright dates.

2.1 X/MIT Copyrights

2.1.1 X Consortium

Copyright (C) <date> X Consortium

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

X Window System is a trademark of X Consortium, Inc.

2.1.2 The Open Group

Copyright <date> The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

ソフトウェアライセンスの規定<XFree86 License> (つづき)

2.2 Berkeley-based copyrights:

2.2.1 General

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.2.2 UCB/LBL

Copyright (c) 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This software was developed by the Computer Systems Engineering group at Lawrence Berkeley Laboratory under DARPA contract BG 91-66 and contributed to Berkeley.

All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読み頂いた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、この“メモリーカードレコーダー”の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。保守・点検(有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 保証期間中の修理は..

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆ 保証期間経過後の修理は..

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードレコーダー
品番	AG-CPD15
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

電源：DC12 V / DC24 V
 入力電流：2.1 A (DC12 V時)
 1.1 A (DC24 V時)
 待機電流：1 mA (DC12 V/DC24 V)

は安全項目です。

動作周囲温度：

0℃～45℃

動作周囲湿度：

10%～80% (結露無し)

質量：

1050 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)：

(突起部分と本機取り付け金具を除く)
 178 mm x 50 mm x 155 mm

テレビジョン方式：

NTSC方式
 (525本、60フィールド)

記録メディア：

P2カード

記録フォーマット：

独自フォーマット

動画圧縮方式：

MPEG4

音声圧縮方式：

G.726 2ch

記録時間：

カード品番	容量	記録ビットレート (bps)	使用枚数	通常記録時間 (時間)	間けつ記録時間 (時間)
AJ-P2C004HG	4 GB	Q-512k	1	約16	約68
			2	約32	約136
		Q-1M	1	約8	約59
			2	約16	約118
		F-1M	1	約8	約50
			2	約16	約100
		F-2M	1	約4	約21
			2	約8	約42
AJ-P2C008HG	8 GB	Q-512k	1	約32	約136
			2	約64	約272
		Q-1M	1	約16	約118
			2	約32	約236
		F-1M	1	約16	約100
			2	約32	約200
		F-2M	1	約8	約42
			2	約16	約84
AJ-P2C016RG	16 GB	Q-512k	1	約64	約292
			2	約128	約584
		Q-1M	1	約32	約243
			2	約64	約486
		F-1M	1	約32	約208
			2	約64	約416
		F-2M	1	約16	約87
			2	約32	約174
AJ-P2C032RG	32 GB	Q-512k	1	約128	約584
			2	約256	約1168
		Q-1M	1	約64	約486
			2	約128	約972
		F-1M	1	約64	約416
			2	約128	約832
		F-2M	1	約32	約174
			2	約64	約348

必要に応じて

定格 (つづき)

お知らせ：

- ・記録時間は、映像の質(動きや複雑さ)によって変化します。保証値ではありません。
- ・間けつ記録の記録時間は、より映像の質の影響を受けます。

■ビデオ

入力：

- CAMERA1x1
1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡
- CAMERA2 (ピンジャック) x1
1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡

出力：

- VIDEO OUT (ピンジャック) x1
1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡

■オーディオ

入力：

- AUDIO IN (ピンジャック) x2
-10 dBV、47 kΩ、不平衡
- IN CAR MIC (ピンジャック) x1
-50 dBV、3 kΩ、不平衡
(プラグインパワー 約4 V)

出力：

- AUDIO OUT (ピンジャック) x1
-6 dBV、600 Ω、不平衡

■DC入力端子

SIGNALポート

- 入力電圧L：≤1.0 V
H：8 V～28 V
- 入力電流：1 mA (最大)

■その他の入出力端子

- ・GPIO/SERIAL端子
D-Subminiature 25ピンコネクター
RS-232C
GPIO
入力：8ポート
入力電圧L：≤1.0 V
H：4 V～28 V
入力電流：12 mA (最大)
出力：1ポート
(GPIO9への記録状態出力)
(オープンエミッタ出力)
出力電圧：5.0 V
出力電流：15 mA
変化検出時間：100 ms
- ・CAMERA1端子
16ピンコネクター、AG-CK10P用
- ・CONTROL PANEL端子
10ピンコネクター、AG-RCP30用
- ・LAN端子
RJ-45コネクター、PCアプリケーションに接続
100BASE-TX/10BASE-T
- ・GPS-ANT. (OPTION)端子
GT5コネクター、
GPSアンテナ用 (別売AG-GPS15P
に付属もしくは、別売AG-CR12Piに
含まれる)
- ・USB端子
USB Aコネクター、USBメモリー用
USB Ver1.1準拠
バスパワー電流：500 mA(最大)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2007

